



X25 GeoLink® 高精度散布システム仕上げキット

シリアル番号 315000001 以降の Multi Pro® 1750 ターフスプレーヤ用

モデル番号41631

取り付け要領

この GeoLink™ スプレーシステムキットは、芝生に液剤を散布する専用装置のための補助装置アタッチメントであり、そのような業務に従事するプロのオペレータが運転操作することを前提として製造されています。この製品は、集約的で高度な管理を受けている公園やゴルフ場、スポーツフィールド、商用目的で使用する芝生に対して液剤を散布することを主たる目的として製造されております。

弊社のウェブサイト www.Toro.com で、製品の安全な取扱いや運転に関する講習資料、アクセサリ情報の閲覧、代理店についての情報閲覧、お買い上げ製品の登録などを行っていただくことができます。

安全について

▲ 警告

この散布装置で取り扱う農薬は人体や動植物、土壌などに危険を及ぼす可能性があるので取り扱いには十分注意すること。

- 自分自身の安全を守るために、農薬を取り扱う前に、容器に張ってあるラベルや安全データシート MSDS など取り扱い上の注意をよく読んで理解し、薬剤メーカーの指示を守る。たとえば、保護めがね、ゴーグル、手袋など、薬剤との接触を防止し危険から身を守ることでできる適切な保護対策を講じる。
- 散布する薬剤は一種類とは限らないので、取り扱っているすべての薬剤に関して注意事項を必ず確認する。
- 上記安全確保に必要な情報が手に入らない場合には、この装置の運転を拒否してください。
- 散布装置の整備や修理をする時は、その前に必ず、その装置が薬剤メーカーの指示通りに3回のすすぎ洗いや必要な中和処理を実行済みであること、さらに、すべてのバルブにそれぞれ3回の開閉操作洗浄が実施されていることを確認する。
- 十分な量の水と石鹼を身近に常備し、薬剤が皮膚に直接触れた場合には、直ちに洗い流すこと。



取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	—	キット取り付けの準備。
2	必要なパーツはありません。	—	運転席とエンジンアクセスパネルを外します。
3	必要なパーツはありません。	—	左右の前フェンダとフードを取り外します。
4	チューブアセンブリToro P/N 114-9553 ケーブルタイ	2 8	フォームマーカークットオプションの接続を外します。
5	必要なパーツはありません。	—	ウルトラソニックブームレベリングキットオプションの接続を外します。
6	必要なパーツはありません。	—	カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外します。
7	必要なパーツはありません。	—	ダッシュボード用の水圧検知チューブを外します。
8	必要なパーツはありません。	—	散布バルブのコネクタを取り外します。
9	ケーブルタイ スイッチのプラグ	1 1	散布レートスイッチを外す。
10	必要なパーツはありません。	—	ブームを取り外します。
11	フランジヘッドボルト3/8 x 1 インチ フランジロックナット3/8 インチ センターブームエクステンション シリンダマウントワイド タイプレートワイド キャリッジボルト1/2 x 1-1/4 インチ フランジロックナット1/2 インチ	2 2 1 1 1 4 4	センターブームエクステンションを取り付けます。
12	スプレーノズル ホースアセンブリスプレーバルブ5または6 フランジロックナット5/16 インチ	2 2 2	取り付けブラケットとスプレーノズルをセンターブームに取り付けます。
13	キャップクイックカップラ リテーナ	3 3	ブームバルブを取り外します。
14	フローメータのマウント サポートクランプハーフ ボルト4/2 x 1-1/4 インチ フランジロックナット1/4 インチ	1 4 4 4	フローメータのサポートクランプを取り付けます。
15	後方ワイヤハーネス ケーブルタイ	1 7	後方ワイヤハーネスを車体に取り付けます。

手順	内容	数量	用途
16	ストレートバーブ (1 x 2 インチ) ホースクランプ 3/4 1-1/2 インチ ホース 3 x 5-1/4 インチ マニホールド ホース 1 x 16 インチ	1 3 1 1 1	フローメータにマニホールドを取り付けます。
17	バーブ付き 90°フィッティングホースアセンブリ T 字フィッティング 1 x 1 x 1 インチ ホースクランプ 3/4 x 1-1/5 インチ ホース 1 x 26 インチ = 66cm バーブ付き 90° フィッティング 1 x 3/8 インチ、NPT クイックコネクフィッティングソケット 3/4 インチ 燃料バルブ	1 1 5 2 2 2 2	バイパスホースをタンクに取り付けます。
18	必要なパーツはありません。	—	改造したセンターブームを取り付けます。
19	必要なパーツはありません。	—	昇降シリンダマニホールドをシリンダマウントに取り付けます。
20	バルブマウントスプレーバルブアセンブリ ボルト 4 x 10mm ASC10 スプレーヤコントローラ フランジロックナット 4mm キャップクイックディスコネクフィッティング フランジヘッドボルト 5/16 x 3/4 インチ フランジロックナット 5/16 インチ ホースクランプ プッシュインファスナーケーブルタイ) プッシュインファスナーコネクタアンカー	1 3 1 3 2 8 8 1 1 3	バルブマウントとスプレーバルブを取り付けます。
21	油圧ホース 1/4 x 24-3/4 インチ	4	ブーム昇降シリンダを取り付けます。
22	ナイロン製フランジブッシュ ケーブルタイ 給液ホースアセンブリ 188cm 給液ホースアセンブリ 234cm 給液ホースアセンブリ 279cm	4 1 1 1 1	左右のブームを取り付けます。
23	給液ホース 279cm 給液ホース 234cm 給液ホース 188cm 給液ホース 81cm	2 2 4 2	散布ノズル用ホースを取り付けます。
24	必要なパーツはありません。	—	後方ワイヤハーネスを接続します。
25	必要なパーツはありません。	—	ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを接続します。
26	ケーブルタイ	6	オプションのフォームマーカークिटの接続を行います。

手順	内容	数量	用途
27	必要なパーツはありません。	–	ウルトラソニックブームキットを接続します。
28	カバーエクステンションアセンブリ12ノズル用 Toro P/N 120-0621 ポップリベット Toro P/N 114439 サポートブラケットセンターブーム用カバー Toro P/N 13-3703-03 クリップナット Toro P/N 94-2413 フランジヘッドボルト 3/8 x 1-1/4 インチ Toro P/N 110-5050 フランジロックナット 3/8 インチ Toro P/N 104-8301 カバーストラップ Toro P/N 120-0629 フランジヘッドボルト 5/16 x 1-1/4 インチ Toro P/N 323-36	1 22 4 4 16 16 2 4	オプションのブームカバーキットの取り付けを行います。
29	受けプレート スペーサ 3/8 x 1 インチ 受信機用マウント ボルト 3/8 x 3-1/4 インチ ロックワッシャ 3/8 インチ ワッシャ 3/8 x 13/16in フランジロックナット 3/8 インチ フランジヘッドボルト 5/16 x 3/4 インチ フランジロックナット 5/16 インチ フランジヘッドボルト (3/8 x 1-1/2 インチ) スペーサ 3/8 x 7/16 インチ ナビゲーション受信機 X25 ジオリンク高精度散布システムキット、ベース、WAAS モデル 41630 六角ヘッドボルト 5 x 16mm ワッシャ 5mm バルクヘッドアダプタオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット 携帯電話アンテナオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット 同軸ケーブルオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット	1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 1 3 3 1 1 1	ナビゲーション受信機を取り付けます。
30	モニタマウント フランジヘッドボルト 6 x 12 mm ボルト 5/16 インチ フランジロックナット 5/16 インチ ボールマウント フランジヘッドボルト 5/16 x 3/4 インチ モニタ X25 ジオリンク高精度散布システムキット、ベース、WAAS モデル 41630 モニタアーム X25 ジオリンク高精度散布システムキット、ベース、WAAS モデル 41630	1 3 2 8 1 4 1 1	スプレーヤのモニタを取り付けます。

手順	内容	数量	用途
31	必要なパーツはありません。	–	スプレーポンプクラッチの配線を行います。
32	バッテリー用ブラケット ボルト5/16 x 1-3/4 インチ ワッシャ5/16 インチ バッテリー (540A) バッテリー・リテナー フランジロックナット5/16 インチ オルタネータ用ブラケット 駆動プーリ279mm ボルト1/4 x 2-1/4 インチ ロックワッシャ1/4 インチ オルタネータ60A フランジヘッドボルト 8 x 25 mm フランジヘッドボルト (3/8 x 1-1/2 インチ) V ベルト	1 1 1 1 1 1 1 4 4 1 1 1	散布用の電装機器を取り付けます。
33	リレー プッシュインファスナー ヒューズ (15 A) ヒューズ (50 A)	1 1 1 1	キットのワイヤハーネスをシートベースに接続します。
34	データ用ハーネスナビゲーションシステム ジオリンク高精度散布システムキット モデル 41630 バッテリー用ハーネスナビゲーションシステム ジオリンク高精度散布システムキット モデル 41630 ケーブルタイ クイックコネクタクランプ赤いハンドル クイックコネクタクランプ黒いハンドル	1 1 8 1 1	ナビゲーション関係のワイヤハーネスを取り付けます。
35	押し込みファスナー	13	フードと左右の前フェンダを取り付けます。
36	必要なパーツはありません。	–	エンジンへのアクセスパネルと運転席を取り付けます。
37	必要なパーツはありません。	–	マシンの設定プログラミングを行います。

1

キット取り付けの準備

必要なパーツはありません。

液剤タンクとオプションのすすぎタンクの準備を行う

1. スプレーヤを洗淨するオペレーターズマニュアルの「スプレーヤの洗淨」を参照。

重要このキットの取り付けを行う前に、タンクを完全に空にしてください。

2. すすぎキットオプションを搭載している場合には、以下の作業を行う
 - A. すすぎタンクから液剤タンクへ水を移動させるすすぎキットの取り付け要領書の「すすぎキットの使用法」を参照。
 - B. 液剤タンクを空にする散布車のオペレーターズマニュアルの「スプレーヤの洗淨」を参照。
3. 左右のブームを散布位置に降下させる。

4. 平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、エンジンを停止させてキーを抜き取る オペレーターズマニュアルを参照。

重要 ジオリンクキットを取り付ける前に、平らな場所に移動する。

バッテリーの接続を外す

1. キースイッチをOFF 位置にして抜き取る; オペレーターズマニュアルを参照。
2. 座席ラッチのハンドルを後ろに押して座席のラッチを解除する 図 1。

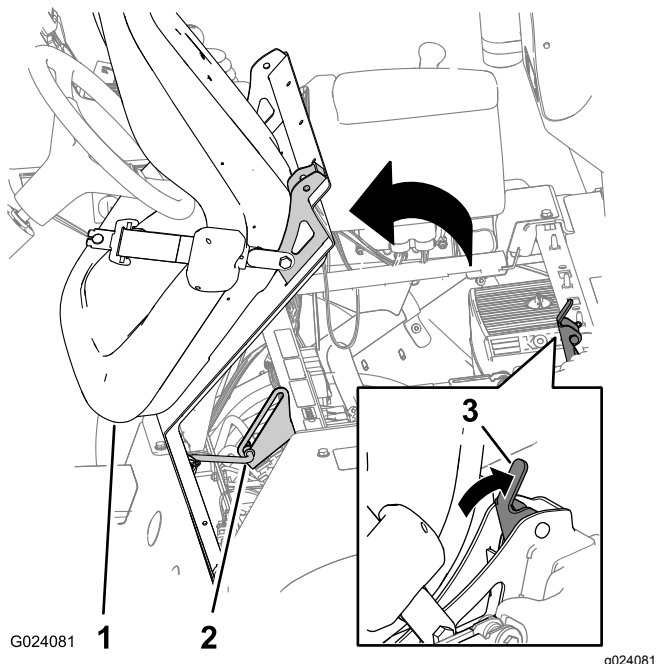


図 1

1. 運転席
2. 支持棒
3. 座席ラッチのハンドル

3. 座席と座席プレートの前に倒す 支持棒の端部がブラケットのスロットの一番下までくるように、座席を完全に前に倒す 図 1。
4. バッテリーのマイナスケーブルをバッテリーのマイナス端子に固定しているボルトとナットを外す。

警告

配線から出た火花で水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

バッテリーケーブルの接続ルートが不適切であるとケーブルがショートを起こして火花が発生する。

- ケーブルを取り外す時は、必ずマイナス黒ケーブルから取り外し、次にプラス赤ケーブルを外す。
- ケーブルを取り付ける時は、必ずプラス赤ケーブルから取り付け、それからマイナス黒ケーブルを取り付ける。

バッテリーの端子に金属製品や車体の金属部分が触れるとショートを起こして火花が発生する。

- バッテリーの取り外しや取り付けを行うときには、端子と金属部を接触させないように注意する。
- バッテリーの端子と金属を接触させない。
- バッテリー押さえは必ず取り付ける。

5. バッテリーのプラスケーブルのカバーを外し、プラスケーブルをバッテリーのプラス端子に固定しているボルトとナットを外す 図 2。

注 外したケーブルの端子部分がバッテリー端子に触れないように十分注意してください。

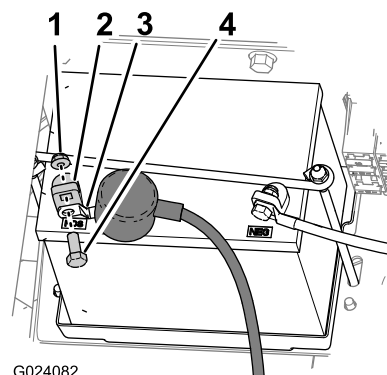


図 2

1. ナット
2. バッテリー端子
3. 端子プラス+ケーブル
4. ボルト

6. エンジンが完全に冷えるのを待つ。

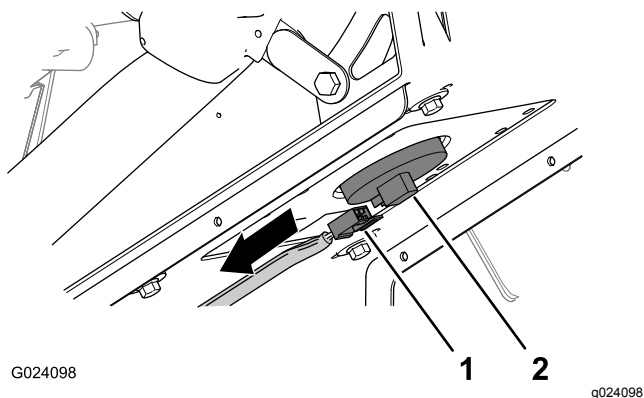
2

運転席とエンジンアクセスパネルを外す

必要なパーツはありません。

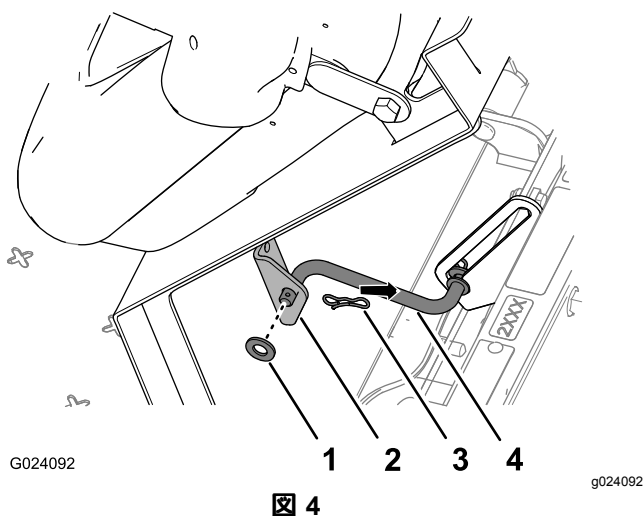
運転席を取り外す

1. 座席スイッチのコンネクタに接続されている機体本体用ハーネスから、2ソケットコンネクタを外す [図 3](#)。



1. 2ソケットコンネクタ車両のワイヤハーネス
2. 座席スイッチ用コンネクタ

2. 座席プレート下で、支え棒をブラケットに固定しているヘアピンを抜き取る [図 4](#)。



1. ワッシャ
2. ブラケット 座席用
3. ヘアピン
4. 支え棒

3. 座席プレートのピボットフィッティングをシャースシブラケットに固定しているヘアピン2本を抜き取る [図 5](#)。

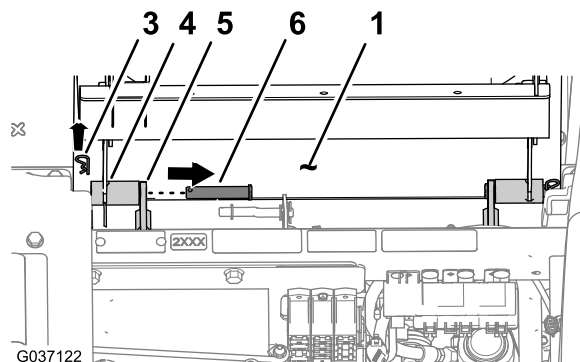
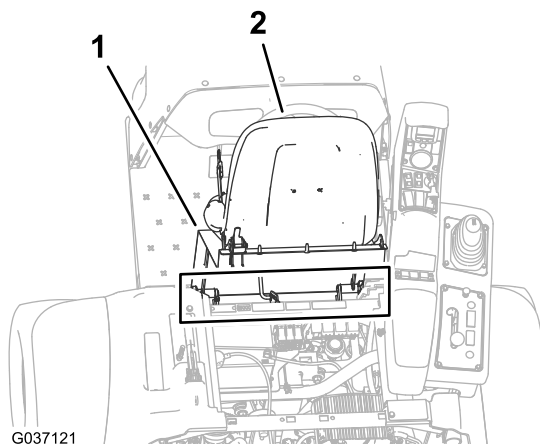


図 5

1. 座席プレート
2. 運転席
3. ヘアピン
4. ピボットフィッティング座席パン
5. シャースシブラケット
6. ピボットピン

4. 座席と座席プレートをシャースシに固定しているヘアピン2本を抜き取る [図 5](#)。

5. 座席と座席プレートを持ち上げて車体から取り外す [図 6](#)。

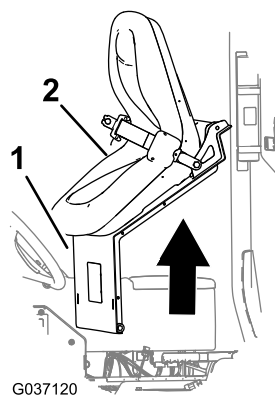


図 6

1. 座席プレート
2. 運転席

エンジンアクセスパネルを外す

1. エンジンアクセスパネルのラッチのハンドルを上げる 図 7。

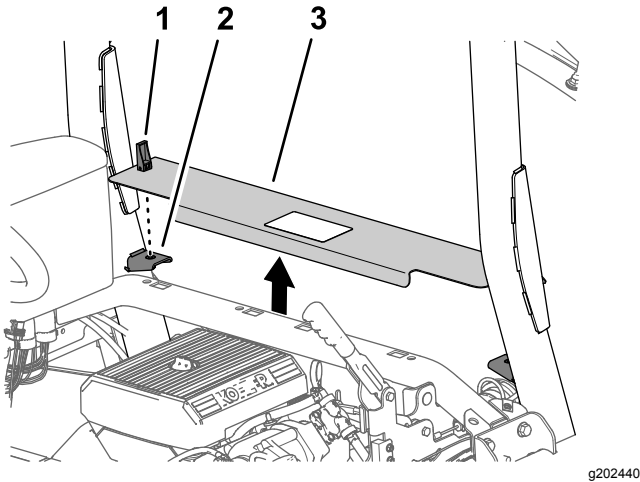


図 7

1. ラッチ
2. パネルのサポートブラケット
3. エンジンアクセスパネル

2. エンジンアクセスパネル持ち上げて機体から取り外す 図 7。

3

左右の前フェンダとフードを取り外す

必要なパーツはありません。

左右の前フェンダを取り外す

1. 左前フェンダを ROPS のチャネル部に固定している押し込みファスナー2本を外す 図 8。

注 取り外した押し込みファスナーは廃棄する。

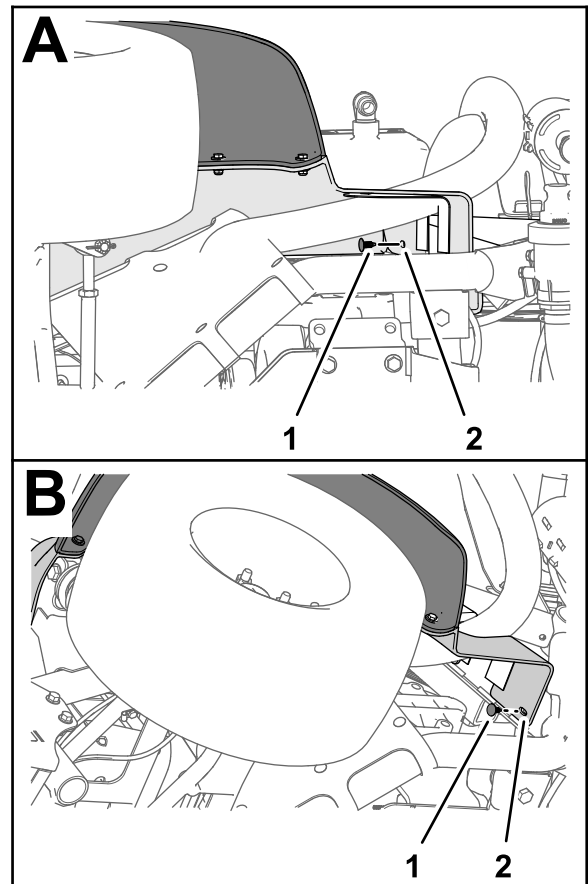


図 8

1. 押し込みファスナー
 2. 左前フェンダ
2. フェンダを車体フレーム5/16 x 1 インチ3本とワッシャ5/16 インチ3枚を取り外す 図 9。

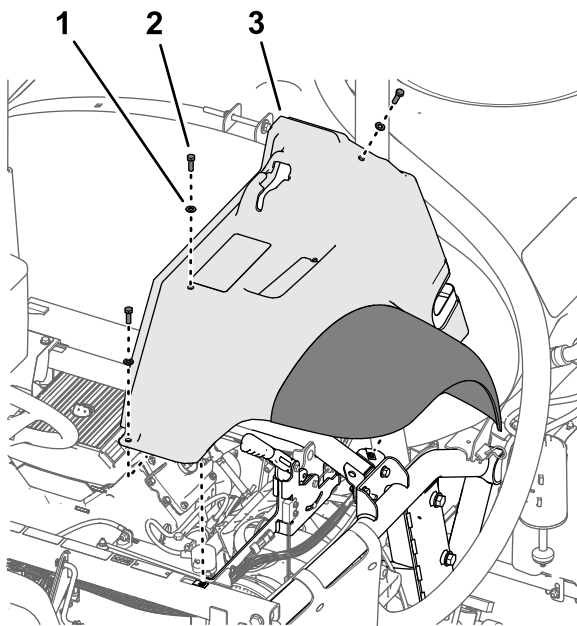


図 9

g197152

1. ワッシャ5/16 インチ
2. ボルト5/16 x 1インチ
3. 左前フェンダ

3. 機体からフェンダを外す。

注 取り外した押し込みファスナーは廃棄する。外したフェンダ、ねじ、ワッシャは **左右の前フェンダを取り付ける (ページ 89)** で使用します。

4. 内側フェンダのシュラウドを車体フレームに固定している押し込みファスナー 6 本とワッシャ9/16 x 1/2 インチ5 枚を取り外す 図 10。

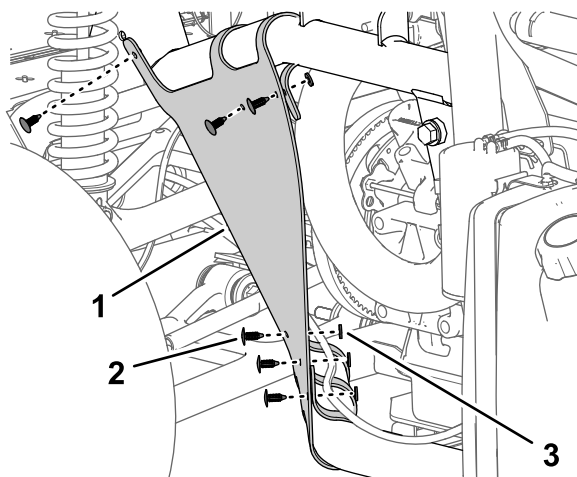


図 10

g197150

1. 内側フェンダ用シュラウド
2. 押し込みファスナー
3. ワッシャ9/16 x 1/2 インチ

5. 機体からフェンダを外す 図 11。

注 取り外した押し込みファスナーは廃棄する。

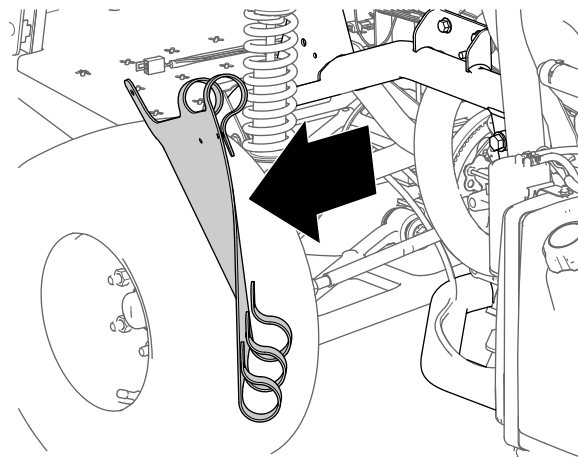


図 11

g197149

6. 機体の反対側のフェンダと内側フェンダ用シュラウドについても 1 から 5 の作業を行う。

フードを外す

1. 左右のヘッドライトの 2 ピンコネクタから、車両用ワイヤハーネスの 2 個のコネクタ2 ソケットを外す 図 12。

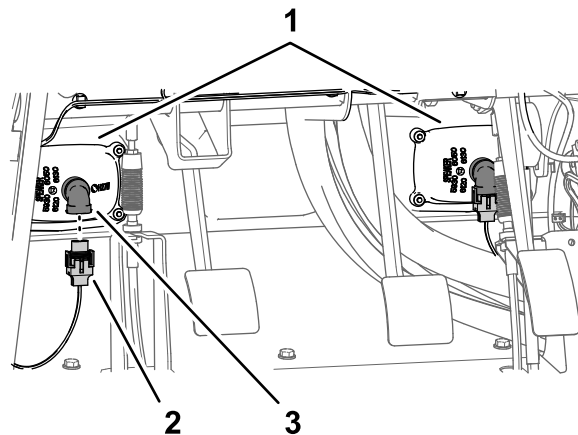


図 12

g197153

1. ヘッドライト
2. 2ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス
3. 2ピンコネクタヘッドライト

2. フードをダッシュボードと車体フレームに固定している押し込みファスナー9個を外す 図 13。

注 押し込みファスナーは **フードを取り付ける (ページ 88)** で使用するので廃棄しないでください。

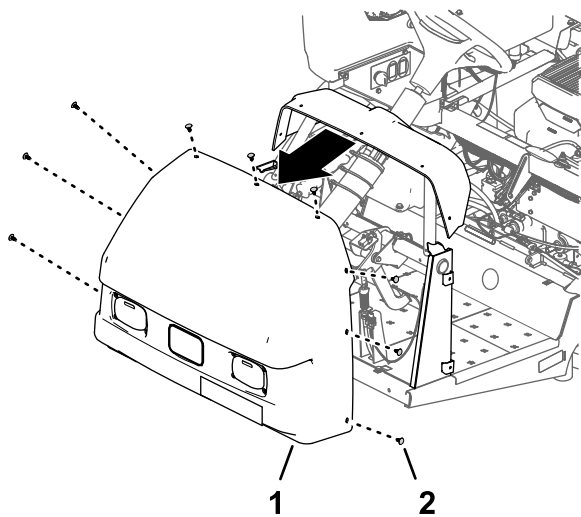


図 13

g197148

1. フード
2. 押し込みファスナー

3. 機体からフードを外す 図 13。

注 取り外した押し込みファスナーは廃棄する。

4

フォームマーカークットオプションの接続を外す

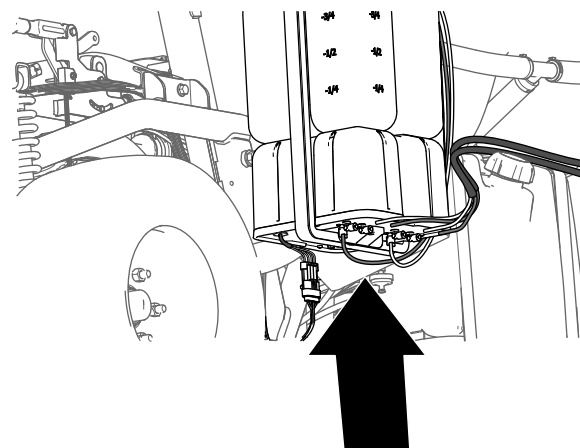
この作業に必要なパーツ

2	チューブアセンブリToro P/N 114-9553
8	ケーブルタイ

コンプレッサから原液チューブと空気チューブを取り外す

フォームマーカークット2017年度以降

1. フォームマーカークット用の接続パネルで、右側ブーム用の透明チューブと青色チューブをケーブルタイで固定する 図 14。



g197746

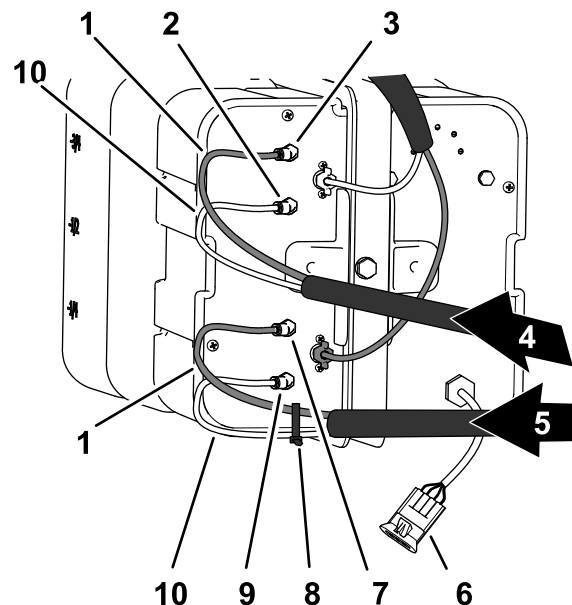


図 14

g197757

1. 青いチューブ
2. 原液用フィッティング左ブーム
3. 空気用フィッティング左ブーム
4. 泡用チューブ左ブーム
5. 泡用チューブ右ブーム
6. 電気コネクタ
7. 原液用フィッティング右ブーム
8. ケーブルタイ
9. 原液用フィッティング右ブーム
10. 透明チューブ

2. ロッキングカラーを押し込む 図 15。

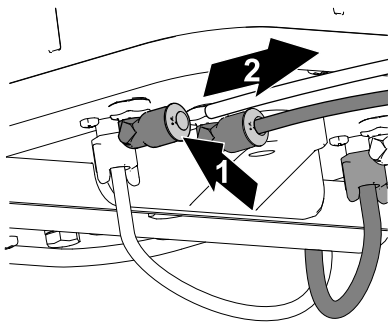


図 15

g197769

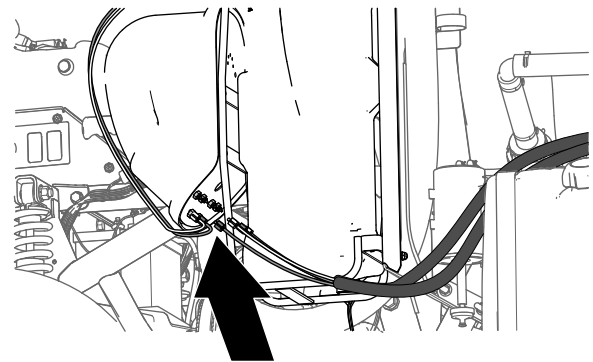
1. ロックカラーを押し込む
2. チューブを引き出す

3. フィッティングからチューブを引き出す 図 15。
4. 他のチューブ 3 本についても、ステップ 23 の作業を行う。

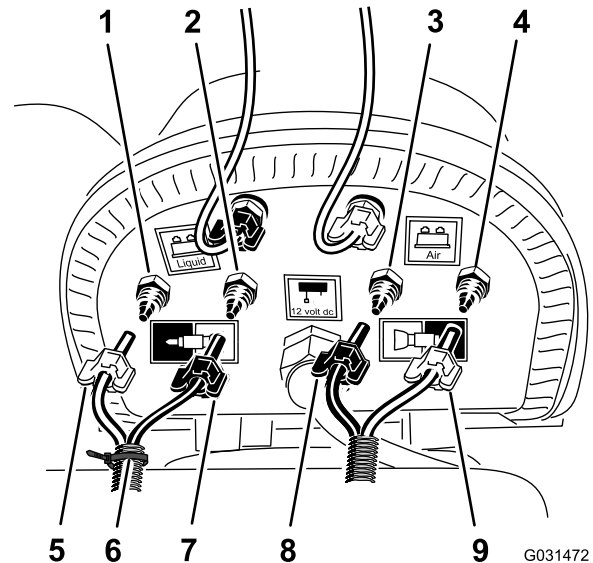
コンプレッサから原液チューブと空気チューブを取り外す

フォームマーカークット2016年度以前

1. フォームマーカークット用の接続パネルで、右側ブーム用の透明チューブと青色チューブをケーブルタイで固定する 図 16。



g197745



G031472

g031472

図 16

1. 空気圧縮フィッティング右ブーム
2. 原液圧縮フィッティング右ブーム
3. 原液圧縮フィッティング左ブーム
4. 空気圧縮フィッティング左ブーム
5. 圧縮ナット空気用右ブーム、青チューブ
6. ケーブルタイ
7. 圧縮ナット水用右ブーム、透明チューブ
8. 圧縮ナット左ブーム、青チューブ
9. 圧縮ナット左ブーム、透明チューブ

2. 左および右ブーム部で、泡ノズル用の透明チューブ2本と青色チューブ2本の圧縮ナットをゆるめる 図 16。
3. ブーム用の圧縮フィッティングからチューブ4本を外す 図 16。

ブームから原液チューブと空気チューブを取り外す

1. 左ブーム用の泡液剤チューブと空気チューブ、および右ブーム用の液剤チューブと空気チューブを区別できるようにテープなどでマーキングする。
2. 左右のブームで、泡ノズルからチューブを外し、ブームの支点近くにある R クランプから抜き出す 図 17。

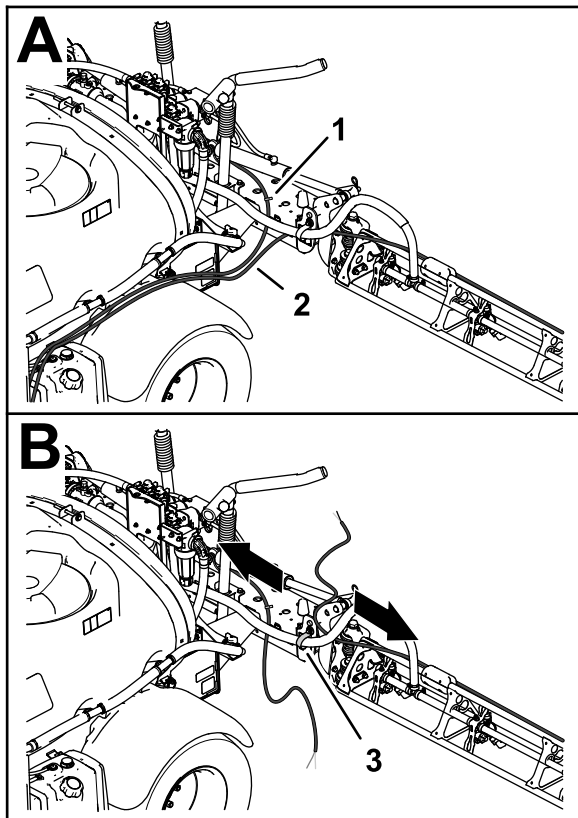


図 17

g197783

1. チューブフォームマーカのノズル用左ブーム用
2. チューブフォームマーカのノズル用右ブーム用
3. R クランプ

3. センターブーム延長キットが装着されているマシンでは、外したチューブの端部を右または左ブームに仮止めし、以下の作業は行わない **フォームマーカのノズル用の新しいチューブアセンブリの準備を行う** (ページ 12) および **新しいチューブアセンブリを取りつける** (ページ 13)。

フォームマーカのノズル用の新しいチューブアセンブリの準備を行う

オプションのセンターブーム延長キットを搭載していない車両

1. フォームマーカの透明チューブと青色チューブを左右のブームに固定しているケーブルタイを外す 図 18。

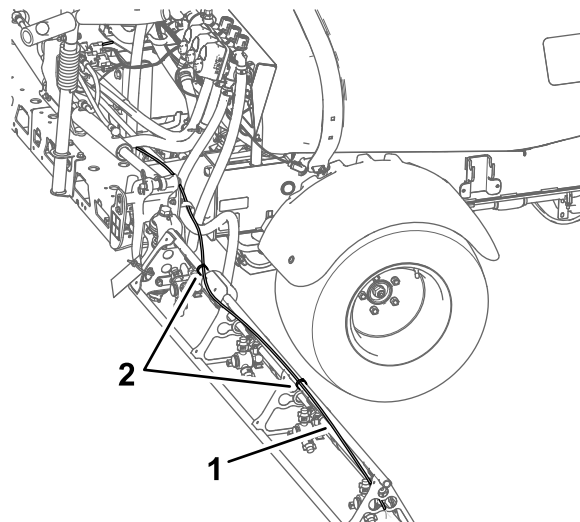
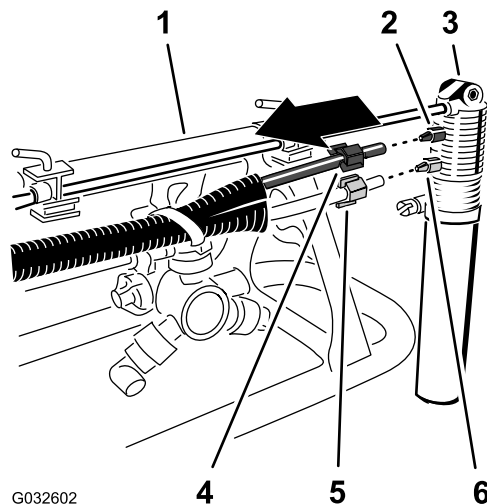


図 18

g197816

1. 原液チューブと空気チューブ 2. ケーブルタイ
右図は右ブーム

2. フォームマーカのノズル部で、ノズルの青色圧縮フィッティングに青色チューブ水を固定している圧縮ナットをゆるめる 図 19。



G032602

g032602

図 19

1. 外側左右のブーム
2. 圧縮フィッティング青
3. フォームマーカのノズル
4. 圧縮ナット青水用青色チューブ
5. 圧縮ナット白空気用透明チューブ
6. 圧縮フィッティング白

3. フォームマーカのノズルの白色圧縮フィッティングに透明チューブ空気を固定している圧縮ナットをゆるめる [図 19](#)。
4. 機体から原液チューブと空気チューブを取り外す。
5. チューブの両端にある圧縮ナットを取り外す [図 19](#)。

注 外した圧縮ナットは、ステップ 1 新しいチューブアセンブリを取りつける (ページ 13) で使用します。

6. 古い原液チューブと空気チューブ [図 20](#) を新しいチューブアセンブリ Toro P/N 114-9553 に合わせて並べる。

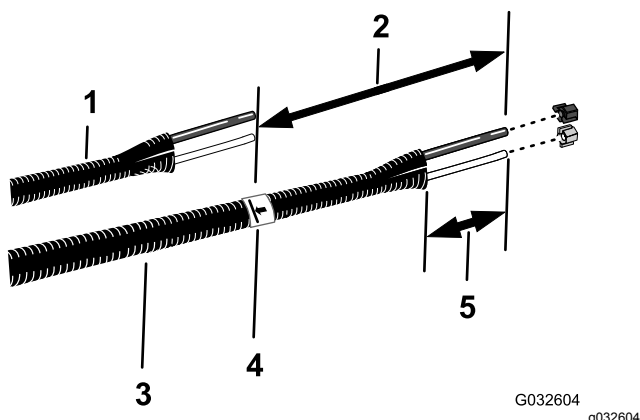


図 20

- | | |
|--------------------------------------|-------------|
| 1. 古い原液チューブと空気チューブ | 4. テープとマーク |
| 2. 26cm 10 インチ | 5. 77 102mm |
| 3. 新しいチューブアセンブリ
Toro P/N 114-9553 | |

7. 古い原液チューブと空気チューブに合わせて新しいチューブアセンブリにテープで印をつける。
8. ステップ 7 で新しいチューブアセンブリに付けたマークから 26cm の所にマーキングを施し、この位置長さを増やした方のマークでチューブアセンブリを切断する [図 20](#)。
9. 古い原液チューブと空気チューブにケーブルタイでマーキングが施されている場合には、新しいチューブアセンブリにも同じようにマーキングするが、マーキングされていない場合には、ステップ 10 へ進む。

注 古い原液チューブと空気チューブは、これで不要になりました。

10. チューブアセンブリの各チューブの端部から、外被覆を 77 102mm はぎ取る [図 20](#)。
11. 機体の反対側のチューブについても 1 から 10 の作業を行う。

新しいチューブアセンブリを取りつける オプションのセンターブーム延長キットを搭載していない車両

1. 青色チューブに青色圧縮ナットを取り付け、透明チューブに白色圧縮ナットを取り付ける ([図 21](#))。

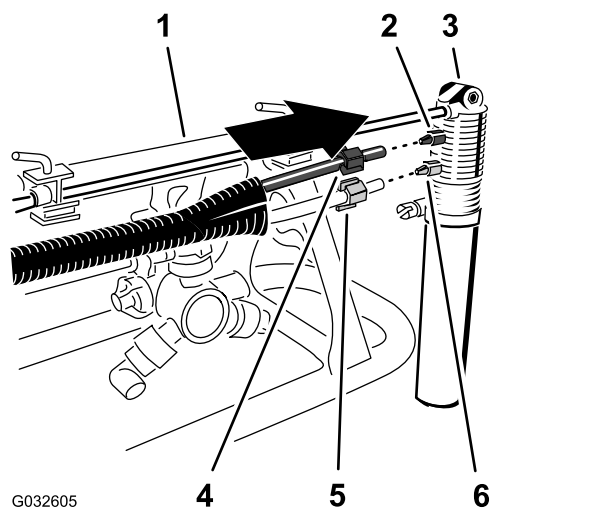


図 21

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. ブームの外側端部 | 4. 圧縮ナット青水用青色チューブ |
| 2. 圧縮ナット青 | 5. 圧縮ナット白空気用透明チューブ |
| 3. フォームマーカのノズル | 6. 圧縮フィッティング白 |

2. フォームマーカのノズルの白色圧縮フィッティングに透明チューブの白色圧縮ナットを嵌め、ナットを手締めする [図 21](#)。
3. フォームマーカのノズルの青色圧縮フィッティングに青色チューブの青色圧縮ナットを嵌め、ナットを手締めする [図 21](#)。
4. [図 22](#) に示すように、ブームの上側サポートポールの後ろ側に沿ってチューブアセンブリを配設する。

重要間違えてブームの上側サポートポールの前側に沿ってチューブアセンブリを配設してしまうと、ブームを折りたたんだ時にブームとクレードルとの間にチューブが挟まれてしまいます。

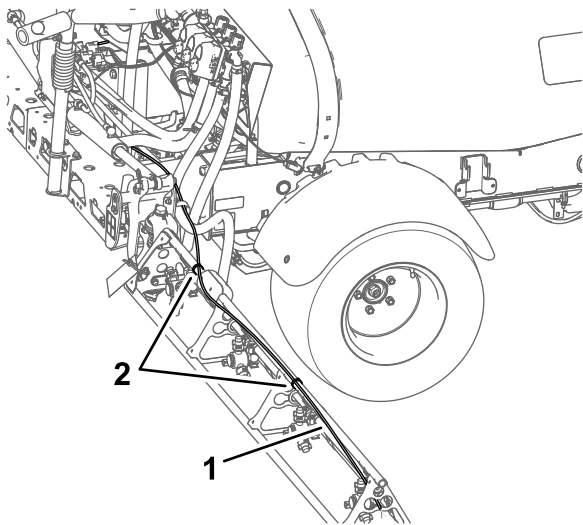
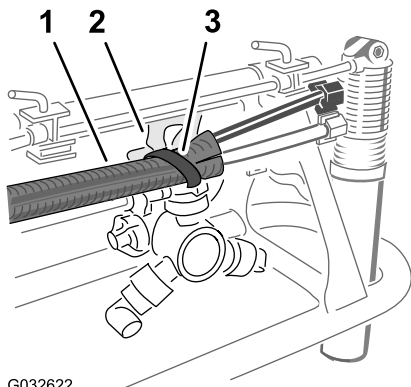


図 22

g197816

1. チューブアセンブリ図は右
2. ケーブルタイ

5. 図 23に示すように、ケーブルタイを使ってチューブアセンブリをノズルサポートの穴に固定する。



G032622

図 23

g032622

1. チューブアセンブリ
2. ノズルサポート
3. ケーブルタイ

6. 図 22に示すように、ケーブルタイを使ってチューブアセンブリをboomに固定する。
7. チューブアセンブリの自由端を、boomに仮止める。
8. マシンの反対側でも、ステップ 16 の作業を行う。

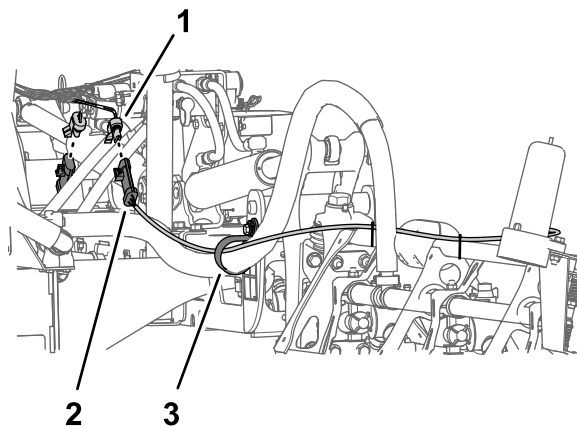
5

ウルトラソニックboomレベリングキットオプションの接続を外す

必要なパーツはありません。

手順

1. ウルトラソニックboomレベリングキットのワイヤハーネスの3ピンコネクタを、車両のワイヤハーネスの3ソケットコネクタから外す 図 24。



g198450

図 24

1. 3ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス
2. 3ピンコネクタウルトラソニックboomレベリングキットのワイヤハーネス
3. サポートクランプ

2. マシンの反対側のウルトラソニックboomのワイヤハーネスの3ピンコネクタにも、ステップ 1 の作業を行う。

6

カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す

必要なパーツはありません。

手順

1. センターセクションカバー11ノズルを支えておいて、このカバーをカバーサポートブラケットに固定しているフランジヘッドボルト5/16 x 1-1/4 インチ4本とカバーストラップ2本を外す 図 25。

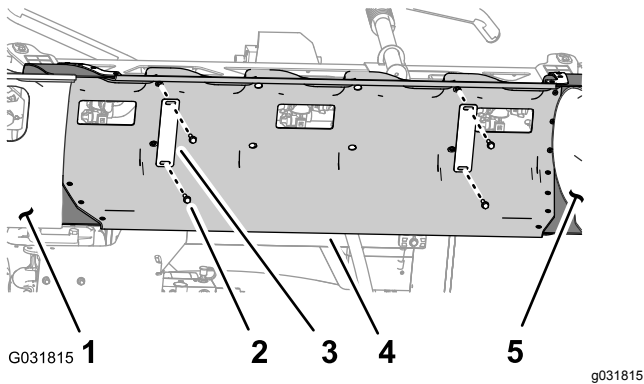


図 25

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| 1. ブームカバー左 | 4. センターセクションカバー |
| 2. フランジヘッドボルト 5/16 x 1-1/4 インチ | 5. ブームカバー右 |
| 3. カバーストラップ | |

2. 機体からセンターセクションカバーを外す 図 26。

注 外したカバー、カバーストラップ、フランジヘッドボルトは、ステップ 1と2 センターブーム用カバーを取り付ける (ページ 66)で使します。

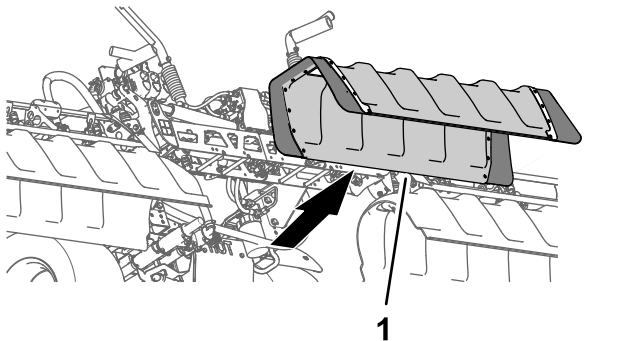


図 26

1. センターセクションカバー

7

ダッシュボード用の水圧検知チューブを外す

必要なパーツはありません。

ダッシュボード用の水圧検知チューブを外す

オプションのハンドスプレーキットや電動ホースリールキットを搭載していない車両

注 スプレーガンキットオプションを搭載している車両では、水圧検知チューブと散布ホースを外す (ページ 16)を参照してください。

1. 右側ブーム用バルブのエンドキャップのカップラにあるカラーを押し込む 図 27。

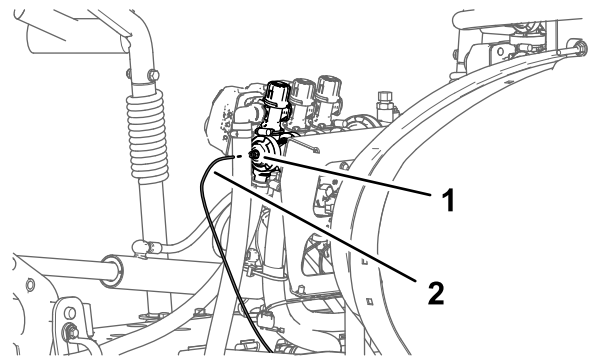


図 27

- | | |
|----------------------------|-------------|
| 1. チューブカップラ右ブームバルブのエンドキャップ | 2. 水圧検知チューブ |
|----------------------------|-------------|

2. ダッシュボード用の水圧検知チューブを抜き出す 図 27。

水圧検知チューブと散布ホースを外す オプションのハンドスプレーキットまたは電動ホースリールキットを搭載している車両

1. 右側ブーム用バルブの90°エルボに、チューブカップラのカラーを押し込む 図 28。

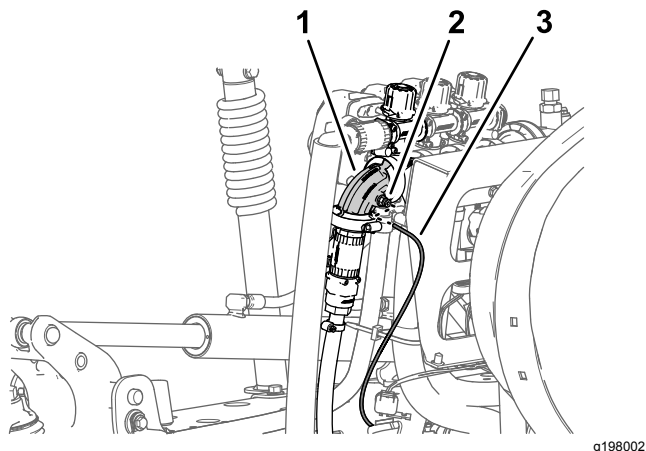


図 28

1. 90°エルボ右ブームバルブ
2. チューブカップラ
3. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用

2. ダッシュボード用の水圧検知チューブを抜き出す 図 28。

注 散布ホース用のシャットオフバルブの90°エルボは右側ブーム用バルブのフランジから外さないでください。

8

散布バルブのコネクタを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

1. 3つの散布バルブアクチュエータのそれぞれについている3ピンコネクタから、車両用ワイヤハーネスの3ソケットコネクタそれぞれLEFT SPRAY VALVE、CENTER SPRAY VALVE、RIGHT SPRAY VALVEというラベルがついているを外す 図 29。

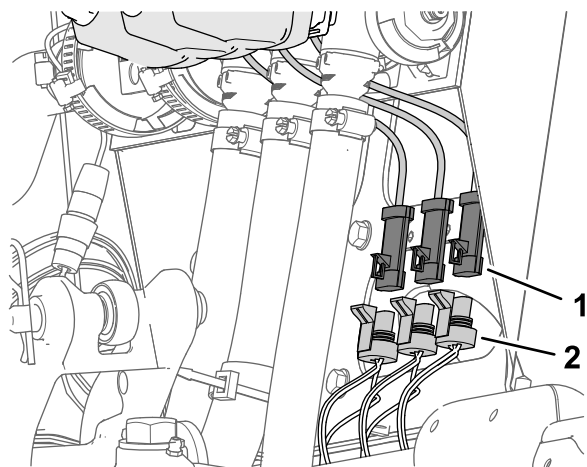


図 29

1. 3ピンコネクタ散布バルブのアクチュエータ
2. 3ソケットコネクタ車両のワイヤハーネスLEFT SPRAY VALVEは左ブーム用、CENTER SPRAY VALVEは中央ブーム用、RIGHT SPRAY VALVEは右用

2. 車両用ワイヤハーネスのうち、RATE VALVEというラベルのついた4ソケットコネクタを、レートバルブのアクチュエータの4ピンコネクタから外す 図 30。

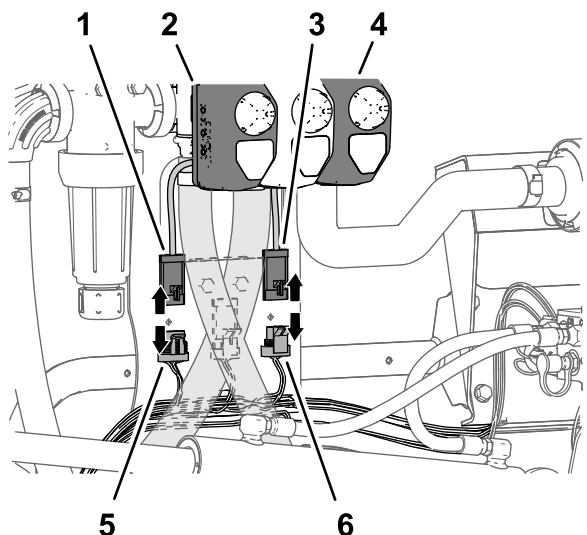


図 30

1. 4ピンコネクタレートバルブのアクチュエータ
2. アクチュエータレートバルブ
3. 3ピンコネクタマスター散布バルブのアクチュエータ
4. アクチュエータマスター散布バルブ
5. 4ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス、レートバルブ
6. 3ソケットコネク車両のワイヤハーネス、マスター散布バルブ

3. 車両用ワイヤハーネスのうち、MASTER SPRAY VALVEというラベルのついた3ソケットコネクタを、マスター散布バルブのアクチュエータの3ピンコネクタから外す 図 30。

9

散布レートスイッチを外す

この作業に必要なパーツ

1	ケーブルタイ
1	スイッチのプラグ

手順

1. 3 スイッチパネルを制御コンソールに固定しているフランジヘッドねじ 1/4 x 1/2 インチ 4 本を外す [図 31](#)。

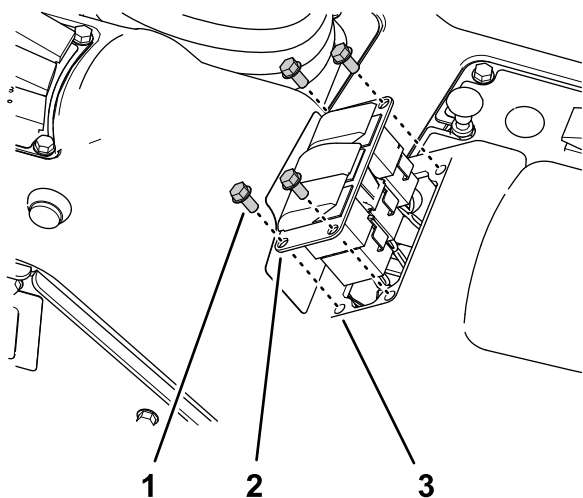


図 31

1. フランジヘッドねじ 1/4 x 1/2 インチ
2. 3 スイッチパネル
3. 開口制御コンソール

2. レート制御スイッチのロックタブをつまんで、スイッチを 3 スイッチパネルから押し出す [図 32](#)。

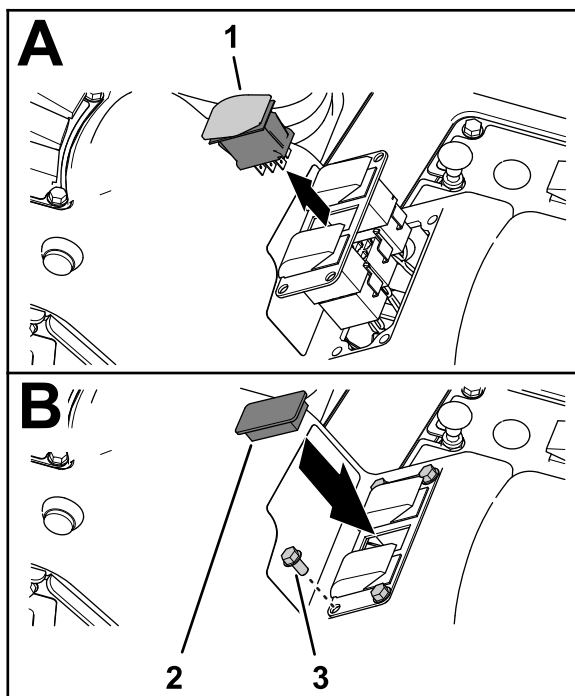


図 32

1. レート制御スイッチ
2. スwitchのプラグ
3. フランジヘッドねじ 1/4 x 1/2 インチ

3. 車両用ワイヤハーネスのうち、**Rate Switch**というラベルのついた 8 ソケットコネクタを、スイッチの 8 ピンコネクタから外す [図 31](#)。

注 機体から外したレートスイッチは、もう使用しません。

4. 前ハーネスの、レートスイッチ用の枝線を、3 スイッチパネルの穴に通し、電気コードをケーブルタイで近くの電気コードに縛り付ける。
5. 3 スイッチパネルを制御コンソールに組み付ける [図 32](#) ステップ 1 で取り外したフランジヘッドねじ 1/4 x 1/2 インチ 4 本を使用する。
6. 3 スイッチパネルの穴に、スイッチプラグを合わせる [図 31](#)。
7. 3 スイッチパネルにスイッチプラグを押し込む。プラグがパチンと音を立てて嵌るまで押し込む [図 31](#)。

10

ブームを取り外す

必要なパーツはありません。

ブームホースを取り外す

1. 左右のブームで、給液ホースをバーブ付き T 字フィッティングに固定しているホースクランプを外す 図 33。

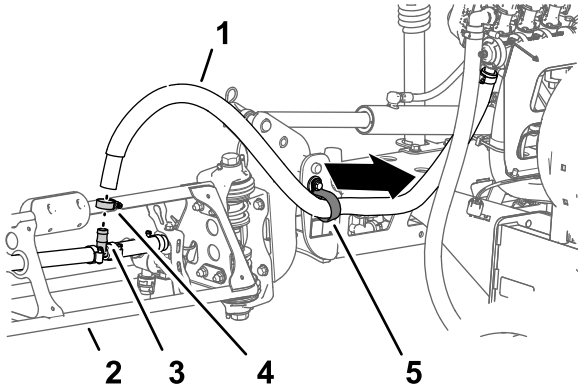


図 33

g198451

1. ブーム給液ホース左右ブーム
2. 外側右または左ブーム
3. バーブ付き字フィッティング
4. ホースクランプ
5. R クランプ

2. 字フィッティングからホースを取り外す 図 33。
3. ホース端部をRクランプから外す 図 33。
4. 機体の反対側のブームでも、ステップ 13 の作業を行う。
5. センターブームの下で、センターステムに給液しているホースをバーブ付き T 字フィッティングに固定しているクランプを外す 図 34。

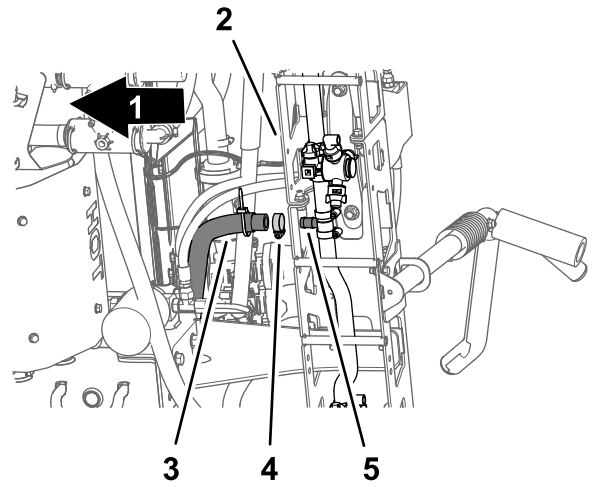


図 34

g198473

1. 車体前方
2. センターブーム
3. 給液ホースセンターブーム
4. ホースクランプ
5. バーブ付き字フィッティング

6. 左、中央、右ブームバルブでそれぞれクイックカップラ固定しているリテーナを外す 図 35。

注 リテーナは 各ホースをノズルバルブ710 番に取り付ける。(ページ 56)で使します。

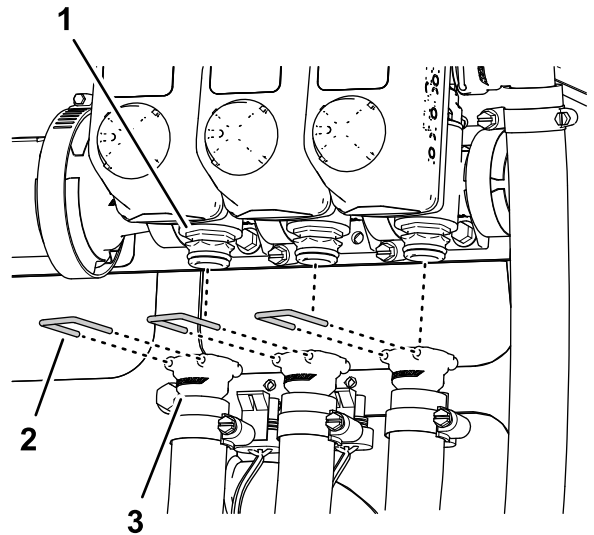


図 35

g198474

1. クイックカップラブームバルブ
2. リテーナ
3. クイックカップラソケット給液ホース

7. 各ブームバルブのクイックカップラから、左、中央、右の各ブーム給液ホースを外し、車両からホースを外す 図 35。

注 左、中央、右ブーム用の給液ホースは廃棄して構いません。

昇降シリンダから、伸長用ホースと引き込み用ホースを外す。

1. 左右の昇降シリンダの伸長ポートと引き込みポートからホースを外す 図 37。

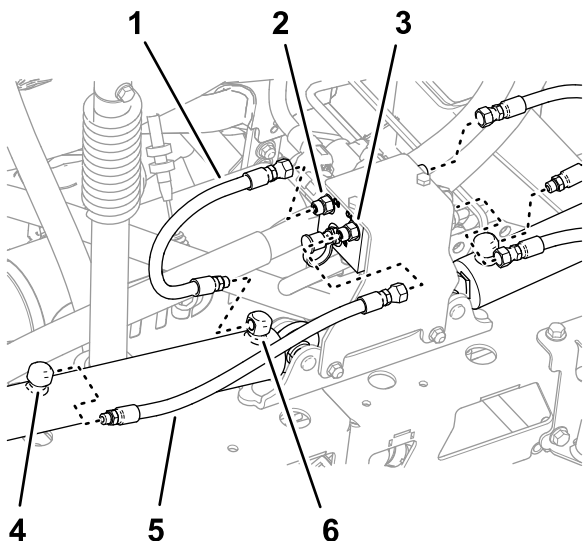


図 36

g198542

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. ホース伸長ポート | 4. 引き込み用ポート昇降シリンダ |
| 2. ポート C3 昇降シリンダのマニホルド | 5. ホース引き込みポート |
| 3. ポート C4 昇降シリンダのマニホルド | 6. 伸長用ポート昇降シリンダ |

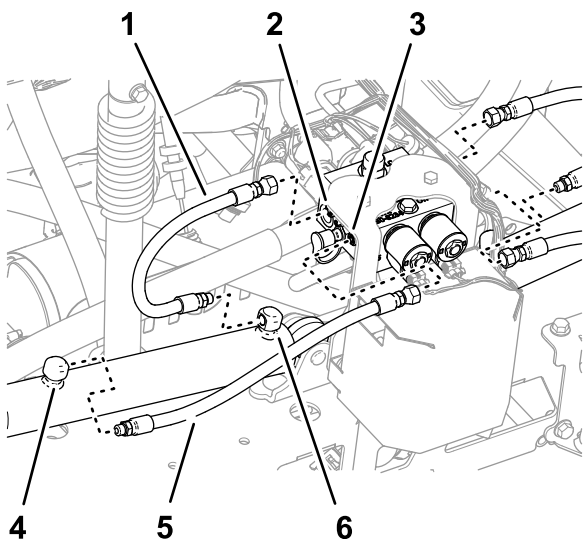


図 37

g198541

オプションのウルトラソニックブームレベリングキットを搭載している車両

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. ホース伸長ポート | 4. 引き込み用ポート昇降シリンダ |
| 2. ポート C3 昇降シリンダのマニホルド | 5. ホース引き込みポート |
| 3. ポート C4 昇降シリンダのマニホルド | 6. 伸長用ポート昇降シリンダ |

2. 昇降シリンダマニホルドのC2ポートとC4ポートからホースを外す 図 37。
3. 左右の昇降シリンダの引き込みポートからホースを外す 図 37。
4. 昇降シリンダマニホルドのC1ポートとC3ポートからホースを外す 図 37。

注 外したホースは不要です。

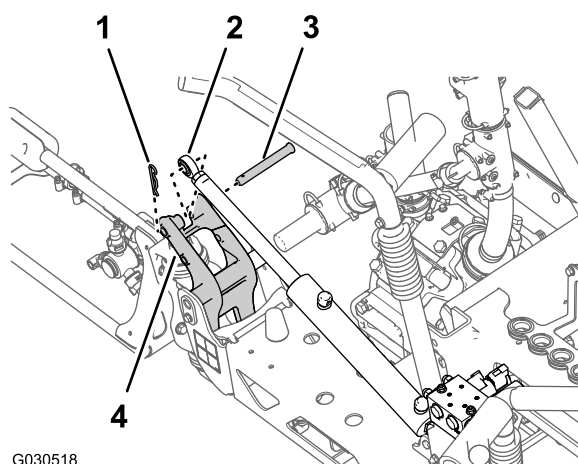
昇降シリンダを取り外す

吊り上げ装置に必要な能力: 91kg

注 廃棄するように明記されていない限り、外したボルト・ナット類はすべて延長キットの取り付けに利用しますから捨てないでください。

1. 所定の能力のあるホイストなどを使って、左または右のブームを支える。
2. 昇降シリンダをピボットブラケットに固定しているヘアピンとクレビスピンを取り外す 図 38。

注 ヘアピンとクレビスピン 昇降シリンダを組み立てる (ページ 48) で取り付けに使用します。



G030518

g030518

図 38

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. ヘアピン | 3. クレビスピン |
| 2. ロッドのフィッティング昇降シリンダ | 4. ピボットブラケット |

3. ピボットピンをシリンダマウントに固定しているフランジロックナット5/16 インチとフランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチを取り外す 図 39。

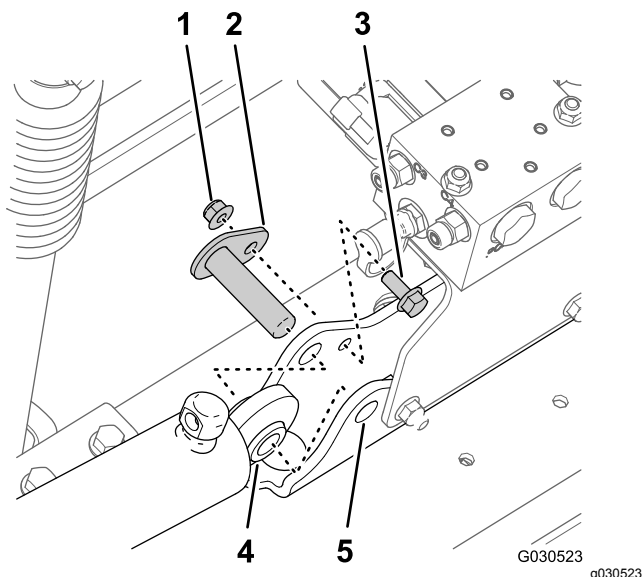


図 39

1. フランジロックナット5/16 インチ
2. ピボットピン
3. フランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ
4. 昇降シリンダ
5. シリンダマウント

4. 機体から、ピボットピンと昇降シリンダを外す [図 39](#)。
5. ステップ [左右のブームを取り外す \(ページ 20\)](#) の手順を行う。

左右のブームを取り外す

吊り上げ装置に必要な能力: 91kg

注 飛散防止カバーを搭載している車両では、左右のブームから飛散防止カバーを取り外す必要はありません。

⚠ 警告

重量物の吊り上げは危険を伴う作業であり、最悪の場合は死亡事故を招く。

重量のある装置やアタッチメントを吊り上げる持ち上げる場合には、必ずそれに適した装置を用い、チェーンなどで確実に吊ること。

注 廃棄するように明記されていない限り、外したボルト・ナット類はすべて延長キットの取り付けに利用しますから捨てないでください。

1. ピボットピンをピボットブラケットに固定しているフランジボルト5/16 x 1 インチ とフランジロックナット 5/16 インチを取り外す [図 40](#)。

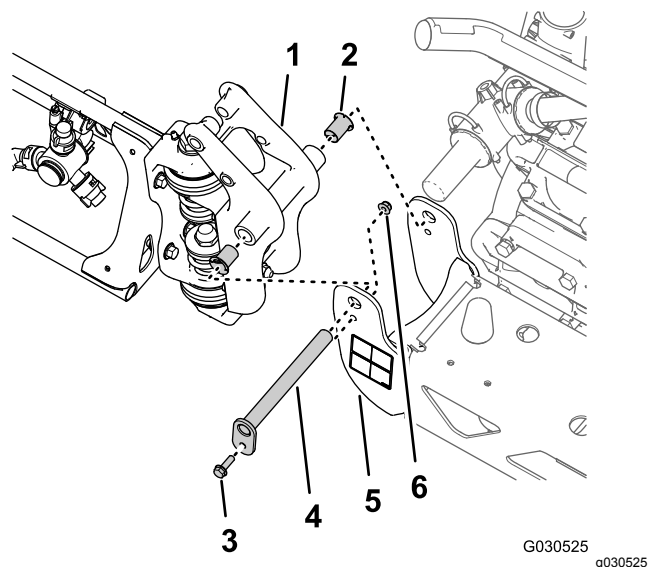


図 40

1. ピボットフィッティング左右
2. ナイロン製フランジブッシュ
3. フランジボルト5/16 x 1 インチ
4. ピボットピン
5. ピボットブラケットセンターブーム
6. フランジロックナット5/16 インチ

2. センターブーム用のピボットブラケット、および、左右ブーム用のピボットフィッティングからピボットピンを抜き取る [図 40](#)。

注 フランジボルト、フランジナット、ピボットピンは [22 左右のブームを取り付ける \(ページ 50\)](#) で使用します。

3. センターブームから外側左または右ブームを切り離し、外側ブームを機体から外す [図 40](#)。
4. 外側ブームのピボットフィッティングからナイロン製フランジブッシュ2個を外す [図 40](#)。

注 ブッシュは廃棄してください。

5. マシンの反対側の外側左または右ブームにも、ステップ [13 昇降シリンダを取り外す \(ページ 19\)](#) の作業を行う。
6. マシンの反対側の外側左または右ブームにも、この項のステップ [14](#) の作業を行う。

センターブームからブーム昇降マニホルドを外す

- 以下の手順で、シリンダマウントからブームマニホルドを取り外す
 - オプションのウルトラソニックブームレベリングキットを搭載していない車両ブーム昇降マニホルド用サポートブラケットをシリンダマウントに固定しているフランジロックナット5/16インチ2個とフランジヘッドボルト5/16 x 1インチ2本を外して、マウントからマニホルドとブラケット外す 図 41。

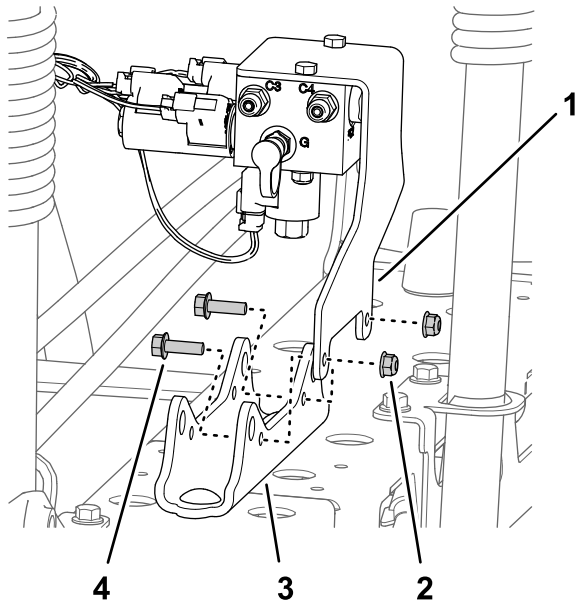
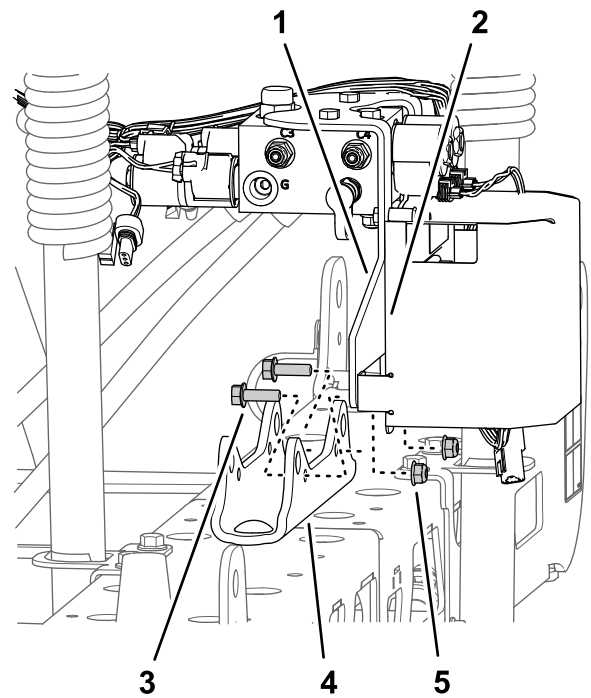


図 41

- サポートブラケットブーム昇降マニホルド
- フランジロックナット5/16インチ
- シリンダマウント
- フランジヘッドボルト5/16 x 1インチ

- オプションのウルトラソニックブームレベリングキットを搭載している車両ブーム昇降マニホルド用サポートブラケットとTECコントロール用ブラケットをシリンダマウントに固定しているフランジロックナット5/16インチ2個とフランジヘッドボルト5/16 x 1インチ2本を外して、マウントからマニホルドとブラケット外す 図 42。



g198618

図 42

オプションのウルトラソニックブームレベリングキットを搭載している車両

- サポートブラケットブーム昇降マニホルド
- TEC コントローラ用ブラケット
- フランジヘッドボルト5/16 x 1インチ
- シリンダマウント
- フランジロックナット5/16インチ

- ロープを使って、ブーム昇降マニホルドを散布バルブマニホルドに縛り付けて固定する。

注 サポートブラケット、昇降マニホルド、ボルト、ナットは、ステップ19 昇降シリンダマニホルドをシリンダマウントに取り付ける (ページ 41)で使用します。

センターブームを取り外す

吊り上げ装置に必要な能力: 41kg

1. 飛散防止カバーを搭載している車両では、センターブームから飛散防止カバーを取り外してください。
2. 所定の能力のあるホイストなどを使って、センターブームを支える [図 43](#)。

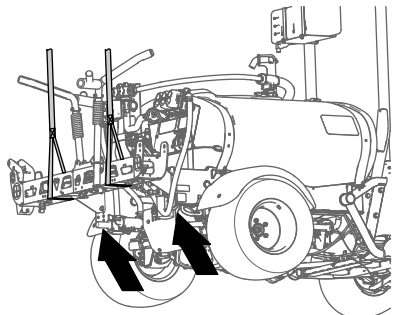


図 43

g198634

3. フランジヘッドボルト 1/2 x 1-1/4 インチ 4本とフランジロックナット 1/2 インチ 4個でセンターブームのサポートブラケットを機体の取り付けプレートに固定している穴の位置を、テープなどでマーキングする [図 44](#)。

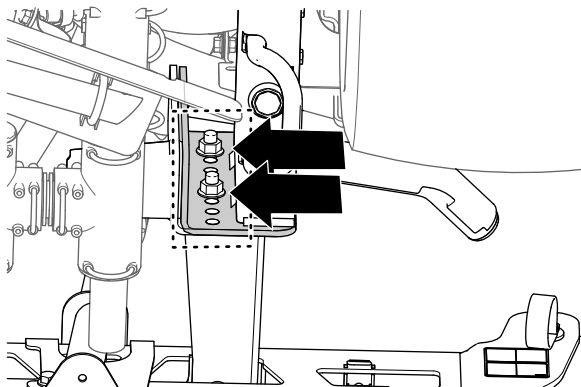


図 44

g198633

4. センターブーム用サポートブラケットを機体フレームの取り付けプレートに固定しているフランジヘッドボルト 1/2 x 1-1/4 インチとフランジロックナット 1/2 インチ 4個とを外して、センターブームを機体から外す [図 45](#)。

注 ボルトとロックナットは、新しいセンターブームの取り付けに再使用します。

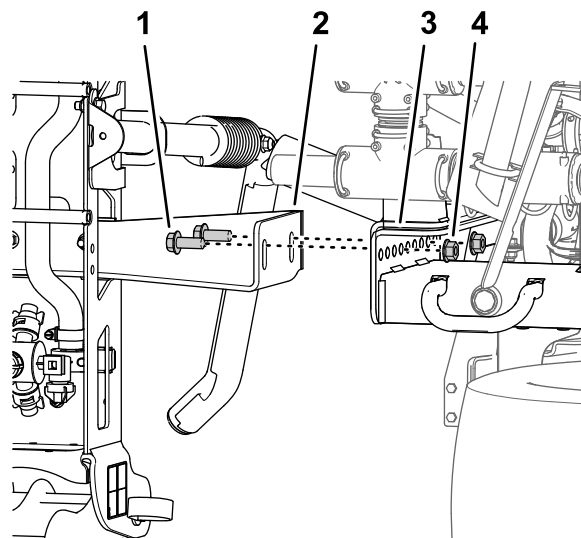


図 45

g198635

1. フランジヘッドボルト (1/2 x 1-1/4 インチ)
2. サポートブラケットセンターブーム)
3. 取り付け用チャンネル部材スプレーヤのフレーム
4. フランジロックナット 1/2 インチ

11

センターブームエクステンションを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	フランジヘッドボルト 3/8 x 1 インチ
2	フランジロックナット 3/8 インチ
1	センターブームエクステンション
1	シリンダマウントワイド
1	タイプレートワイド
4	キャリッジボルト 1/2 x 1-1/4 インチ
4	フランジロックナット 1/2 インチ

スプレーヤのノズルを取り外す

1. センターブーム部で、ノズルをノズルマウントに固定しているフランジロックナット外す [図 46](#)と[図 47](#)。

注 外したロックナットは、ステップ 6とノズルとホースをセンターブームに取り付ける (ページ 27) で使用します。

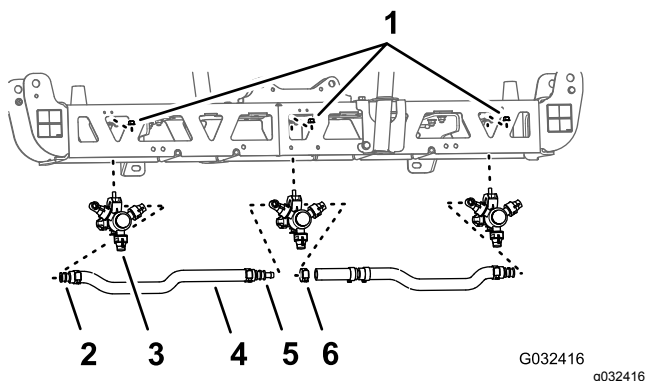


図 46

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. フランジロックナット5/16 インチ | 4. ホース内径 3/4 インチ |
| 2. 片側バーブ付きホースシャック3/4 インチ | 5. 両側バーブ付きホースシャック3/4 インチ |
| 3. スプレーノズル | 6. ホースクランプ |

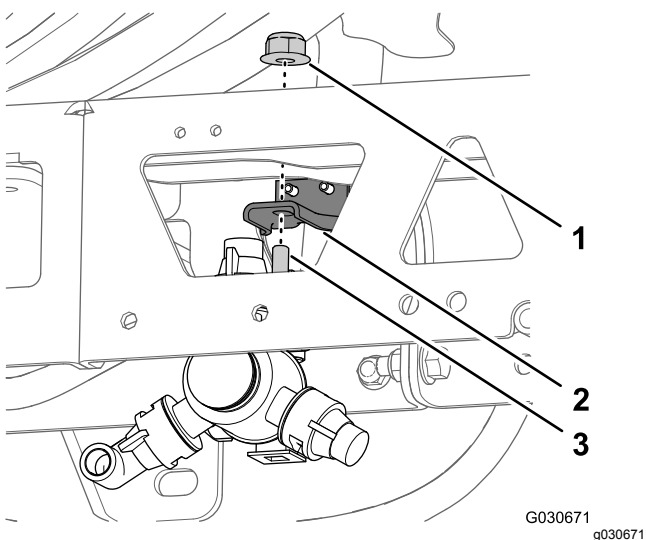


図 47

- | | |
|-----------------------|----------------------------------|
| 1. フランジロックナット5/16 インチ | 3. 六角ヘッドボルト5/16 x 3/4 インチスプレーノズル |
| 2. ノズルマウント | |

2. 片側または両側バーブ付きホースシャック3/4 インチとそのクランプの上半分とをスプレーノズルのボディに固定しているステンレスねじ#12 x 1-1/4 インチを外してバーブ付きホースシャックとホースをノズルから外す 図 48。

注 クランプを分離する時に上側クランプから外れてくる六角ヘッドボルト5/16 x 3/4 インチステンレスは再利用しますから捨てないでください。

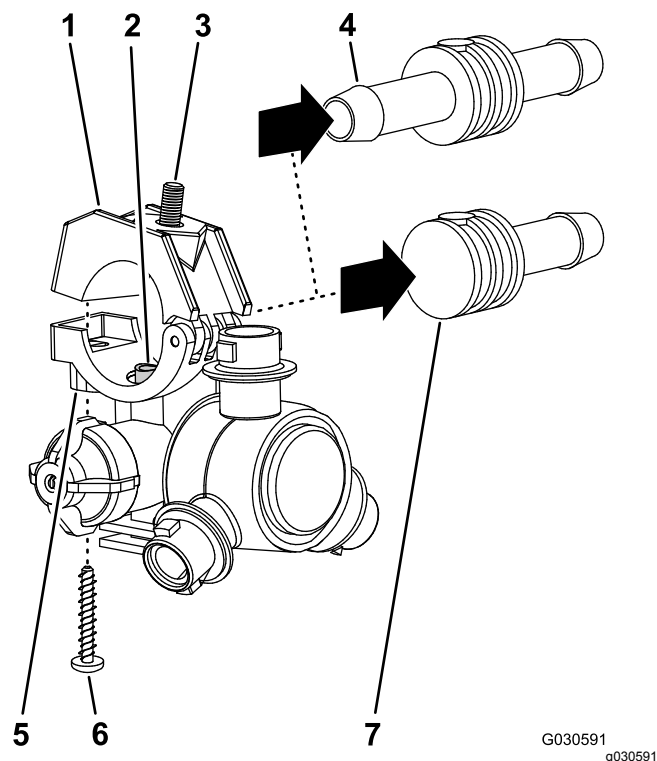


図 48

- | | |
|--------------------------------|---------------------------|
| 1. クランプの上半分 | 5. サドルスプレーノズルのボディ |
| 2. トランスファチューブ | 6. ステンレスねじ#12 x 1-1/4 インチ |
| 3. 六角ヘッドボルト5/16 x 3/4 インチステンレス | 7. 片側バーブ付きホースシャック3/4 インチ |
| 4. 両側バーブ付きホースシャック3/4 インチ | |

3. センターブームからノズルを外す 図 46 と 図 47。
4. 他の2個のノズルについても、上記の手順1と2を行う。

注 外したノズル、ステンレスねじ、六角ヘッドボルトは、ステップ 6と7 センターブーム用のノズルとホースを組み立てる (ページ 26)で使用します。

5. センターブームから、ホース内径 3/4 インチ、バーブ付きホースシャック、クランプ、バーブ付き字フィッティングを外す 図 46。

注 ホース、ホースシャック、クランプ、字フィッティングは、もう使用しません。

センターブームからサポートブラケットを外す

吊り上げ装置に必要な能力: 41kg

1. 所定の能力のあるホイストなどを使って、センターブームを支える。
2. サポートブラケットをセンターブームに固定しているフランジヘッドボルト3/8 x 1 インチ2本とフランジロックナット3/8 インチ2個を外して、ブラケットを取り外す 図 49。

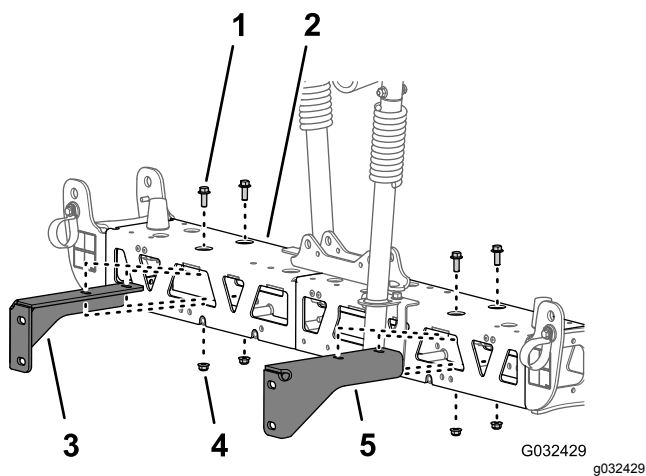


図 49

1. フランジヘッドボルト 3/8 x 1 インチ
2. センターブーム
3. 右側サポートブラケットセンターブーム
4. フランジロックナット 3/8 インチ
5. 左側サポートブラケットセンターブーム

3. もうひとつのサポートブラケットをセンターブームに固定しているフランジヘッドボルト 3/8 x 1 インチ 2 本とフランジロックナット 3/8 インチ 2 個を外して、ブラケットを取り外す 図 49。

注 サポートブラケット、ボルト、ロックナットは、ステップ 3 と 4 サポートブラケットをセンターブームに取り付ける (ページ 25) で使用します。

センターブームのトラスを取り外す

1. 左右のトラスフレームの垂直フランジを固定しているフランジヘッドボルト 3/8 x 1 インチ 2 本とロックナット 3/8 インチ 2 個を取り外す 図 50。

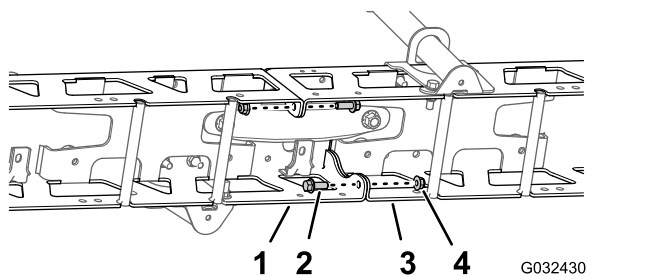


図 50

1. 左側トラスフレーム
2. フランジヘッドボルト 3/8 x 1 インチ
3. 右側トラスフレーム
4. ロックナット 3/8 インチ

2. 幅狭のシリンダマウント、左右のトラスフレーム、幅狭のタイプレートを固定しているキャリッジボルト 1/2 x 1-1/4 インチ 2 本とロックナット 1/2 インチ 2 個を取り外す 図 51。

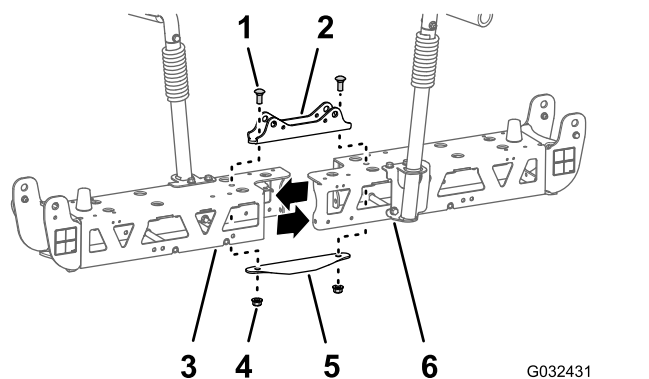


図 51

1. キャリッジボルト 1/2 x 1-1/4 インチ
2. シリンダマウント幅狭
3. 左側トラスフレーム
4. ロックナット 1/2 インチ
5. タイプレート幅狭
6. 右側トラスフレーム

注 フランジヘッドボルト、キャリッジボルト、ロックナットは、ステップ 2 と 7 センターブームエクステンションを取り付ける (ページ 24) で使用します。幅狭シリンダマウントと幅狭のタイプレートは、もう使用しません。

3. 左右のトラスフレームを分離する。

センターブームエクステンションを取り付ける

1. センターブームエクステンションの垂直フランジについている穴を、トラスフレームの穴に合わせる 図 52。

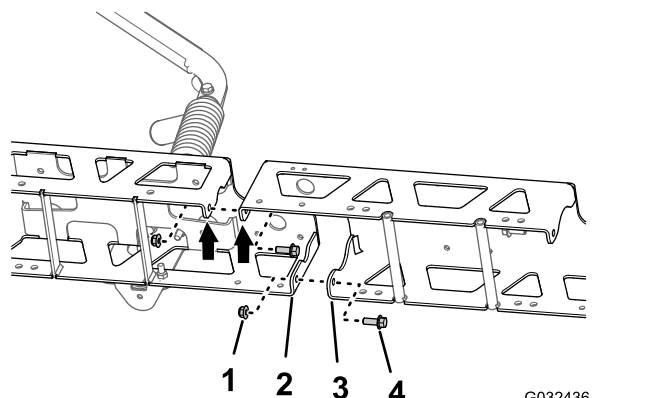


図 52

1. フランジロックナット 3/8 インチ
2. 垂直フランジトラスフレーム
3. 垂直フランジセンターブームエクステンション
4. フランジヘッドボルト 3/8 x 1 インチ

2. センターブームエクステンションをトラスフレームに仮組み付けする 図 52 ステップ 1 センターブームのトラスを取り外す (ページ 24) で取り外したフランジヘッドボルト (3/8 x 1 インチ) 2 本とフランジロックナット 3/8 インチを使用する。

- センターブームエクステンションの垂直フランジについている穴を、もうひとつのトラスフレームについている穴に合わせる [図 52](#)。
- センターブームエクステンションをこのトラスフレームに仮組み付けする [図 52](#) ジオリンクスプレシシステム仕上りキットに入っているフランジヘッドボルト 3/8 x 1 インチ 2 本とフランジロックナット 3/8 インチ 2 個を使用する [図 52](#)。
- シリンダマウントの穴を、トラスフレームのセンターラインの穴とセンターブームエクステンションの穴に合わせる [図 53](#)。

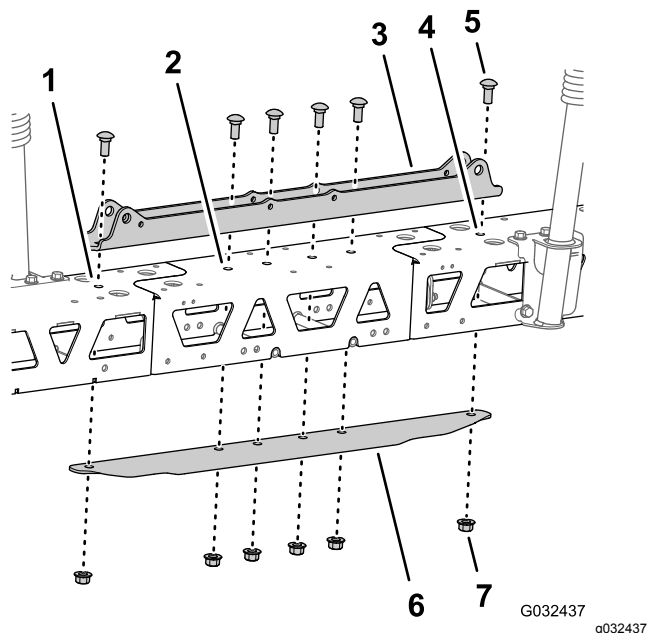


図 53

- 左側トラスフレーム
 - センターブームエクステンション
 - シリンダマウント幅広
 - 右側トラスフレーム
 - キャリッジボルト 1/2 x 1-1/4 インチ
 - タイプレート幅広
 - フランジロックナット 1/2 インチ
- タイプレートを、トラスフレームとセンターブームエクステンションの中に入れ、タイプレートの穴を、トラスフレームのセンターラインの穴とセンターブームエクステンションの穴に合わせる [図 53](#)。
 - シリンダマウント、トラス、センターブームエクステンション、タイプレートの組み付けを行うステップ 2 センターブームのトラスを取り外す (ページ 24) で外したキャリッジボルト 1/2 x 1-1/4 インチ 2 本とフランジロックナット 1/2 インチ 2 個と、ジオリンクスプレシシステム仕上りキットに入っているキャリッジボルト 1/2 x 1-1/4 インチ 4 本とフランジロックナット (1/2 インチ) 4 個を使用する [図 53](#)。
 - フランジヘッドボルトとフランジロックナット 3/8 インチを 3745N·m 3.74.6kg.m = 2733ft-lb にトルク締めする。

- フランジロックナット 1/2 インチを、91113N·m 9.311.5kg.m = 6783ft-lb にトルク締めする。

12

取り付けブラケットとスプレーノズルをセンターブームに取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	スプレーノズル
2	ホースアセンブリスプレーバルブ 5 または 6
2	フランジロックナット 5/16 インチ

サポートブラケットをセンターブームに取り付ける

吊り上げ装置に必要な能力: 55kg

- 所定の能力のあるホイストなどを使って、センターブームを支える。
- [図 54](#) に示すように、右サポートブラケットの穴を右トラスフレームの穴に合わせる。

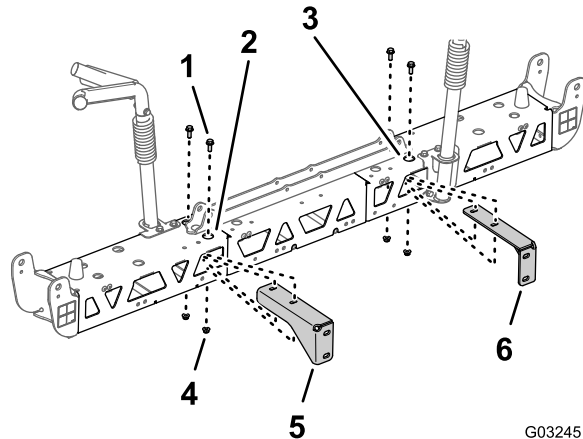


図 54

- フランジヘッドボルト 3/8 x 1 インチ
 - 右側トラスフレームセンター
 - 左側トラスフレームセンター
 - フランジロックナット 3/8 インチ
 - 右側サポートブラケットセンターブーム
 - 左側サポートブラケットセンターブーム
- 右側サポートブラケットを右側トラスフレームに取り付ける [図 54](#) ステップ 2 と 3 センターブームからサポートブラケットを外す (ページ 23) で取り外したフランジヘッドボルト (3/8 x 1 インチ) 2 本とフランジロックナット 3/8 インチ 2 個を使用する。

4. 左トラスフレームの左サポートブラケットにも、ステップ 2と3 の作業を行う図 54。
5. フランジヘッドボルトとフランジロックナットを $3745\text{N}\cdot\text{m}$ $3.74.6\text{kg}\cdot\text{m} = 2733\text{ft}\cdot\text{lb}$ にトルク締めする。

センターブーム用のノズルとホースを組み立てる

1. 適当な吊り上げ装置を使って、新しいセンターブームを作業しやすい高さまで吊り上げる。
2. ジオリンクスプレースystem仕上がりキットに入っているノズル本の、クランプの上半分をサドルに固定しているステンレスねじを外す図 55。

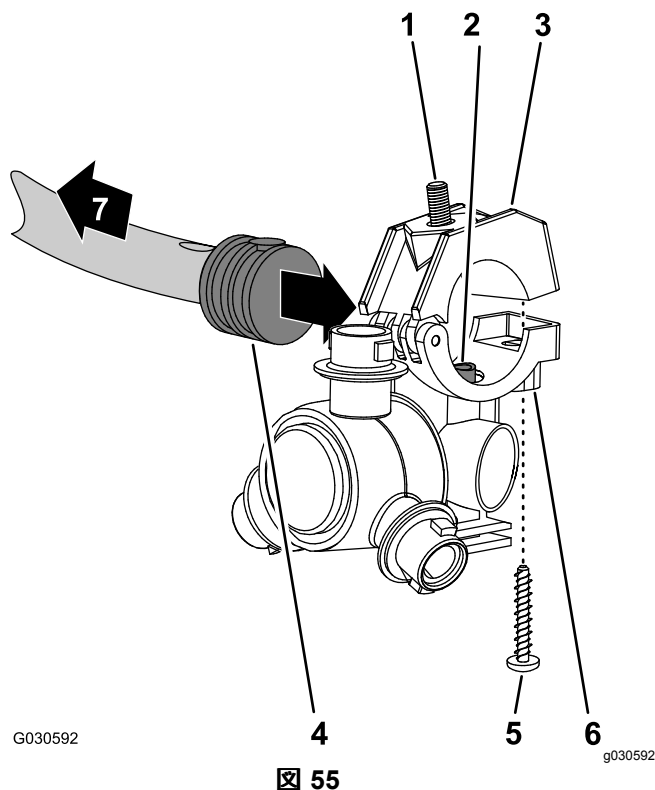


図 55

1. 六角ヘッドボルト $5/16 \times 3/4$ インチステンレス
2. トランスファチューブ
3. クランプの上半分
4. 片側バーブ付きホースシャंक $1/2$ インチ
5. ステンレスねじ $\#12 \times 1-1/4$ インチ
6. スプレーノズルのボディ
7. ブームへ

3. センターブームスプレーバルブ5または6用のホースアセンブリ25cmの端部についている片側バーブ付きホースシャंकの側面にある穴を探し出す図 55 と 図 56。

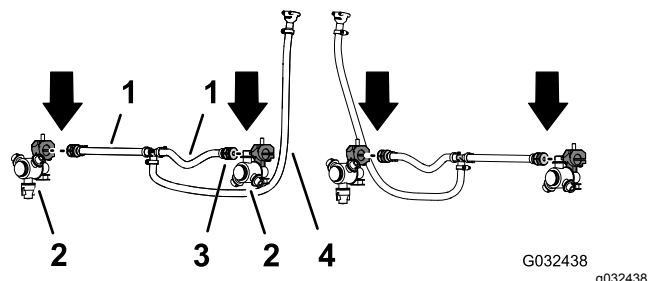


図 56

1. ホース $13 \times 250\text{mm}$ スプレーバルブ5または6
2. スプレーノズル
3. 片側バーブ付きホースシャंक $13\text{mm } 1/2$ インチ
4. ホースとバーブ付きカップラ $13 \times 810\text{mm } 1/2 \times 32$ インチスプレーバルブ5または6

4. ノズルのサドルに付いているトランスファチューブ図 55を、片側バーブ付きホースシャंक $1/2$ インチの穴に合わせる。
5. バーブ付きホースシャंकにホースクランプの上半分をセットし、クランプとノズルボディ図 55を、ステンレスねじ $\#12 \times 1-1/4$ インチで固定し、 $1418\text{N}\cdot\text{m}$ $0.250.3\text{kg}\cdot\text{m} = 2025\text{in}\cdot\text{lb}$ にトルク締めする。

重要 ステンレスねじは、ステップ 5に示されている以上の力で締め付けしないでください。

注 クランプの上半分のくぼみに六角ヘッドボルト $5/16 \times 3/4$ インチがきちんとはまっていることを確認してください。

6. ステップ 1 と 2 スプレーヤのノズルを取り外す (ページ 22) で外したノズル、六角ボルト、ステンレスねじを使って、ステップ 3 5 を、もう一方のホース25cmの片側バーブ付きホースシャंक図 55 と 図 56 に対しても行う。
7. ステップ 4 スプレーヤのノズルを取り外す (ページ 22) で外した2つのノズルについて、もう一方のホースアセンブリスプレーバルブ5または6の片側バーブ付きホースシャंकに対してステップ 3 5 を、行う図 55 と 図 56。

ノズルとホースをセンターブームに取り付ける

1. ホース13 mm長さ25cmとノズルのアセンブリを、外側トラスのブレースの間に通す [図 57](#)。

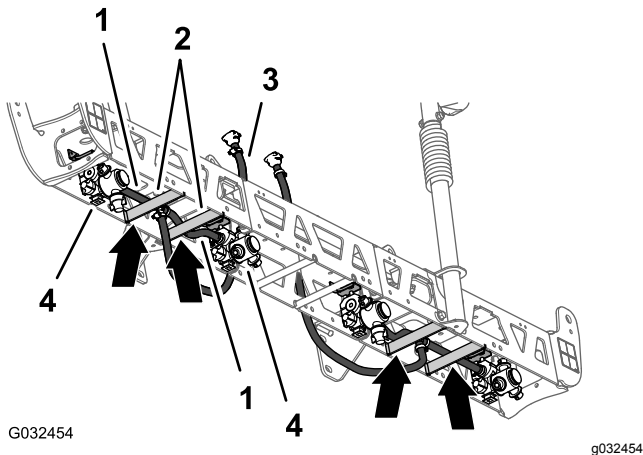


図 57

1. ホース 13 x 250mm 1/2 x 10 インチ
2. トラスのブレース左トラス
3. ホースとバーブ付きカップラ 13 x 810mm 1/2 x 32 インチ
4. スプレーノズル

2. ホースとノズルをトラスのブレースの上側に沿って、ブーム先端側のノズルマウントへ導く [図 57](#)。
3. ノズルの六角ヘッドボルト5/16 x 3/4 インチをノズルマウントの穴に通してノズルをマウントに仮止めするジオリンクスプレースシステム仕上りキットにあるフランジロックナット5/16 インチを使用する [図 58](#)。

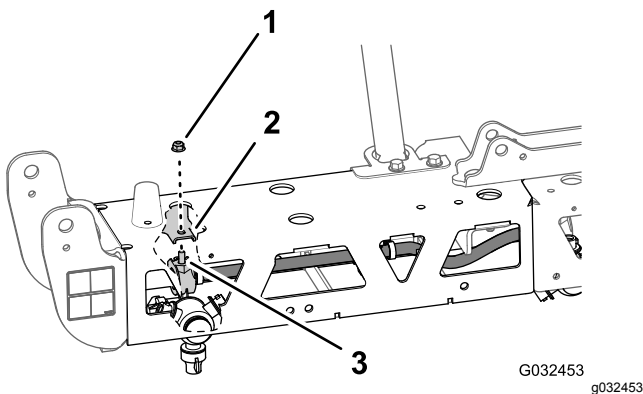


図 58

1. フランジロックナット5/16 インチ
2. ノズルマウント外側
3. 六角ヘッドボルト5/16 x 3/4 インチステンレス

4. もう一方のホース13 mm長さ25cmとノズルのアセンブリを、外側トラスのブレースの間に通す [図 57](#)。
5. ホースとノズルをトラスのブレースの上側に沿って、ブーム根元側のノズルマウントへ導く [図 57](#)。

6. ノズルの六角ヘッドボルト5/16 x 3/4 インチをノズルマウント [図 58](#)の穴に通してノズルをマウントに仮止めするステップ1と4 [スプレーのノズルを取り外す \(ページ 22\)](#)で外したフランジロックナット5/16 インチを使用する。
7. フランジロックナットを、19.78 25.42N·m 2.02.6kg.m = 175225in-lbにトルク締めする。
8. ホースとバーブ付きカップラ 13 x 810mm 1/2 x 32 インチを、センターブームの左右のサポートブラケットのある側へ導く [図 57](#)。
9. もう一方の外側トラスのホースノズルアセンブリについても、ステップ 18 の作業を行う [図 57](#) と [図 58](#)。

13

ブームバルブを取り外す

この作業に必要なパーツ

3	キャップクイックカップラ
3	リテーナ

ブームバイパスホースを取り外す

1. 以下の手順で、バイパスホースの上端部を外す
 - オプションのスプレースティックキットや電動ホースリールを搭載していない車両バイパスホースのクイックディスコネクトフィッティングを右ブーム用バイパスバルブのクイックディスコネクトフィッティングに固定している小さいリテーナを外す [図 59](#)。

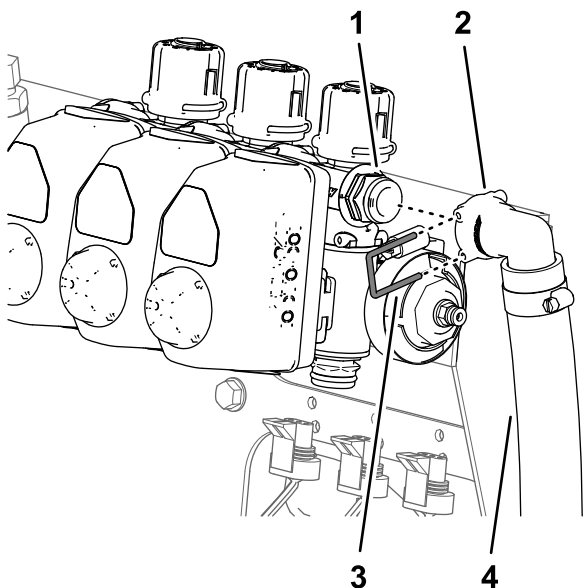


図 59

g198705

1. クイックディスコネクトフィッティング右ブームバイパスバルブ
2. クイックコネクトフィッティング90°ソケットバイパスホース
3. リターナ小
4. バイパスホース

- オプションのスプレースティックキットや電動ホースリールを搭載している車両シャットオフバルブのクイックディスコネクトフィッティングを右ブーム用バイパスバルブのクイックディスコネクトソケットに固定しているリターナを外す。

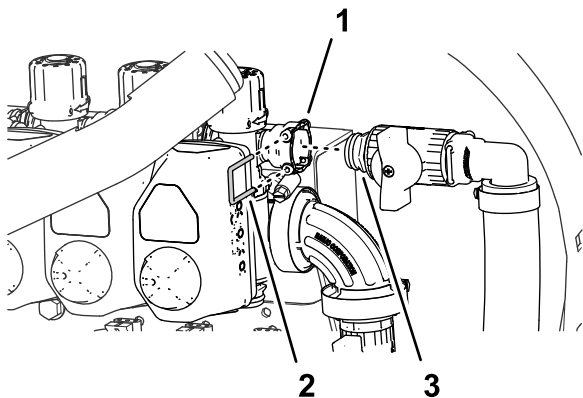


図 60

g200482

1. クイックディスコネクトフィッティング右ブームバイパスバルブ
2. リターナ
3. クイックコネクトフィッティングシャットオフバルブ

2. バイパスホースの下端にあるバーブ付き90°フィッティングを液剤タンクのバルクヘッドフィッティングに固定している大きいリターナを取り外す 図 61。

注 大きいリターナは **バイパスホースをタンクに組み付ける (ページ 40)** で使用します。

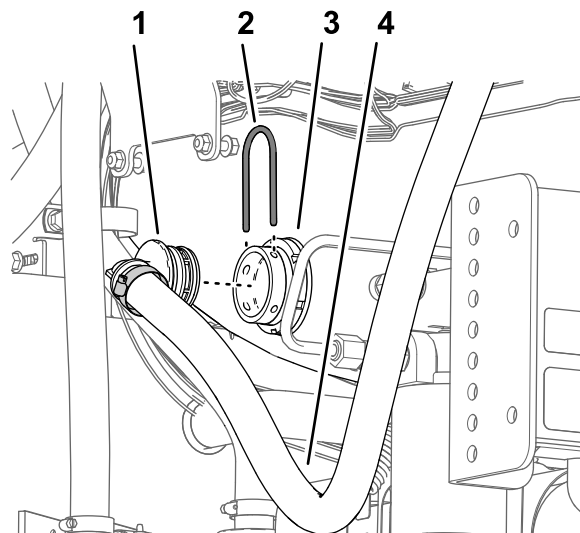


図 61

g198703

1. 90°鋸歯フィッティング
2. リターナ(大)
3. バルクヘッドフィッティング
4. バイパスホース

3. 機体からバイパスホースを取り外す。

注 バイパスホースと小さいリターナは廃棄して構いません。

バイパスバルブの位置替えをするオプションのスプレースティックキットや電動ホースリールキットを搭載していない車両

1. 左ブームバルブ、中央ブームバルブ、右ブームバルブにある全部で3つのバルブアクチュエータを固定しているリターナ3個を外す 図 62。

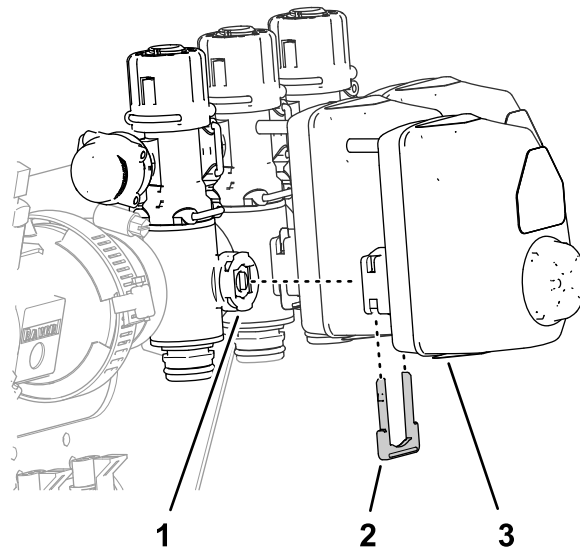


図 62

g200485

1. ブームバルブ
2. リターナ
3. バルブアクチュエータ

2. 左ブームバルブ、中央ブームバルブ、右ブームバルブから、バルブアクチュエータを外す 図 62。
3. バイパスマニホールドのクイックディスコネクトフィッティングにキャップを固定しているリテーナを外す 図 63。

注 キャップは不要です。バイパスバルブの位置替えをするオプションのスペーススティックキットや電動ホースリールキットを搭載している車両 (ページ 43)

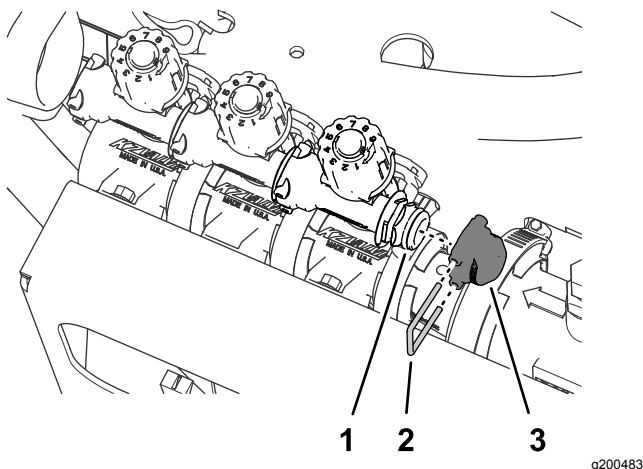


図 63

1. クイックディスコネクトフィッティングバイパスバルブ
2. リテーナ
3. キャップ

4. 左ブームバルブ、中央ブームバルブ、右ブームバルブにある全部で 3 つのバイパスバルブを固定しているリテーナ 3 個を外す 図 64。

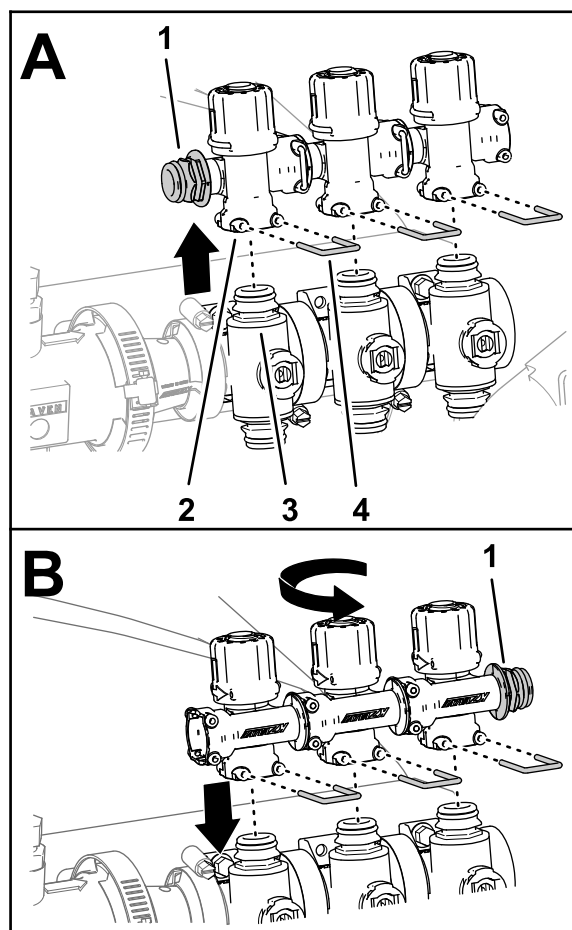


図 64

1. クイックディスコネクトのフィッティング
2. クイックコネクトフィッティングソケットバイパスバルブ
3. クイックコネクトフィッティングブームバルブ
4. リテーナ

5. 各ブームバルブからバイパスバルブを一旦外し 図 64、
6. バイパスバルブを 180° 回転させてブームバルブのクイックディスコネクトフィッティングに組み付ける 図 64。
7. ステップ 4 図 64 で外したリテーナ 3 個を使用して、バイパスバルブ 3 個をそれぞれのブームバルブに固定する。
8. バイパスバルブのクイックコネクトソケットに、プラグを組み付ける 図 65。

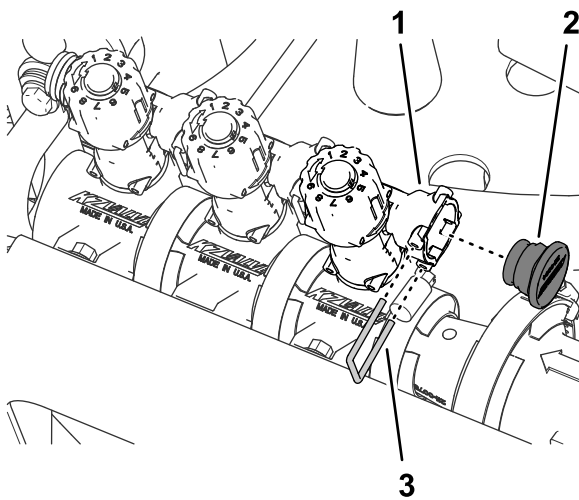


図 65

g200481

1. クイックコネクトソケットバ イパスバルブ
2. プラグ
3. リテーナ

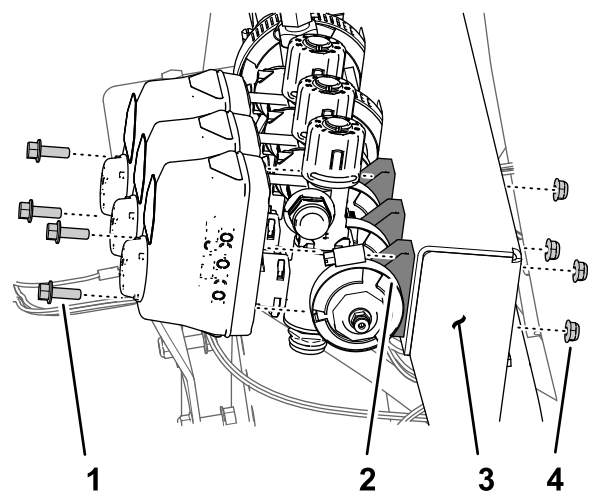


図 66

g198704

1. フランジヘッドボルト1/4 x 3/4 インチ
2. ブームバルブ
3. マニホルドマウント
4. ロックナット1/4 インチ

9. ステップ 3 図 65 で外したリテーナを使用して、プラグをクイックコネクトソケットに固定する。
10. 左ブーム、中央ブーム、右ブームのそれぞれのバルブに、バルブアクチュエータ全部で 3 個を取り付ける (図 62) ステップ 1 で外したリテーナを使用する。

マニホルドマウントからブームバルブを外す

注 取り外したブームバルブは、ブームバルブ 3 個をバルブマウントに取り付ける (ページ 44) でジョーリンクの 10バルブシステムに取り付けます。

1. 左側ブームバルブをマニホルドマウントに固定しているフランジヘッドボルト1/4 x 3/4 インチ 2本とロックナット1/4 インチ2個を取り外す 図 66。

注 外したフランジヘッドボルト2本とロックナットは不要です。

2. 右側ブームバルブをマニホルドマウントに固定しているフランジヘッドボルト1/4 x 3/4 インチ 2本とロックナット1/4 インチ2個を取り外す 図 66。
3. 左側ブームバルブのフランジ部をアダプタに固定しているフランジクランプ4064mmとガスケット25 x 35mmを取り外す 図 66。

注 外したフランジヘッドボルト2本、ロックナット2個、フランジクランプとガスケットは **ブームバルブ 3 個をバルブマウントに取り付ける (ページ 44)** で使用します。

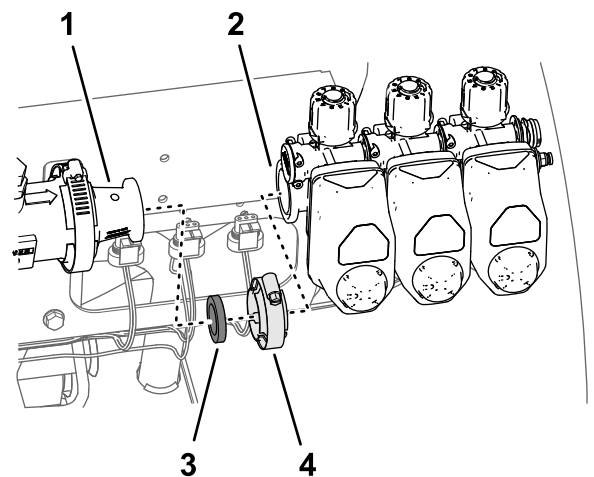


図 67

g198706

1. アダプタ
2. フランジ 左ブームバルブ
3. ガスケット25 x 35mm
4. フランジクランプ4064mm

4. 機体からブームバルブ3個を外す 図 67。
5. 各ブームバルブ3個についているデカルを取り外す 図 68。

14

フローメータのサポートクランプを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	フローメータのマウント
4	サポートクランプハーフ
4	ボルト4/2 x 1-1/4 インチ
4	フランジロックナット1/4 インチ

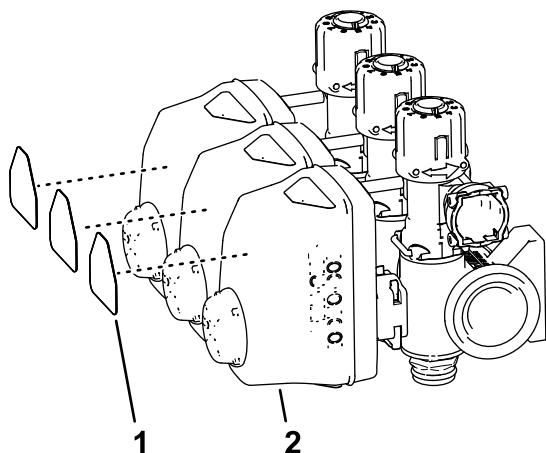


図 68

g201434

1. 個別boomバルブのデカル
2. アクチュエータ個別boomバルブ

6. アダプタのフランジ部をフローメータのフランジに固定しているフランジクランプ51mmとガスケット38mmを取り外す 図 69。

注 外したフランジクランプとガスケットは マニホールドをフローメータに取り付ける (ページ 38) で取り付けに使用します。

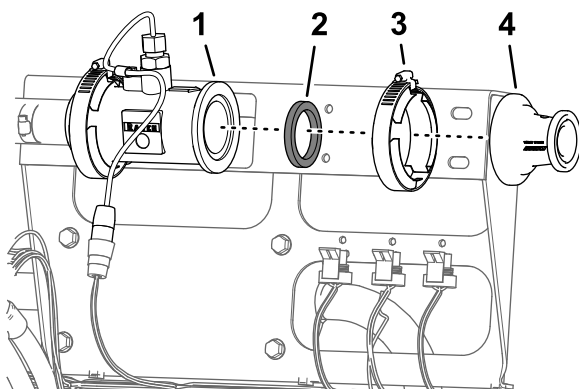


図 69

g198707

1. フランジフローメータ
2. ガスケット
3. フランジクランプ 51mm2 インチ
4. アダプタ

boomバルブブラケットを取り外す

1. フローメータの 3 ピンコネクタから、車両用ワイヤハーネスの中のFLOW METERというラベルのついた 3 ソケットコネクタを外す 図 70。

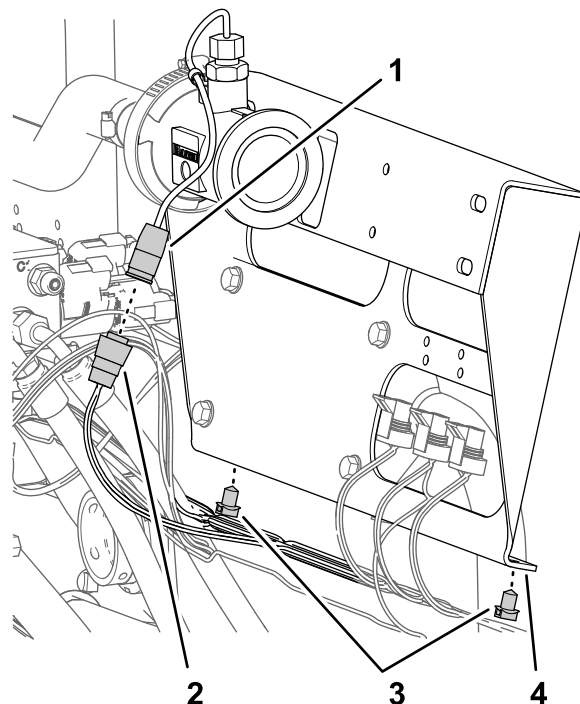


図 70

g198719

1. 3 ピンコネクタフローメータ
2. 3 ソケットコネクタ車両のワイヤハーネスラベルは FLOW METER
3. 押し込みファスナー
4. boomバルブ用ブラケット

2. boomバルブ用ブラケットの下側フランジから、車両用ワイヤハーネス固定している押し込みファスナー2個を外す 図 70。
3. boomバルブブラケットをバルブマウントに固定しているフランジヘッドねじ5/16 x 3/4 インチ4本を取り外して、バルブブラケットを外す 図 71。

注 外したフランジヘッドねじはステップ **フローメータのマウントとクランプを取り付ける (ページ 32)** で使用しますが、バルブブラケットは廃棄して構いません。

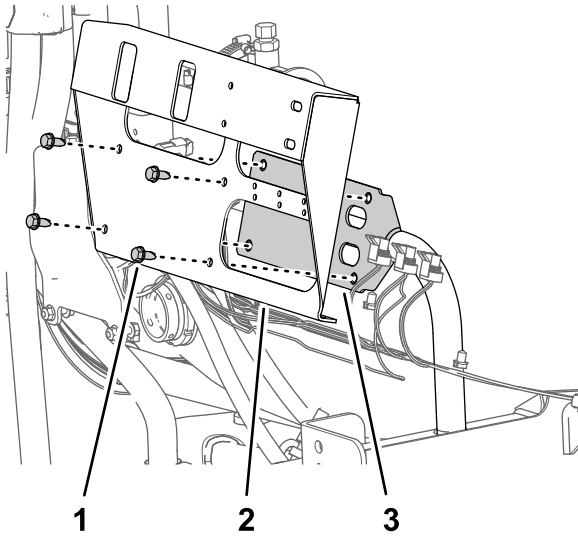


図 71

g198720

1. フランジヘッドねじ5/16 x 3/4 インチ
2. ブームバルブ用ブラケット
3. バルブマウント

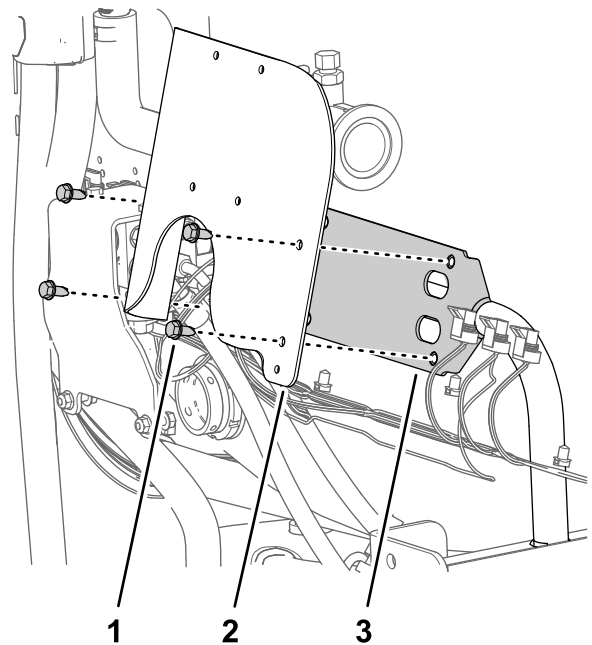


図 72

g198737

1. フランジヘッドねじ5/16 x 3/4 インチ
2. フローメータのブラケット
3. バルブマウント

フローメータのマウントとクランプを取り付ける

1. フローメータのブラケットについている穴を、バルブマウントに合わせる [図 72](#)。

2. バルブマウントにフローメータのブラケットを取り付けるステップ **3 ブームバルブブラケットを取り外す (ページ 31)** で取り外したフランジヘッドボルト4本を使用し、 $19.7825.42\text{N}\cdot\text{m}$ $2.02.6\text{kg}\cdot\text{m}$ $= 175225\text{in}\cdot\text{lb}$ にトルク締めする。
3. フローメータとフローメータブラケットとの間にサポートクランプ2個を入れ、ブラケットの穴に合わせる [図 73](#)。

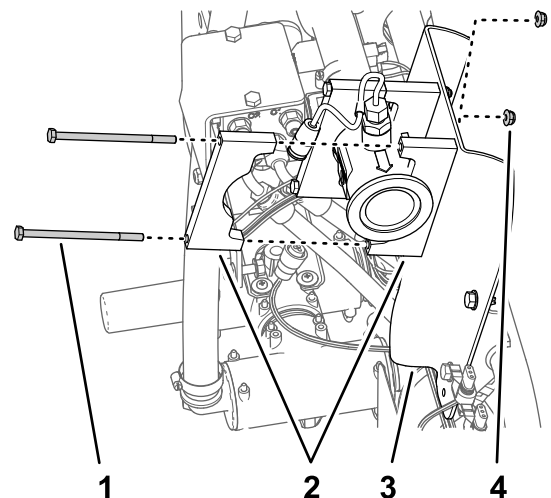


図 73

g198736

1. ボルト4/2 x 1-1/4 インチ
2. サポートクランプハーフ
3. フローメータのブラケット
4. フランジロックナット1/4 インチ

4. フローメータの裏側部分で、サポートクランプハーフを、ステップ3図 73で組み付けたクランプハーフに合わせる。
5. クランプハーフ2個で1組をフローメータのブラケットに固定する図 73ボルト1/4 x 4-1/2 インチ2本とフランジロックナット1/4 インチ2個を使用する。
6. ステップ4 5 を、もう1個のハーフステップ3で組み付けたものに対しても行う。
7. ボルトとナットを10.1712.43N・m2.02.6kg.m = 90110in-lbにトルク締めする。

15

ワイヤハーネスを機体に接続する

この作業に必要なパーツ

1	後方ワイヤハーネス
7	ケーブルタイ

キットのワイヤハーネスを配設する

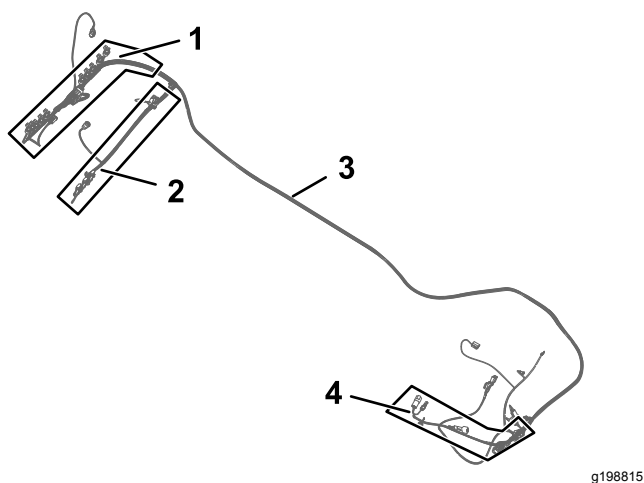
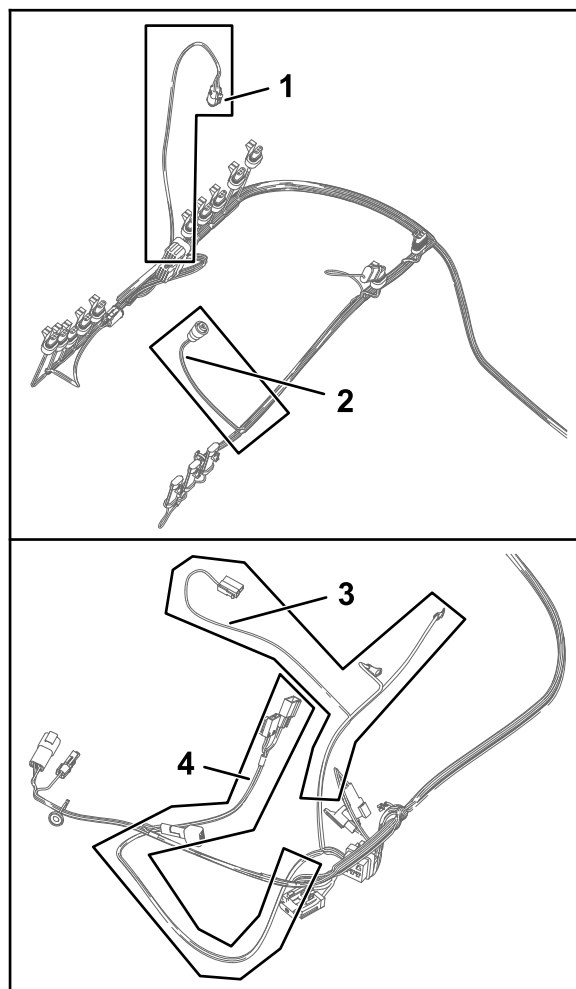


図 74

1. 102cm のハーネス枝線—ASC10とノズルバルブ 1 10
2. 89 cm のハーネス枝線—レートバルブ、マスターバルブ、フローメータ、左散布、センター散布、右散布
3. キットのワイヤハーネス 457cm
4. 84cm のハーネス枝線 ポンプクラッチ



g198814

図 75

1. 61cm のハーネス枝線 水圧トランスデューサの緑色のクサビ
2. 23cm のハーネス枝線 フローメータ
3. 60cm の枝線バッテリーのプラス端子、バッテリーのマイナス端子、オルタネータ
4. 66cm のハーネス枝線ASC 10 動作リレー、50A ヒューズ、ダイオード、GEN 2 トプコン用スイッチ付き電源、ASC 10 電源と X25 からの CAN

1. キットのワイヤハーネスから 84cm の枝線、60cm の枝線、66cm の枝線を探し出す図 74と図 75。
2. 84cm の枝線、60cm の枝線、66cm の枝線を、車両左側にある車両用ワイヤハーネスに沿って配設する図 76と図 77。

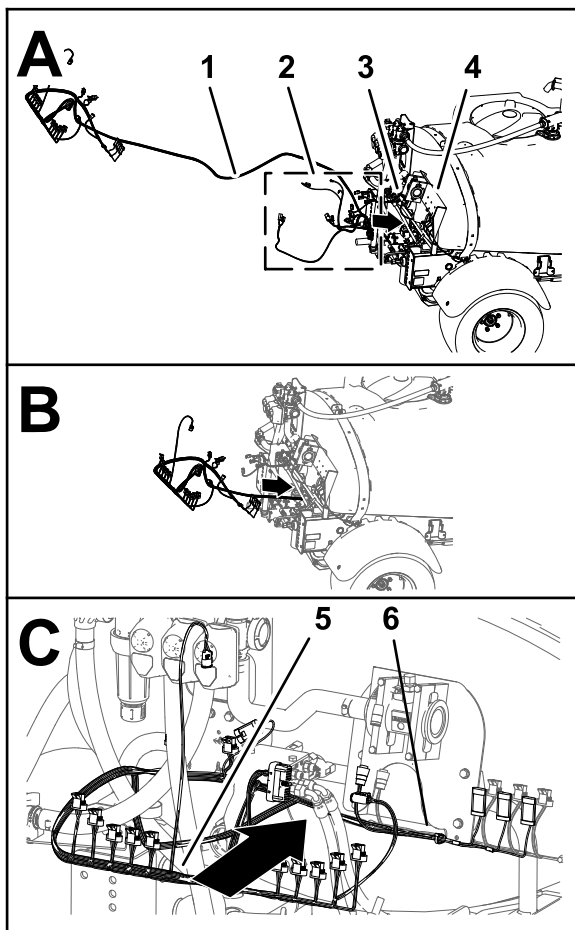
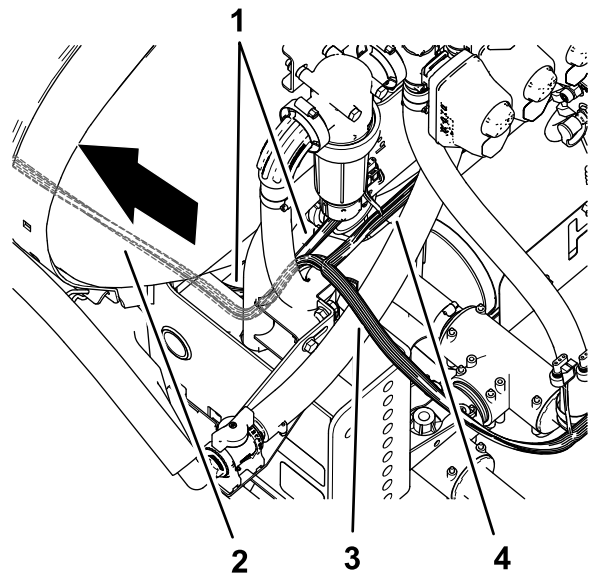


図 76

g198861

- | | |
|------------------------------------|---------------|
| 1. キットのワイヤハーネス
457cm | 4. マニホールドマウント |
| 2. 84cm の枝線、60cm の枝
線、66cm の枝線。 | 5. 102cm の枝線 |
| 3. 車両のワイヤハーネス | 6. 89cm の枝線 |

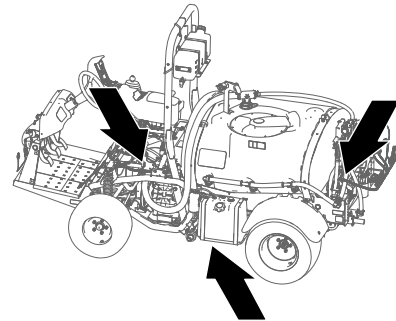


g199037

図 77

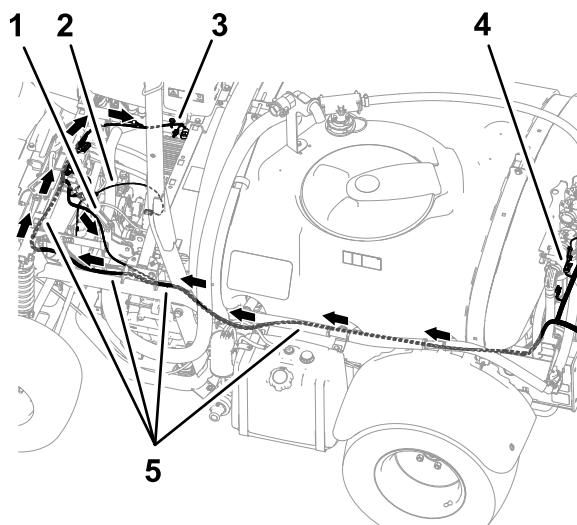
- | | |
|-------------------------|--|
| 1. 車両のワイヤハーネス | 3. 102cm のハーネス枝
線——ASC10とノズルバ
ルブ 1 10 |
| 2. キットのワイヤハーネス
457cm | 4. 89cm のハーネス枝線—
レートバルブ、マスターバ
ルブ、フローメータ、左散
布、センター散布、右散布 |

3. 84cm の枝線、60cm の枝線、66cm の枝線を、
車両左側のチャンネル部材に沿って車両前方に導
く図 79と図 80。



g199043

図 78

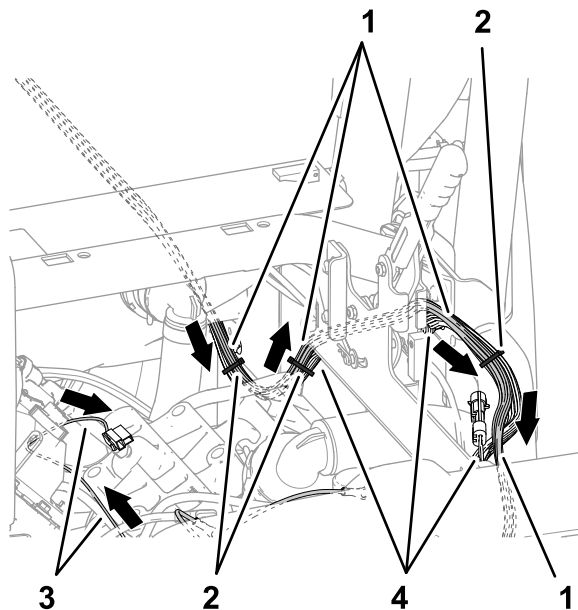


g199038

図 79

1. 84cm の枝線ポンプクラッチ
2. 60cm の枝線バッテリーのプラス端子、バッテリーのマイナス端子、オルタネータへ
3. 66cm のハーネス枝線ASC 10 動作リレー、50A ヒューズ、ダイオード、GEN 2 トプコン用スイッチ付き電源、ASC 10 電源と X25 からの CAN
4. 102cm のハーネス枝線——ASC10とノズルバルブ 1 10
5. キットのワイヤハーネス 457cm

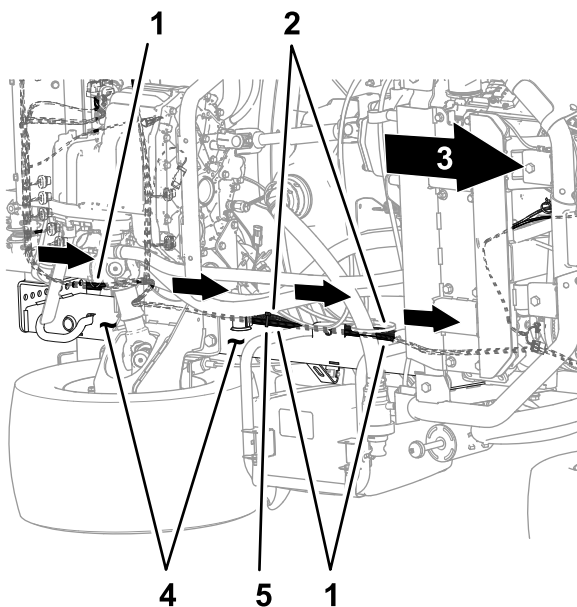
4. 84cm の枝線、60cm の枝線、66cm の枝線を、車両用ワイヤハーネスに沿って車体外方、駐車ブレーキの外側へ導く図 81。



g199040

図 81

1. キットのワイヤハーネス 457cm
2. ケーブルタイ
3. 60cm の枝線バッテリーのプラス端子、バッテリーのマイナス端子、オルタネータへ
4. 車両のワイヤハーネス



g199039

図 80
機体底部

1. キットのワイヤハーネス 457cm
2. 車両のワイヤハーネス
3. 車体前方
4. 左側フレームチャネル
5. ケーブルタイ

5. 84cm の枝線、60cm の枝線、66cm の枝線を、図 82に示すように、ショックサポートチューブに交差させる。

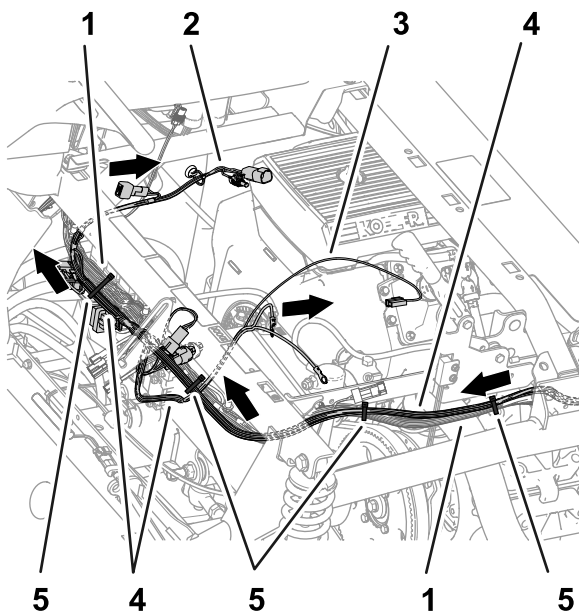


図 82

g199041

- | | |
|--|-------------------------|
| 1. 車両のワイヤハーネス | 4. キットのワイヤハーネス
457cm |
| 2. 66cm のハーネス枝線ASC
10 動作リレー、50A ヒューズ、ダイオード、GEN 2
トプコン用スイッチ付き電
源、ASC 10 電源と X25
からの CAN | 5. ケーブルタイ |
| 3. 60cm の枝線バッテリーの
プラス端子、バッテリーの
マイナス端子、オルタネー
タへ | |

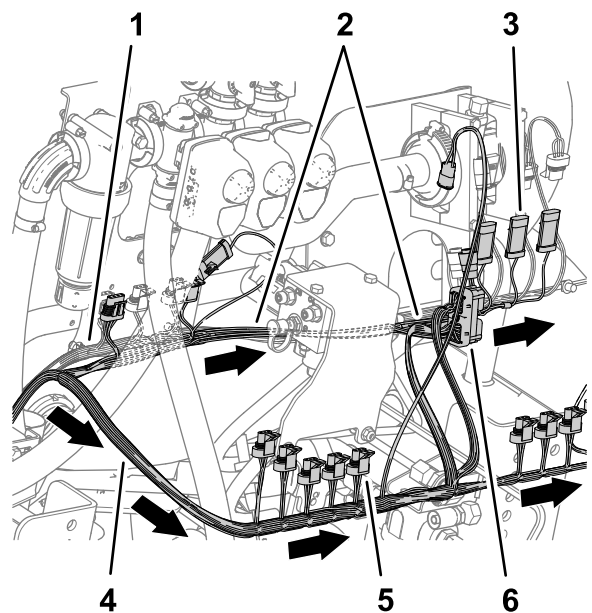


図 83

g199042

- | | |
|--|--|
| 1. 車両のワイヤハーネス | 4. 3 ソケットコネクタノズルバ
ルブ 5 |
| 2. 89cm のハーネス枝線—
レートバルブ、マスターバ
ルブ、フローメータ、左散
布、センター散布、右散布 | 5. 102cm のハーネス 枝
線——ASC10とノズルバ
ルブ 1 10 |
| 3. 3 ピンコネクタセンタースプ
レー | 6. 40ソケットコネクタASC 10
レー |

8. 102cm の枝線を、図 83に示すように昇降マニホルドの後方かつ右側に配設する。

6. 図 80、図 81、図 82のように、キットのワイヤハーネスを車両に固定する。
7. 車両後部で、89cm の枝線を、図 83に示すように昇降マニホルドの前方かつフローメータの右側に配設する。

左、中央、右の散布バルブのコネクタを接続する

1. 89cm の枝線についている 3 ピンコネクタLEFT SPRAYというラベルがついているものを車両のワイヤハーネスのLEFT SPRAY VALVEというラベルがついている 3 ソケットコネクタに接続する 図 84。

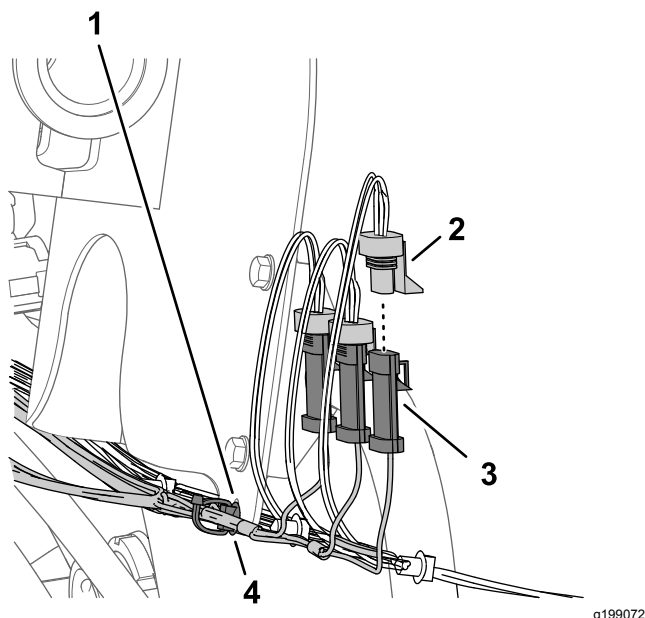


図 84

1. フローメータのブラケット
 2. 3 ソケットコネクタキットのハーネスの 89cm 枝線 RIGHT SPRAY
 3. 3 ピンコネクタ車両のワイヤハーネスラベルはRIGHT SPRAY VALVE
 4. 押し込みファスナー
2. キットの枝線についている 3 ピンコネクタCENTER SPRAYというラベルがついているものを車両のワイヤハーネスのCENTER SPRAY VALVEというラベルがついている 3 ソケットコネクタに接続する 図 84。
 3. キットの枝線についている 3 ピンコネクタRIGHT SPRAYというラベルがついているものを車両のワイヤハーネスのRIGHT SPRAY VALVEというラベルがついている 3 ソケットコネクタに接続する 図 84。
 4. キットの枝線の押し込み型ファスナを、フローメータのブラケットのフランジについている穴に差し込む 図 84。

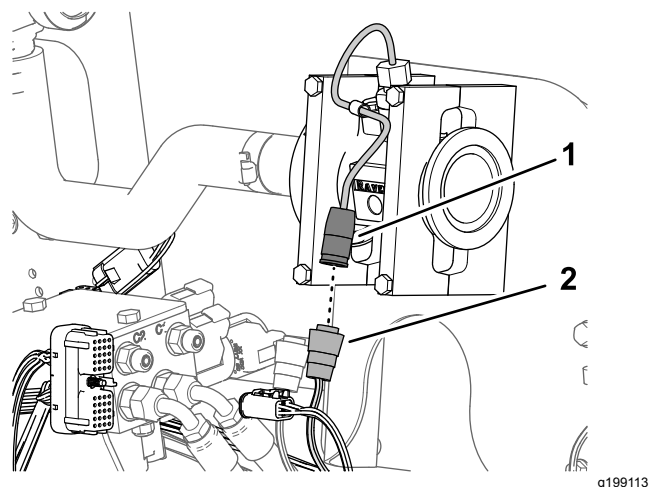


図 85

1. 3 ピンコネクタフローメータ
2. 3 ソケットコネクタキットのハーネスの 89cm 枝線 FLOW METER

2. 89cm の枝線についている 3 ピンコネクタMASTER VALVEというラベルがついているものを車両のワイヤハーネスのMASTER SPRAY VALVEというラベルがついている 3 ソケットコネクタに接続する 図 86。

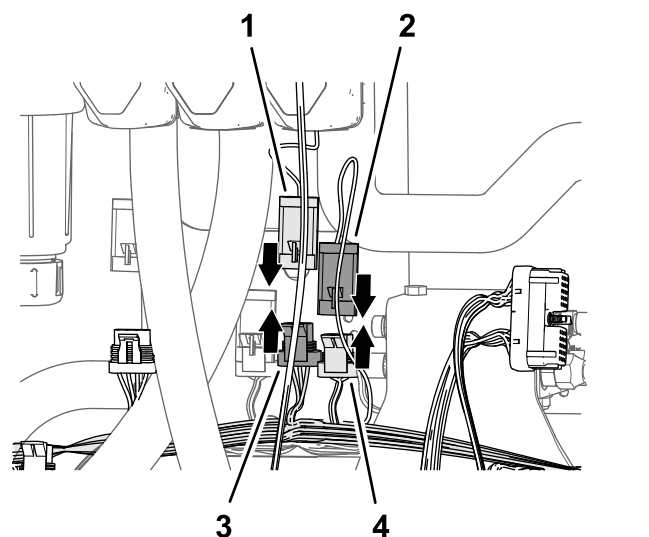


図 86

1. 3 ピンコネクタアクチュエータマスタ散布バルブ
2. 3 ピンコネクタキットのハーネスの 89cm 枝線 MASTER VALVE
3. 3 ピンコネクタ車両のワイヤハーネスラベルはMASTER SPRAY VALVE
4. 3 ソケットコネクタ車両のワイヤハーネスラベルはMASTER SPRAY VALVE

フローメータ、マスターブームバルブ、レートバルブ用の各コネクタを接続する

1. 89cm の枝線の 3 ソケットコネクタFLOW METERというラベルのついたものをフローメータの 3 ピンコネクタに接続する 図 85。

3. マスター散布バルブ用アクチュエータの 3 ピンコネクタを、89cm の枝線のMASTER VALVEというラベルの付いた 3 ソケットコネクタに接続する 図 86。
4. レートバルブ用アクチュエータの 4 ピンコネクタを、89cm の枝線のRATE VALVEというラベルの付いた 4 ソケットコネクタに接続する 図 87。

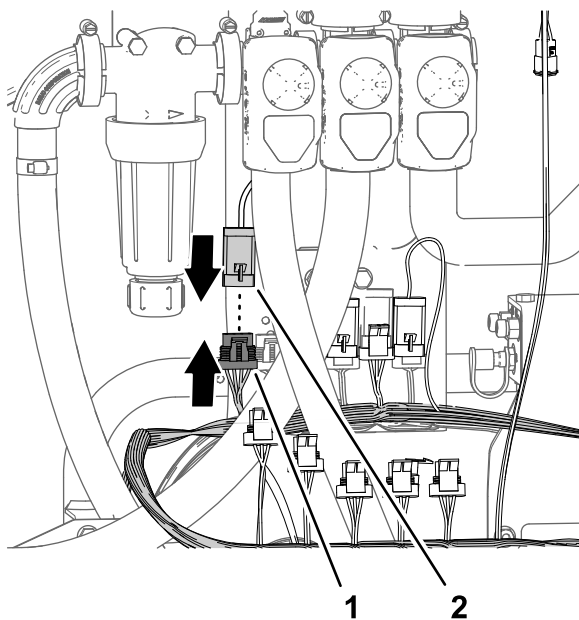


図 87

1. 4 ソケットコネクタキットのハーネスの 89cm 枝線 RATE VALVE
2. 4 ピンコネクタアクチュエータレートバルブ

g199114

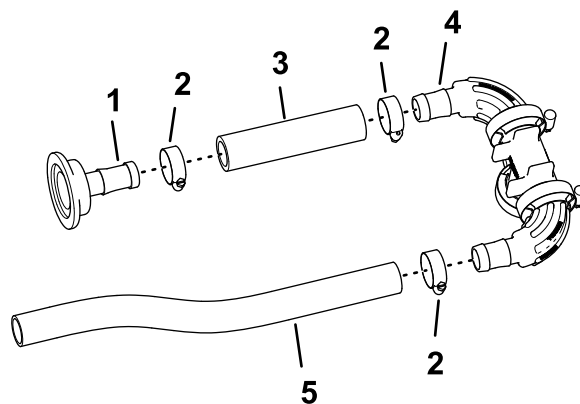


図 88

g199117

1. ストレートバーブ (1 x 2 インチ)
2. ホースクランプ 3/4-1-1/2 インチ
3. ホース 3 x 5-1/4 インチ 15cm
4. マニホルド
5. ホース 1 x 16 インチ = 40cm

2. ホース 1 x 5-3/4 インチ = 15cm のもう一方の端部を、マニホルドのバーブ付きフィッティングに組み付け、ホースクランプを手締めする 図 88。
3. ホース 1 x 16 インチ = 40cm を、マニホルドのもう一方のバーブ付きフィッティングに組み付け、クランプを手締めする 図 88。

マニホルドをフローメータに取り付ける

1. ストレートバーブ 1 x 2 インチを、フローメータのフランジに取り付けるステップ 6 マニホルドマウントからブームバルブを外す (ページ 30) で取り外したガスケット 38mm とフランジクランプ 51mm を使用する。

16

フローメータのマニホルドを組み付ける

この作業に必要なパーツ

1	ストレートバーブ (1 x 2 インチ)
3	ホースクランプ 3/4-1-1/2 インチ
1	ホース 3 x 5-1/4 インチ
1	マニホルド
1	ホース 1 x 16 インチ

マニホルドバルブを組み付ける

1. ホース 1 x 5-3/4 インチ = 15cm を、ストレートバーブ (1 x 2 インチ) に組み付け、ホースクランプ 3/4-1-1/2 インチを取り付けて手締めする 図 88。

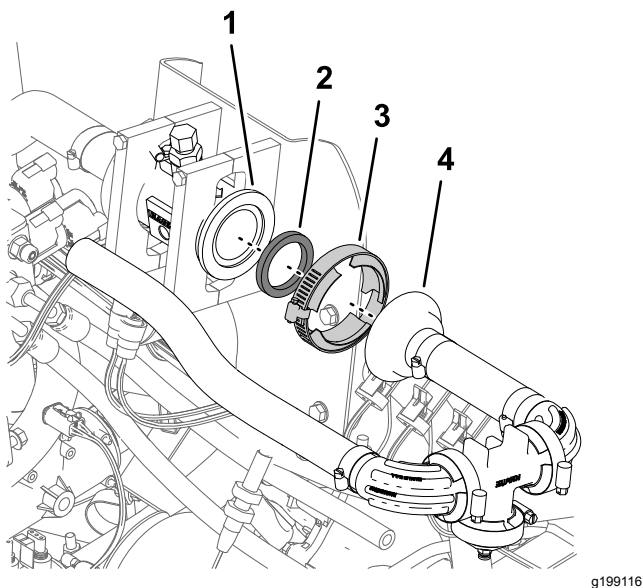
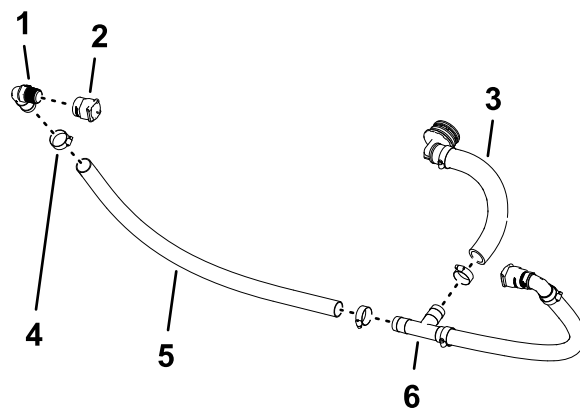


図 89

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1. フランジフローメータ | 3. フランジクランプ 51mm2インチ |
| 2. ガasket 38mm | 4. ストレートバーブ (1 x 2 インチ) |

2. フランジクランプを手締めする 図 89。



g199118

図 90

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------------|
| 1. バーブ付き 90° フィッティング 1 x 3/8 インチ、NPT | 4. ホースクランプ 3/4 x 1-1/5 インチ |
| 2. クイックコネクトフィッティングソケット 3/4 インチ | 5. ホース 1 x 26 インチ = 66cm |
| 3. バーブ付き 90° フィッティング 1 x 3/4 インチ、NPT | 6. T 字フィッティング 1 x 1 x 1 インチ |

2. バーブ付き 90° フィッティング 1 x 3/4 インチ、NPTに、クイックコネクトフィッティングソケット、3/4 インチを 図 90 のように組み付ける。
3. バーブ付き 90° フィッティング 1 x 3/4 インチ、NPTを、ホース 1 x 26 インチ = 66cm に接続し、ホースクランプで固定する 図 90。
4. ホースの自由端を、 図 90 のように T 字フィッティングに接続し、ホースクランプで固定する。
5. ステップ 24 の作業を、もう一方のバーブ付き 90° フィッティングに対しても行う。
6. バーブ付き 90° フィッティングとホースのアセンブリを、T 字フィッティングに取り付け、ホースをクランプで固定する 図 90。

17

バイパスホースをタンクに取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	バーブ付き 90° フィッティングホースアセンブリ
1	T 字フィッティング 1 x 1 x 1 インチ
5	ホースクランプ 3/4 x 1-1/5 インチ
2	ホース 1 x 26 インチ = 66cm
2	バーブ付き 90° フィッティング 1 x 3/8 インチ、NPT
2	クイックコネクトフィッティングソケット 3/4 インチ
2	燃料バルブ

バイパスホースを組み付ける

PTFE シーラント別途入手のこと

1. バーブ付き 90° フィッティング 1 x 3/4 インチのねじ山に PTFE シーラントテープを巻く。

シャットオフバルブをバイパスホースに取り付ける

オプションのハンドスプレーキットまたは電動ホースリールキットを搭載している車両

1. クイックディスコネクトのフィッティング 図 91 バイパスホースを組み付ける (ページ 39) で組み付けたものからリテーナ 2 個を外す。

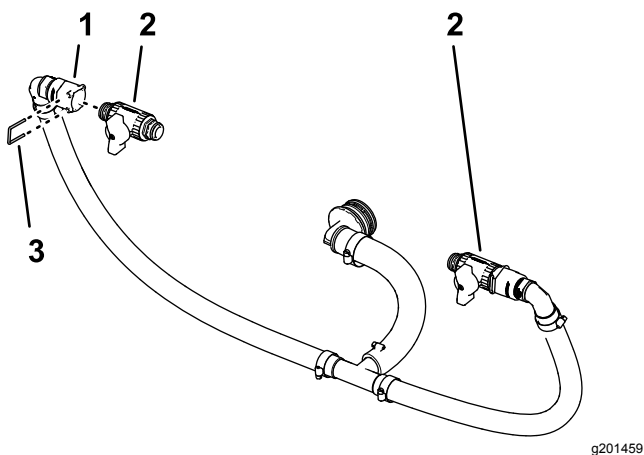


図 91

1. クイックディスコネクトカップ 3. リテーナリングソケット
2. 燃料バルブ

2. クイックディスコネクトフィッティングのソケットに、シャットオフバルブを取り付ける 図 91。
3. ステップ 1 で取り外したリテーナを使って、バルブをフィッティングに固定する。
4. 他のクイックディスコネクトフィッティングのソケットにも、ステップ 2 と 3 の作業を行う。

バイパスホースをタンクに組み付ける

1. バイパスホースアセンブリを液剤タンクにセットする 図 92。

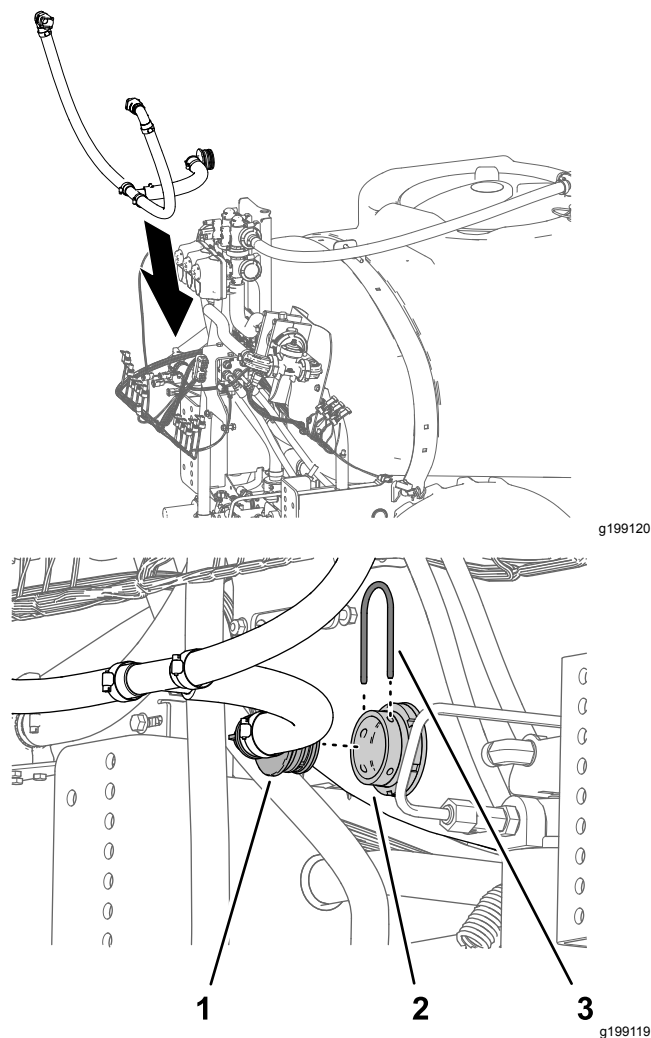


図 92

1. バーブ付き 90°フィッティング 3. リテーナ
2. バルクヘッドフィッティングタンク

2. バーブ付き90°フィッティングを、液剤タンクの側面に取り付け、ステップ 2 ブームバイパスホースを取り外す (ページ 27) で取り外したリテーナで固定する。

18

改造したセンターブームを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

吊り上げ装置に必要な能力: 55kg

1. 所定の能力のある吊り上げ装置を使ってセンターブームを吊り上げ、サポートブラケットについているブーム用の穴 図 93 を、車両のフレームの取り付けプレートに穴ステップ3 センターブームを取り外す (ページ 22) で探しておいたものに合わせる。

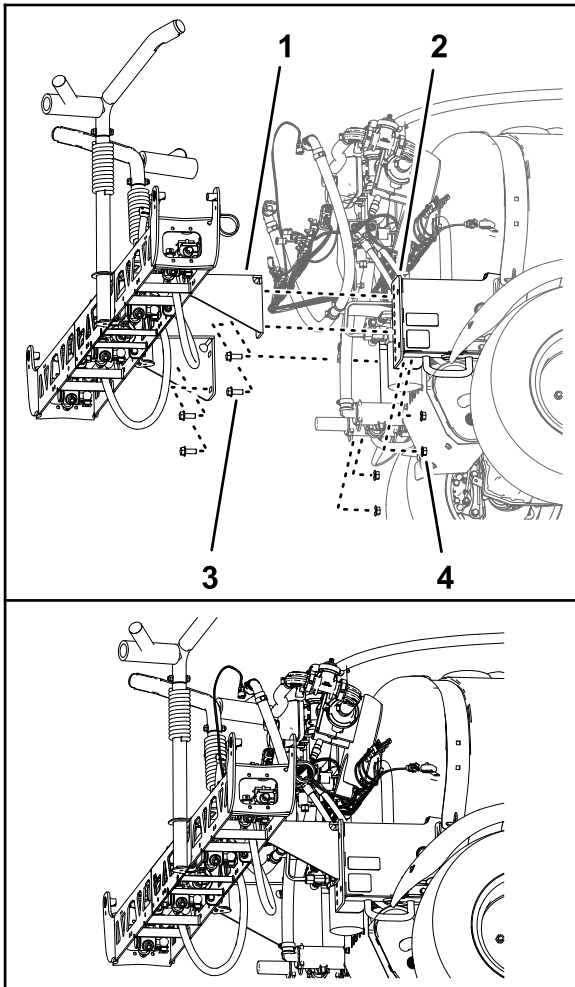


図 93

g199121

- | | |
|---------------------------------|-----------------------|
| 1. サポートブラケット10 バルブシステム用のセンターブーム | 3. 取り付けチャネル車両のフレーム |
| 2. フランジヘッドボルト (1/2 x 1-1/4 インチ) | 4. フランジロックナット 1/2 インチ |

2. センターブームを取り付け用チャネル部材に組み付ける 図 93 ステップ 4 センターブームを取り外す (ページ 22) で取り外したフランジヘッドボルト 1/2 x 1-1/4 インチ4本とフランジロックナット 1/2 インチ4個を使用する。
3. ボルトとナットを 91 113 N·m 9.3 11.5 kg·m = 67 83 ft·lb にトルク締めする。

19

昇降シリンダマニホルドをシリンダマウントに取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

1. バルブ取り付けブラケットから昇降マニホルドを外す。
2. 以下の手順で、ブームマニホルドをシリンダマウントに取り付ける
 - ・ オプションのウルトラソニックブームレベリングキットを搭載していない車両
 - A. サポートブラケットにあるブーム昇降マニホルド用の穴を、シリンダマウントの穴に合わせる 図 94。

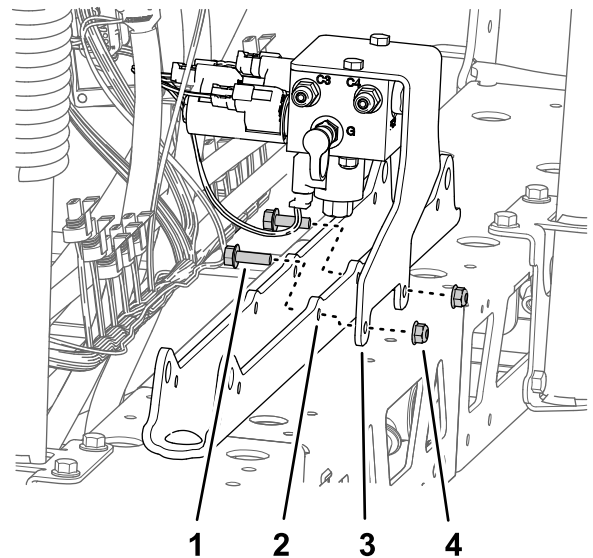


図 94

g199754

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. フランジヘッドボルト 5/16 x 1 インチ | 3. サポートブラケットブーム昇降マニホルド |
| 2. シリンダマウント | 4. フランジロックナット 5/16 インチ |

- B. サポートブラケットをシリンダマウントに取り付ける 図 94 ステップ 1 センターブーム

からブーム昇降マニホールドを外す (ページ 21) で取り外したフランジヘッドボルト 5/16 x 1 インチ2本とフランジロックナット 5/16 インチを使用する。

• オプションのウルトラソニックブームレベリングキットを搭載している車両

- A. サポートブラケットにあるブーム昇降マニホールド用とTECコントローラブラケット用の穴を、シリンダマウントの穴に合わせる。

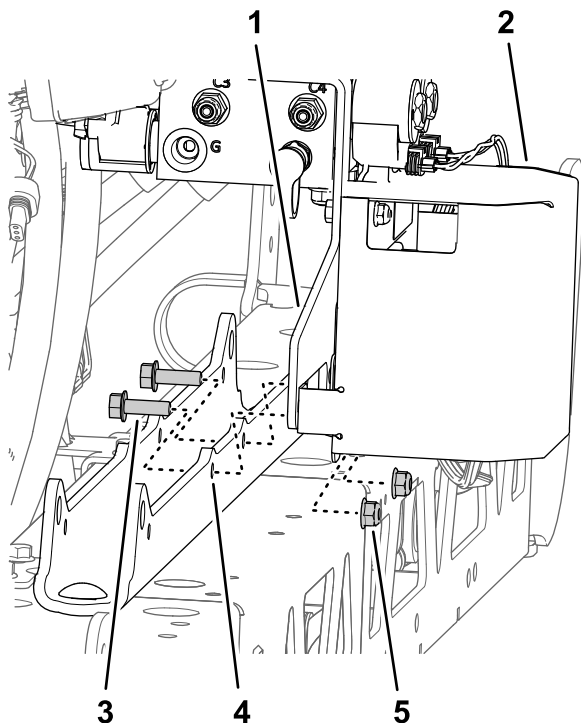


図 95

g199820

1. サポートブラケットブーム昇降マニホールド
2. TEC コントローラ用ブラケット
3. フランジヘッドボルト5/16 x 1 インチ
4. シリンダマウント
5. フランジロックナット5/16 インチ

- B. サポートブラケットとTECブラケットをシリンダマウントに取り付ける 図 95 ステップ 1 センターブームからブーム昇降マニホールドを外す (ページ 21) で取り外したフランジヘッドボルト5/16 x 1 インチ2本とフランジロックナット5/16 インチを使用する。

3. ボルトとナットを19.7825.42N・m2.02.6kg.m = 175225in-lbにトルク締めする。

20

バルブマウントとスプレーバルブを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	バルブマウントスプレーバルブアセンブリ
3	ボルト4 x 10mm
1	ASC10 スプレーヤコントローラ
3	フランジロックナット4mm
2	キャップクイックディスコネクトフィッティング
8	フランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ
8	フランジロックナット5/16 インチ
1	ホースクランプ
1	プッシュインファスナーケーブルタイ)
3	プッシュインファスナーコネクタアンカー

散布コントローラをバルブマウントに取り付ける

1. ASC10 スプレーヤコントローラを、バルブマウントの前側に合わせる。4ピンコネクタが外側を向くようにすること 図 96。

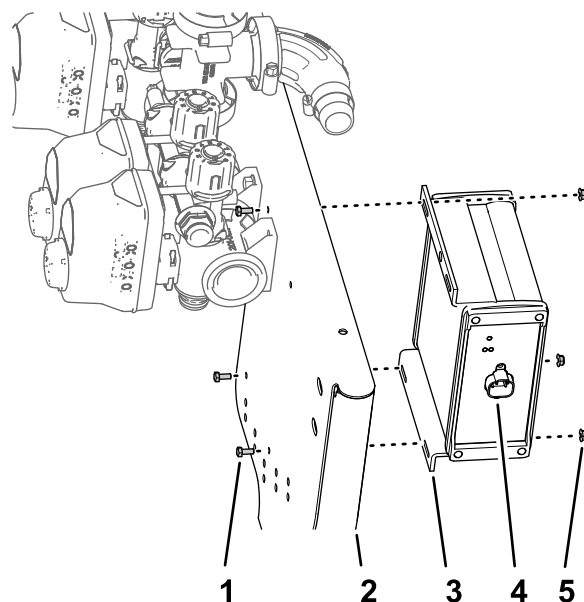


図 96

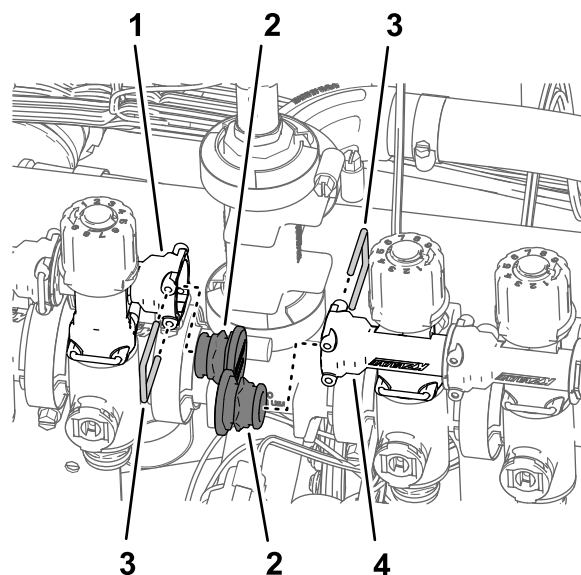
g199152

1. ボルト4 x 10mm
2. バルブ10本用マウント
3. ASC10 スプレーヤコントローラ
4. 4ピンコネクタ
5. フランジロックナット4mm

2. 散布コントローラをバルブマウントに取り付ける
 96; ボルト3 x 10mm3本とフランジロックナット
4mm4個を使用する。

注 ASC10 スプレーヤコントローラの上外側の穴
を使用しないでください。

3. ボルトとナットを234286N・cm0.240.29kg.m =
2125in-lbにトルク締めする。

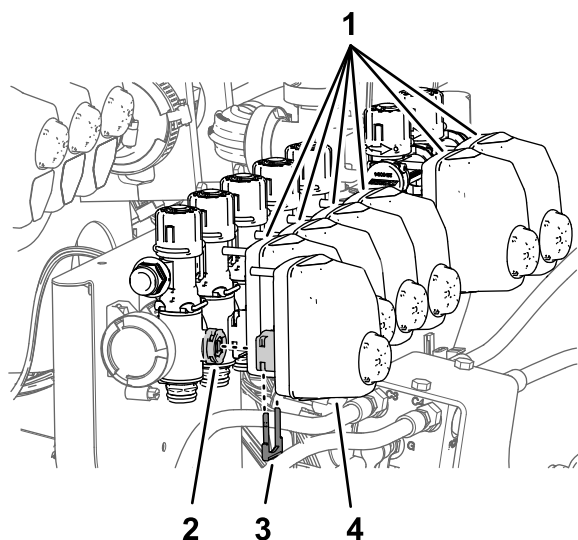


g201570

図 98

1. クイックコネクティングソケットノズルバルブ 5 番のバイパスバルブ
2. キャップクイックディスクコネクティング
3. リテーナ
4. クイックコネクティングソケットノズルバルブ 6 番のバイパスバルブ

4. ノズルバルブ 1 7 にバイパスバルブを固定しているリテーナを外す  99。



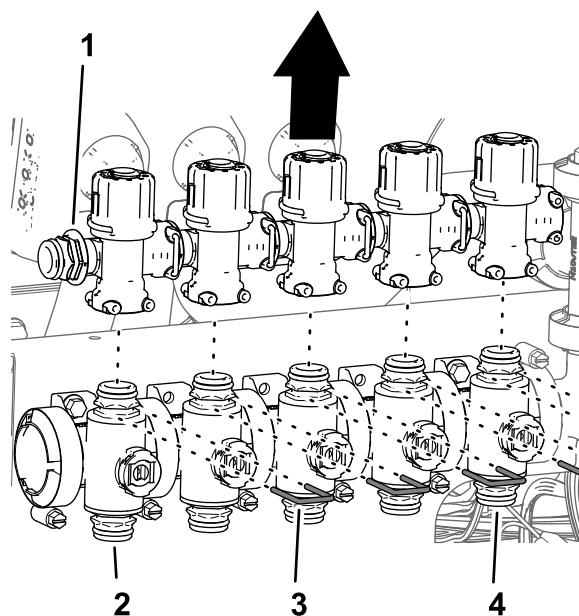
g201572

図 97

1. バルブアクチュエータをノズルバルブ 2~7
2. バルブシステムノズルバルブ 1 番
3. リテーナ
4. バルブアクチュエータノズルバルブ 1 番

2. ノズルバルブ 1 7 からバルブアクチュエータを外す  97。
3. ノズルバルブ 5 番と 6 番のところのクイックディスクコネクティングのソケットにプラグを固定しているリテーナを外して、プラグを外す  98。

注 プラグは廃棄します。リテーナは **ブームバイパスホースを取り付けるオプションのスプレースティックキットまたは電動ホースリールキットを搭載している車両 (ページ 47)** で使用します。



g201568

図 99

1. クイックディスクコネクティングプラグ
2. ノズルバルブ 1 番
3. リテーナ
4. ノズルバルブ 5 番

5. ノズルバルブ 1 5 からのバイパスバルブを一旦外し  99、

6. バイパスバルブを180°回転させてboomバルブのクイックディスコネクトフィッティングに組み付ける [図 100](#)。

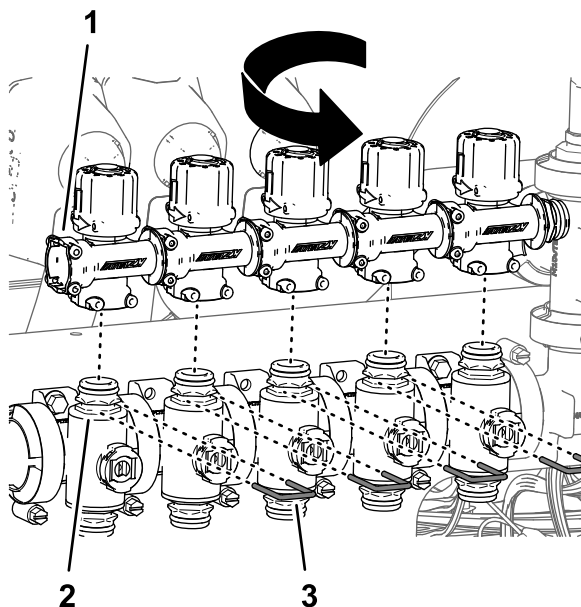


図 100

g201573

1. クイックコネクトフィッティング
グソケット外側に向けて配置
2. ノズルバルブ 1 番
3. リテーナ

7. バイパスバルブをそれぞれのboomバルブに固定するリテーナ [図 100](#) ステップ 4 で外したものを使用
8. ノズルバルブ 6 番と 7 番のバイパスバルブについてもステップ 57 の作業を行う [図 101](#)。

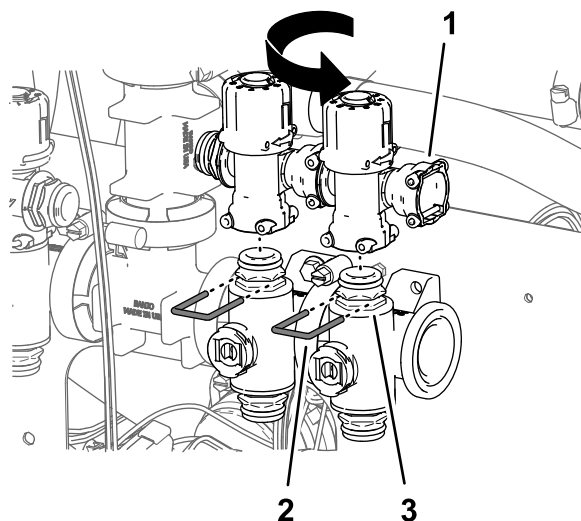


図 101

g201625

1. クイックコネクトフィッティング
グソケット外側に向けて配置
2. リテーナ
3. ノズルバルブ 7 番

9. ノズルバルブ 6 番と 7 番のバイパスバルブのクイックディスコネクトフィッティングにキャップを取り付けるキャップに付属しているリテーナを使用する [図 100](#)。

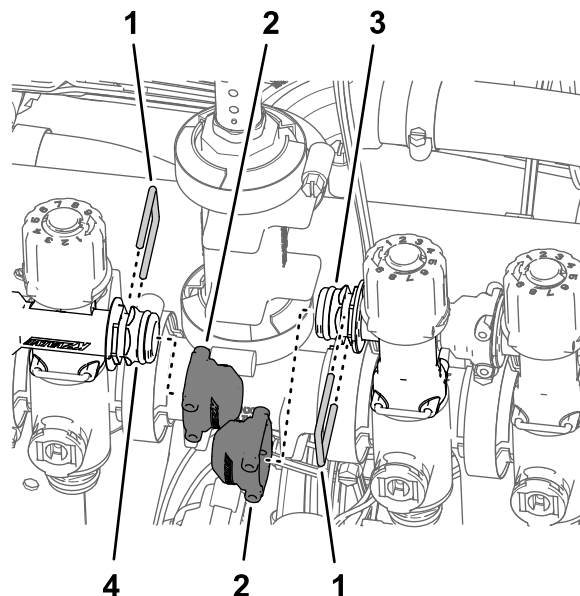


図 102

g201567

1. リテーナ
2. キャップクイックディスコネクトフィッティング
3. クイックコネクトフィッティング
プラグノズルバルブ 5 番のバイパスバルブ
4. クイックコネクトフィッティング
プラグノズルバルブ 6 番のバイパスバルブ

10. ノズルバルブ 1 7 にバルブアクチュエータを取り付ける ([図 97](#)) ステップ 1 で外したリテーナを使用する。

boomバルブ 3 個をバルブマウントに取り付ける

1. boomバルブ 3 個 [図 103](#) ステップ S8 マニホールドマウントからboomバルブを外す (ページ 30) で外したものを、バルブ 7 番のフランジに取り付けるステップ 413 boomバルブを取り外す (ページ 27) で取り外したフランジクランプとガスケットを使用する。

重要 ジオリンク散布システムの左boom、センターboom、右boomは以下のように識別されます
左boomのバルブ ノズルバルブ 8 番
センターboomのバルブ ノズルバルブ 9 番
右boomのバルブ ノズルバルブ 10 番。

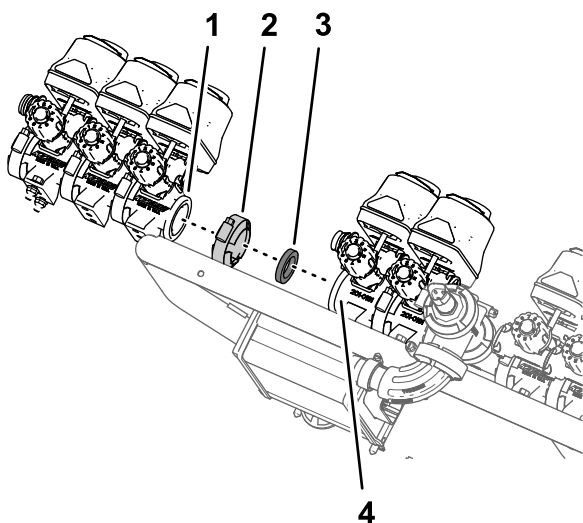


図 103

g199387

1. フランジboomバルブ左
boomノズルバルブ 8 番
 2. フランジクランプ
 3. ガasket
 4. フランジノズルバルブ 7 番
ジョイントスプレーヤバル
ブアセンブリ)
-
2. ノズルバルブ 8 番のクイックディスコネクトカップリングのソケットを、ノズルバルブ 7 番のバイパスバルブのクイックディスコネクトカップリングに固定するステップ8 マニホールドマウントからboomバルブを外す (ページ 30)で外したリテーナを使う。

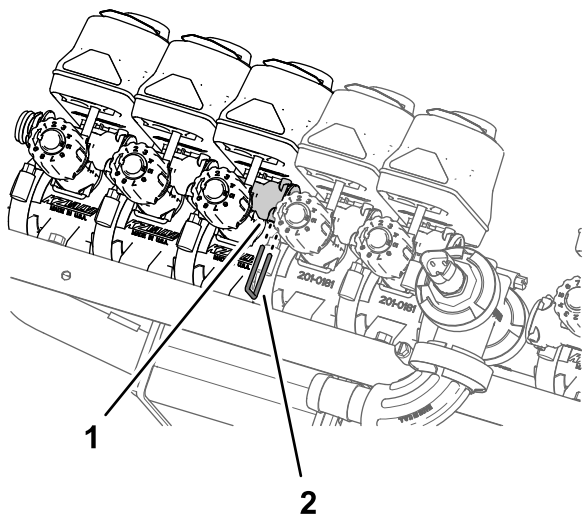


図 104

g199386

1. クイックディスコネクトカン
プリングソケットバイパスバ
ルブ
 2. リテーナ
-
3. ノズルバルブ10番をバルブマウントに取り付ける
図 105または図 106ステップ 2 マニホールドマウ
ントからboomバルブを外す (ページ 30)で取り外し
たフランジヘッドボルト1/4 x 3/4 インチ2本とロック
ナット1/4 インチ2個を使用する。

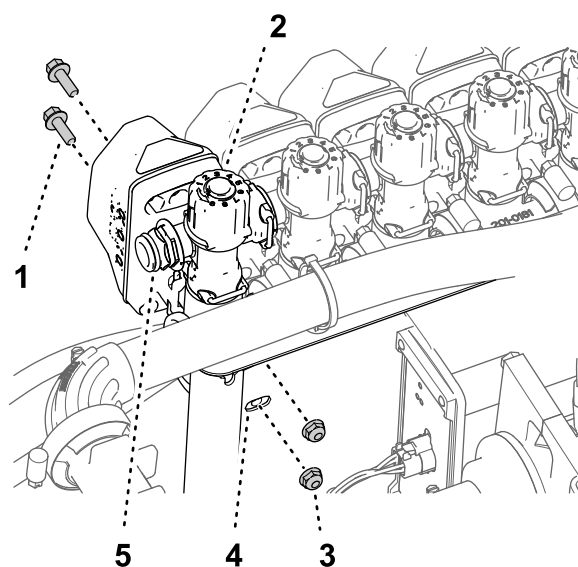


図 105

g201492

ハndsプレーキットや電動ホースリールキットを搭載してい
ない車両

1. フランジヘッドボルト1/4 x
3/4 インチ
2. ノズルバルブ 10番
3. ロックナット1/4 インチ
4. バルブマウント
5. クイックディスコネクトの
フィッティングプラグ

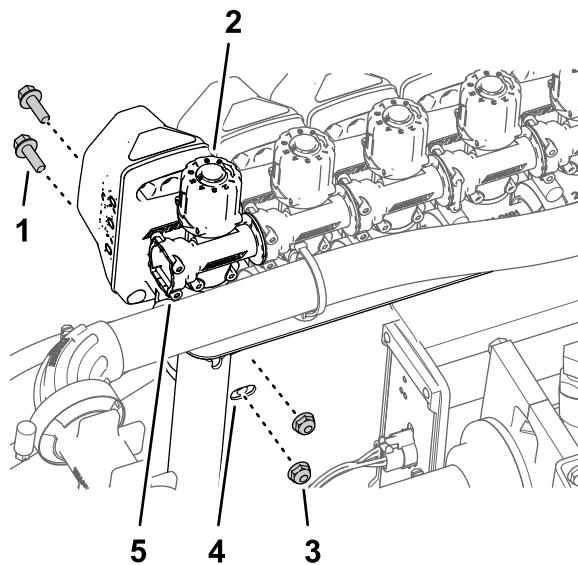


図 106

g201569

ハndsプレーキットまたは電動ホースリールキットを搭載
している車両

1. フランジヘッドボルト1/4 x
3/4 インチ
 2. ノズルバルブ 10番
 3. ロックナット1/4 インチ
 4. バルブマウント
 5. クイックディスコネクトの
フィッティングソケット
-
4. フランジヘッドボルトとロックナットを10.1712.43
N・m 1.01.4kg.m = 90120in-lb にトルク締める。

バルブマウントスプレーバルブアセンブリを機体に組み付ける

吊り上げ装置に必要な能力: 23kg

1. 所定の能力のある昇降装置を使ってバルブマウントスプレーバルブアセンブリを吊り上げ、センターブームに合わせる [図 107](#)。

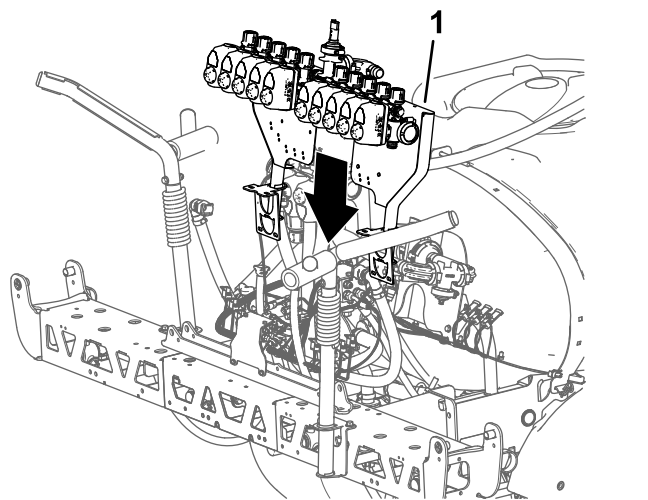


図 107

1. バルブマウントスプレーバルブアセンブリ

2. バルブマウントの取り付けブラケットの穴を、センターブームのトラスフレームの穴に合わせる [図 108](#)。

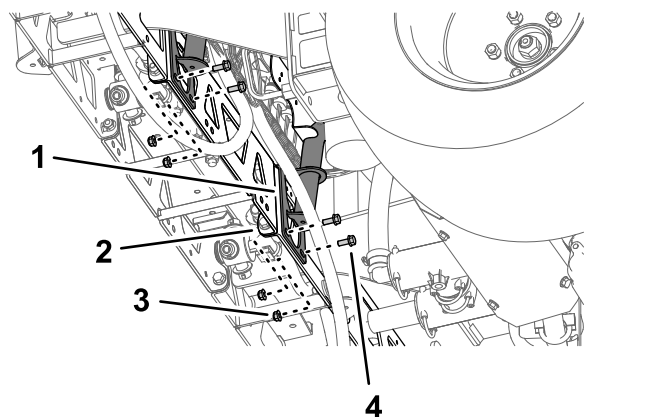


図 108

1. ブラケットバルブマウント
2. トラスフレームセンターブーム)
3. フランジロックナット5/16 インチ
4. フランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ
3. バルブマウントをトラスフレームに固定する [図 108](#) と [図 109](#) ボルト5/16 x 3/4 インチ4本とフランジロックナット5/16インチ4個を使用する。

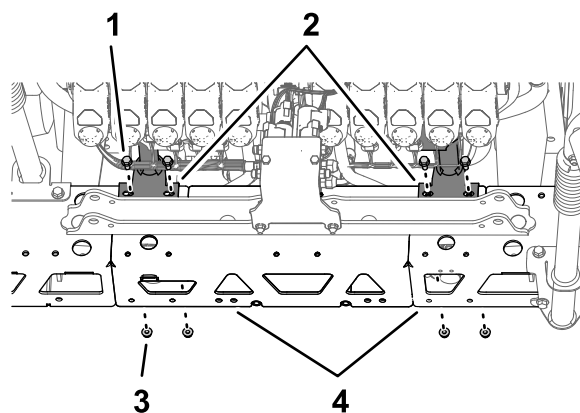


図 109

1. フランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ
2. ブラケットバルブマウント
3. フランジロックナット5/16 インチ
4. トラスフレームセンターブーム)

4. もう一方のトラスフレームの取り付けブラケットにも、ステップ [23](#) の作業を行う。
5. フランジヘッドボルトとフランジロックナットを 19782542N·cm 2.02.6kg.m = 175225in·lb にトルク締めする。

ホースをスプレーバルブマニホルドに組み付ける

1. [図 110](#)に示すように、ホース1 x 16 インチ = 40cmを 90 度フランジフィッティングに組み付ける。

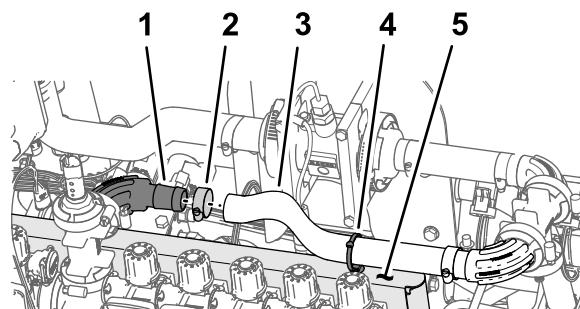


図 110

1. 90度フランジフィッティング
2. ホースクランプ
3. ホース1 x 16 インチ = 40cm
4. 押し込み型ファスナーケーブルタイ
5. バルブマウント

2. ホースクランプを使ってホースをフランジフィッティングに固定する [図 110](#)。
3. [図 110](#) に示すように、ケーブルタイ押し込みファスナーをバルブマウント上部の穴に取り付ける。
4. ケーブルタイ押し込みファスナー [図 110](#) をホース1 x 16 インチ = 40cmに巻き付ける。

ブームバイパスホースを取り付けるオプションのスプレースティックキットや電動ホースリールキットを搭載していない車両

1. ステップ2 バイパスホースを組み付ける (ページ 39) でバイパスホースに組み付けたクイックコネクトフィッティングのソケットからリテーナを外す。
2. バイパスホースのクイックコネクトフィッティングを、ノズルバルブ 10 番のところにあるバイパスバルブにあるクイックディスコネクトフィッティングに取り付ける 図 111。

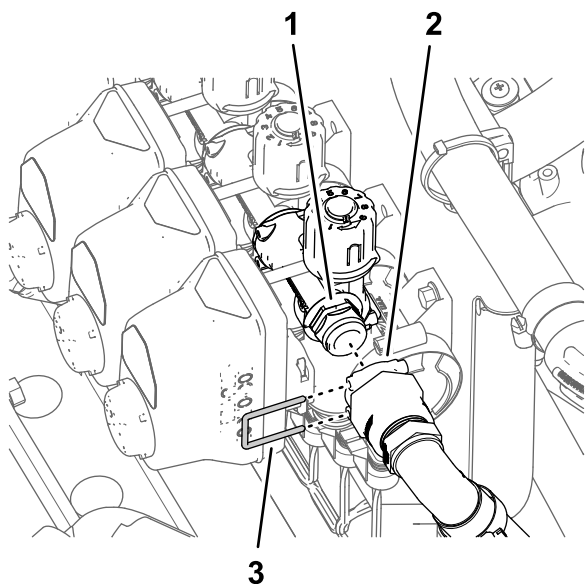


図 111

1. クイックディスコネクトフィッティング バイパスバルブ
2. ソケットクイックコネクトフィッティング
3. リテーナ

3. バイパスホースおよびバイパスバルブ用のクイックディスコネクトフィッティングを、リテーナで固定する 図 111。
4. ノズルバルブ 1 番のクイックディスコネクトフィッティングについてもステップ 13 の作業を行う。

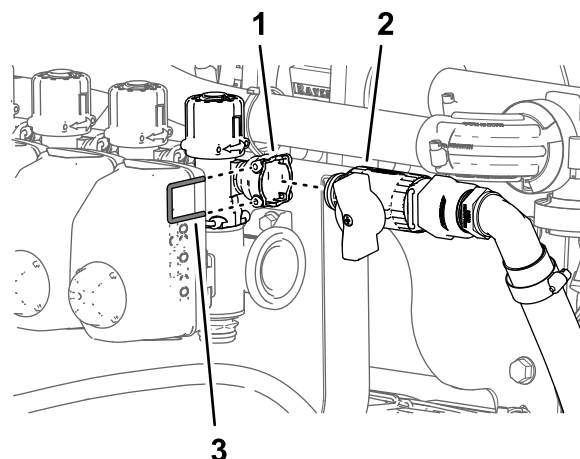


図 112

1. クイックコネクトフィッティングソケットノズルバルブ 10 番
2. シャットオフバルブ ハンドスプレースティックまたは電動ホースリールキット
3. リテーナ

2. バイパスシャットオフバルブおよびバイパスバルブ用のクイックディスコネクトフィッティングを、リテーナで固定する 図 112 ステップ 3 バイパスバルブの位置替えをするオプションのスプレースティックキットや電動ホースリールキットを搭載している車両 (ページ 43) で外したリテーナを使用する。
3. 車体の反対側のバイパスシャットオフバルブおよびバイパスバルブにも、ステップ 12 の作業を行う。

ブームバイパスホースを取り付けるオプションのスプレースティックキットまたは電動ホースリールキットを搭載している車両

1. バイパスシャットオフバルブのクイックディスコネクトフィッティングを、バイパスバルブのクイックディスコネクトフィッティングに取り付ける 図 112。

ノズルバルブのコネクタの接続を行う

1. コネクタアンカー用押し込みファスナーをバルブマウント穴に取り付ける [図 113](#)。

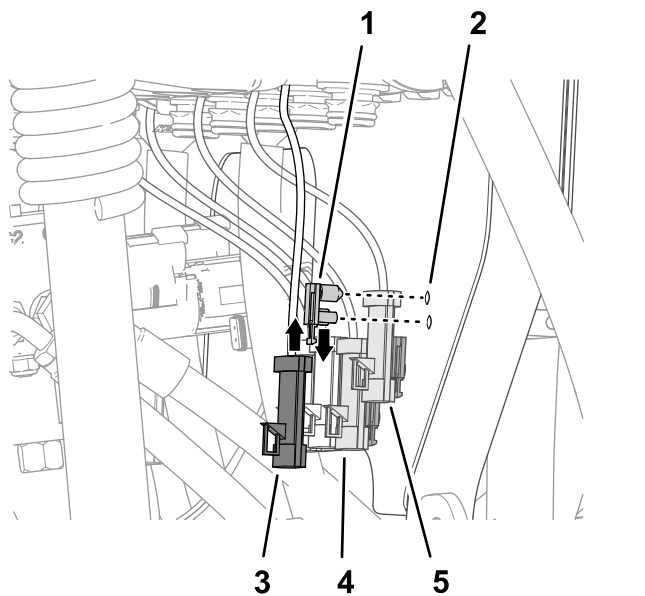


図 113

1. 押し込み型ファスナーコネクタアンカー
2. バルブマウント
3. 3ピンコネクタ (バルブアクチュエーター ポジション 10)
4. 3ピンコネクタ (バルブアクチュエーター ポジション 8)
5. 3ピンコネクタ (バルブアクチュエーター ポジション 9)

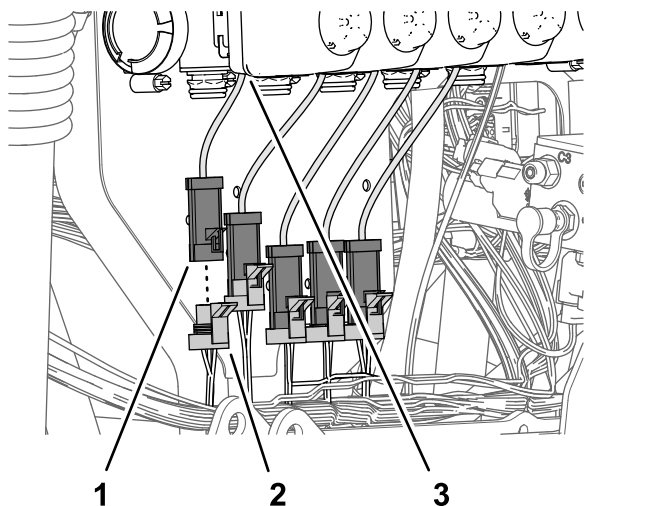


図 114

1. 3ピンコネクタ (バルブアクチュエーター ポジション 1)
2. 3ピンコネクタ (バルブアクチュエーター ポジション 1)
3. バルブアクチュエーター ポジション 1

2. キットのワイヤハーネスの 89cm の枝線についている 3 ピンコネクタ [図 114](#) NOZZLE VALVE 1 というラ

ベルがついているものを一番左のバルブアクチュエーターポジション 1 の 3 ピンコネクタに接続する。

注 バルブアクチュエーターのポジション 1 10 は、車両の後ろから見たときに左から右へ順に数えた位置です。

3. キットのワイヤハーネスの 89cm の枝線についている 3 ピンコネクタ [図 114](#) NOZZLE VALVE 2 というラベルがついているものをバルブアクチュエーターポジション 2 の 3 ピンコネクタに接続する。
4. キットのワイヤハーネスの 89cm の枝線に残っている 3 ソケットコネクタを、バルブアクチュエーターの 3 ピンコネクタに接続する [図 114](#)。

注 各 3 ソケットコネクタとバルブアクチュエーターが正しく対応していることを確認してください。

21

boom 昇降シリンダを取り付ける

この作業に必要なパーツ

4	油圧ホース 1/4 x 24-3/4 インチ
---	------------------------

昇降シリンダを組み立てる

1. ステップ 3 昇降シリンダを取り外す (ページ 19) で取り外した昇降シリンダの固定側端部を、シリンダマウントの 16mm の穴にセットする [図 115](#)。

注 延びる側のポートと縮む側のポートを間違えないように整列させてください。

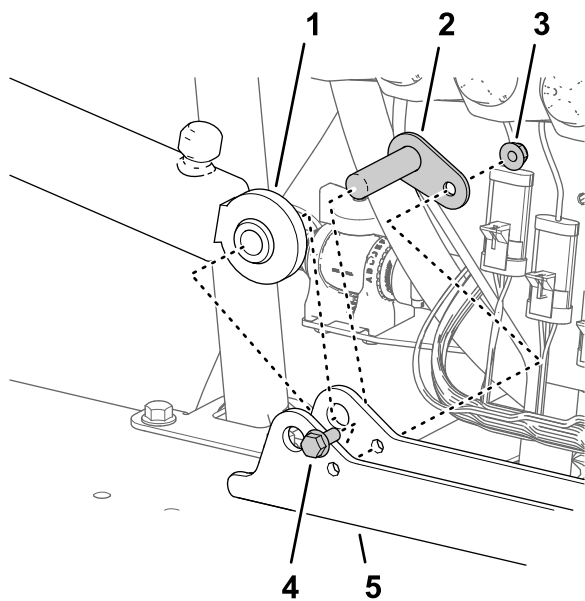


図 115

g200002

1. 昇降シリンダ固定側
 2. ピボットピン
 3. フランジロックナット5/16 インチ
 4. フランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ
 5. シリンダマウント
-
2. シリンダをマウントに組み付けるピボットピン、フランジヘッドボルト、フランジナットを使用する [図 115](#)。
 3. ボルトとナットを $19782542\text{N}\cdot\text{cm}$ $2.02.6\text{kg}\cdot\text{m} = 175225\text{in}\cdot\text{lb}$ にトルク締めする。
 4. 機体の反対側の昇降シリンダについても [13](#) の作業を行う。

昇降シリンダホースを取り付ける

1. 左側boom昇降シリンダの延長動作用ポートとboom昇降マニホールドのポート C3 との間に、新しい油圧ホース $1/4 \times 24-3/4$ インチを仮止めする [図 116](#)。

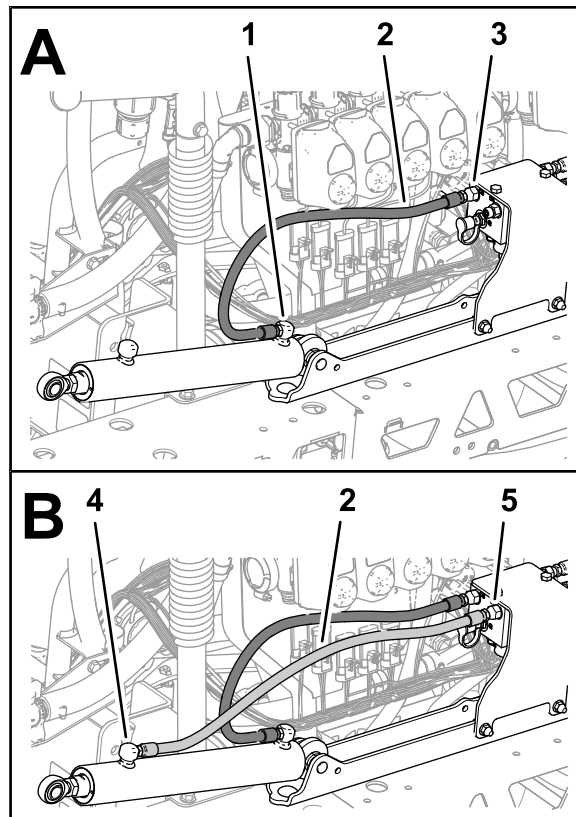


図 116

g200075

1. 延長動作用ポート左側boom昇降シリンダ
 2. 油圧ホース $1/4 \times 24-3/4$ インチ
 3. ポート C3 boom昇降マニホールド
 4. 引き込み側ポート左側boom昇降シリンダ
 5. ポート C4 boom昇降マニホールド
-
2. 左側boom昇降シリンダの収縮動作用ポートとboom昇降マニホールドのポート C4 との間に、新しい油圧ホース $1/4 \times 24-3/4$ インチを仮止めする [図 116](#)。
 3. 右側boom昇降シリンダの延長動作用ポートとboom昇降マニホールドのポート C1 との間に、新しい油圧ホース $1/4 \times 24-3/4$ インチを仮止めする ([図 117](#)。

22

左右のブームを取り付ける

この作業に必要なパーツ

4	ナイロン製フランジブッシュ
1	ケーブルタイ
1	給液ホースアセンブリ188cm
1	給液ホースアセンブリ234cm
1	給液ホースアセンブリ279cm

左右のブームからスプレーノズルを外す

1. ふたつのノズルの間でホースを切断する [図 118](#)。

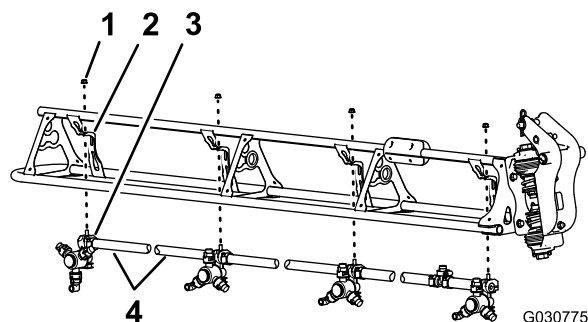


図 118

1. フランジロックナット5/16 インチ
2. ノズルサポート
3. スプレーノズル
4. ホース内径 3/4 インチ

2. ノズルをノズルサポートに固定しているフランジロックナット5/16 インチを外す [図 118](#)。
3. 他の3個のノズルについても、上記の手順2と1を行う。

注 外したフランジロックナットとノズルは **左右のブームの散布ノズルを取り付ける (ページ 57)** で使用しますので捨てないでください。

注 機体から外したホース、クランプ、T字フィッティングは廃棄してください。

4. 反対側のブームについても、[23](#)の作業を行う。
5. ステップ1で取り外した8個のノズル全部について片側または両側バープ付きホースシャンク3/4インチとそのクランプの上半分とを各ノズルのボディに固定しているステンレスねじ#12 x 1-1/4インチを外してバープ付きホースシャンクをから外す [図 119](#)。

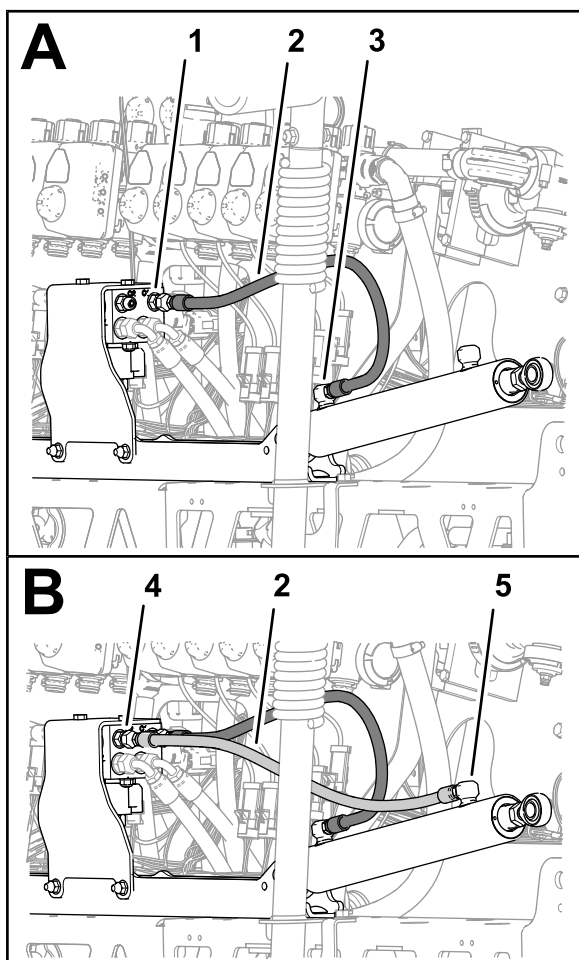


図 117

g200076

1. ポート C1ブーム昇降マニホルド
2. 油圧ホース1/4 x 24-3/4 インチ
3. 延長動作用ポート右側ブーム昇降シリンダ
4. ポート C2ブーム昇降マニホルド
5. 収縮動作用ポート右側ブーム昇降シリンダ
4. 右側ブーム昇降シリンダの収縮動作用ポートとブーム昇降マニホルドのポート C2 との間に、新しい油圧ホース1/4 x 24-3/4 インチを仮止めする [図 117](#)。
5. 昇降シリンダの延長動作用および収縮動作用のポートのホースフィッティング [図 116](#) と [図 117](#) を2126N・m2.12.6kg.m = 1519ft-lb にトルク締めする。
6. 昇降マニホルドのホースのスイベルナット [図 116](#) と [図 117](#) を2430N・m2.43.0kg.m = 1722 ft-lb にトルク締めする。

注 クランプを分離する時に上側クランプから外れてくる六角ヘッドボルト5/16 x 3/4 インチステンレスは再利用しますから捨てないでください。

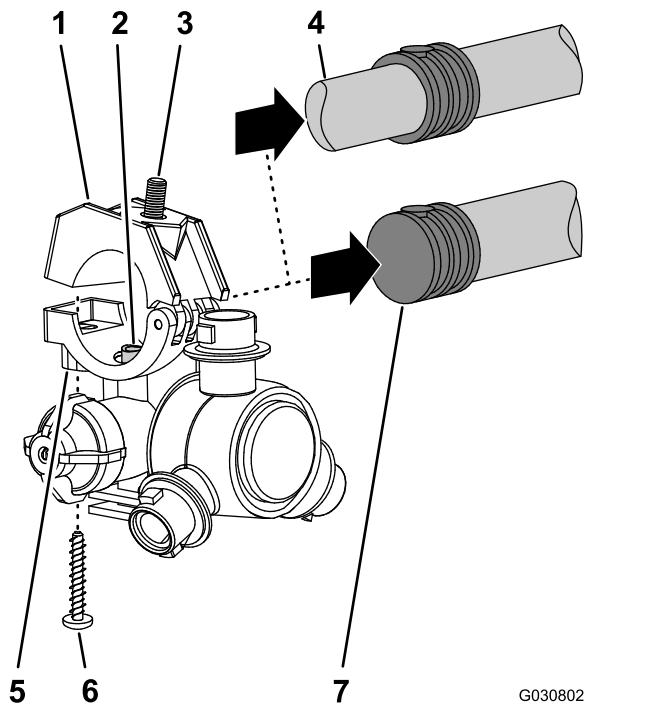


図 119

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 1. クランプの上半分 | 5. スプレーノズルのボディ |
| 2. トランスファチューブ | 6. ステンレスねじ#12 x 1-1/4 インチ |
| 3. 六角ヘッドボルト5/16 x 3/4 インチステンレス | 7. 片側バーブ付きホースシャック3/4 インチホース |
| 4. 両側バーブ付きホースシャック3/4 インチホース | |

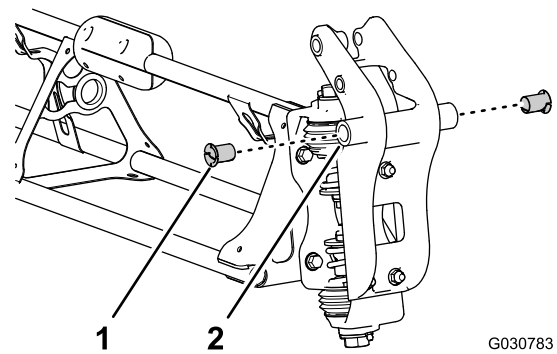


図 120

1. ナイロン製フランジブッシュ 2. ピボットフィッティング左右ブーム

3. ピボットフィッティングのブッシュを、センターブームの端部にあるピボットブラケットのフランジに付いている穴に合わせる 図 121。

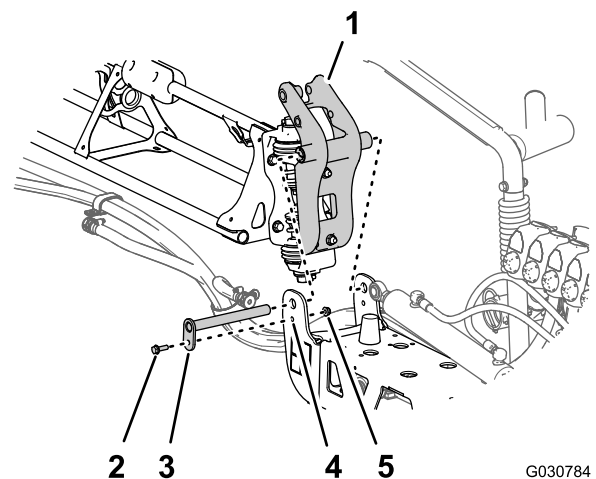


図 121

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. ピボットフィッティング左右ブーム | 4. ピボットブラケットセンターブーム |
| 2. フランジボルト5/16 x 1 インチ | 5. フランジロックナット5/16 インチ |
| 3. ピボットピン | |

4. ピボットフィッティングをピボットブラケットに取り付けるステップ 2 左右のブームを取り外す (ページ 20) で取り外したピボットピン、フランジボルト5/16 x 1 インチとフランジロックナット5/16 インチを使用する。
5. ボルトとナットを19.7825.42 N・m2.02.6kg.m = 175225in-lbにトルク締めする。
6. 昇降シリンダのロッドの先端を、ピボットフィッティングのホーンツノの穴25mmに合わせる 図 122。

左右のブームを機体に取り付ける

吊り上げ装置に必要な能力: 91kg

1. 所定の能力のあるホイストなどを使って、左または右のブームを吊り上げる。
2. ピボットフィッティングの両側にある 31.8mm の穴に、ナイロン製のフランジブッシュを入れる 図 120。

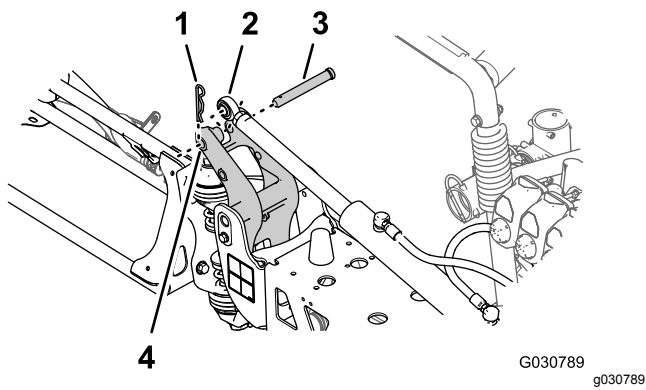


図 122

1. ヘアピン
 2. ロッドの先端昇降シリンダ
 3. クレビスピン
 4. 25mm の穴 — ピボット
フィッティングのホーン
-
7. 昇降シリンダをピボットフィッティングに固定するクレビスピンとヘアピン [図 122](#) ステップ 2 [昇降シリンダを取り外す \(ページ 19\)](#) で外したものを使用する。
 8. 機体の反対側のブームにも、ステップ 17 の作業を行う。

散布ノズル用ホースを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	給液ホース279cm
2	給液ホース234cm
4	給液ホース188cm
2	給液ホース81cm

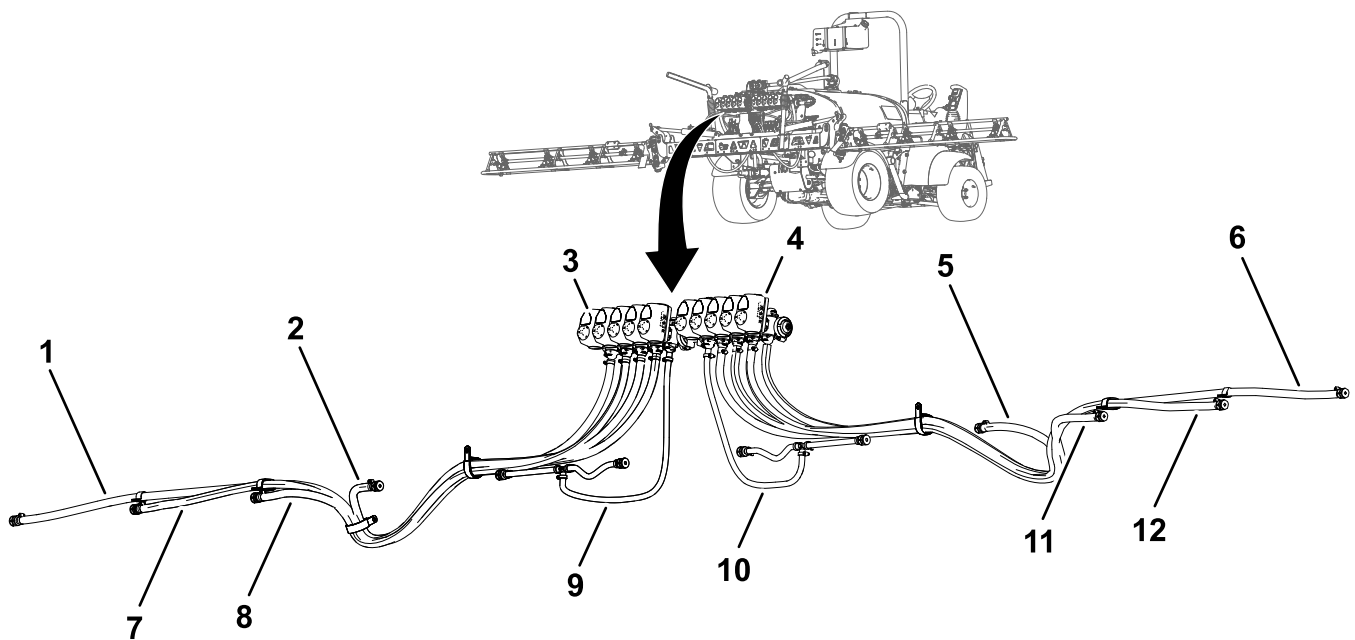
各散布ノズル用ホースの取り付け位置を確認する

各ホースの取り付け位置をホースの長さで確認する [図 123](#)

ホース取り付け位置確認表

ノズルの位置左ブーム	ノズルの位置センターブーム	ノズルの位置右ブーム
散布ノズル 1ノズルバルブ 1 給液ホース 279cm	散布ノズル と6ノズルバルブ 5 給液ホース 81cm 枝ホース本付き	散布ノズル 9ノズルバルブ 7 給液ホース 188cm
散布ノズル 2ノズルバルブ 2 給液ホース 234cm	散布ノズル 7と8ノズルバルブ 6 給液ホース 81cm 枝ホース本付き	散布ノズル 10ノズルバルブ 8 給液ホース 188cm
散布ノズル 3ノズルバルブ 3 給液ホース 188cm		散布ノズル 11ノズルバルブ 9 給液ホース 234cm
散布ノズル 4ノズルバルブ 4 給液ホース 188cm		散布ノズル 12ノズルバルブ 10 給液ホース 279cm

注 ノズルバルブの位置については [図 124](#) 各ホースをノズルバルブ~4 番に取り付ける。(ページ 55)、[図 125](#) ホースをノズルバルブ5および6 番に取り付ける。(ページ 55)、および[図 126](#) 各ホースをノズルバルブ710 番に取り付ける。(ページ 56) を参照してください。



g200077

図 123

- | | | |
|----------------------|-----------------------|------------------------|
| 1. 給液ホース279cm 散布ノズル | 5. 給液ホース188cm 散布ノズル9 | 9. 給液ホース81cm 散布ノズルと6 |
| 2. 給液ホース188cm 散布ノズル4 | 6. 給液ホース279cm 散布ノズル12 | 10. 給液ホース81cm 散布ノズル7と8 |
| 3. ノズルバルブ 1番 | 7. 給液ホース234cm 散布ノズル2 | 11. 給液ホース188cm 散布ノズル10 |
| 4. ノズルバルブ 10番 | 8. 給液ホース188cm 散布ノズル3 | 12. 給液ホース234cm 散布ノズル11 |

各ホースをノズルバルブ~4 番に取り付ける。

1. 給液ホース279cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ番のカップラに組み付ける [図 124](#)。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

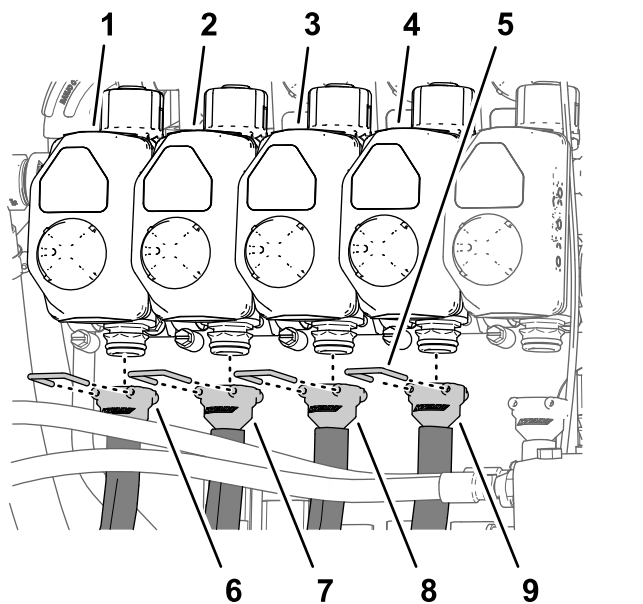


図 124

g200156

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ノズルバルブ 1番 | 6. 給液ホース279cm |
| 2. ノズルバルブ 2番 | 7. 給液ホース234cm |
| 3. ノズルバルブ 3番 | 8. 給液ホース188cm |
| 4. ノズルバルブ 4番 | 9. 給液ホース188cm |
| 5. リテーナ | |

2. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 124](#)。

3. 給液ホース234cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ2番のカップラに組み付ける [図 124](#)。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

4. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 124](#)。

5. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ3番のカップラに組み付ける [図 124](#)。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

6. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 124](#)。

7. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ4番のカップラに組み付ける [図 124](#)。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

8. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 124](#)。

ホースをノズルバルブ5および6 番に取り付ける。

注 給液ホースアセンブリ81cmにはT字フィッティング、枝ホース本、バーブ付きホースシャंक本が付きます。

1. 給液ホース81cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ5番のカップラに組み付ける [図 125](#)。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

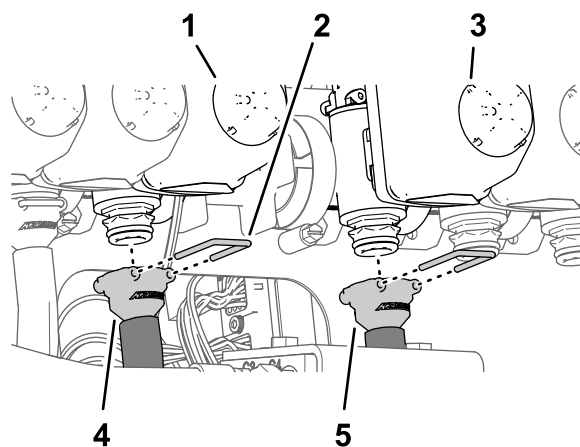


図 125

g200157

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. ノズルバルブ 5番 | 4. 給液ホース81cm |
| 2. リテーナ | 5. 給液ホース81cm |
| 3. ノズルバルブ 6番 | |

2. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 125](#)。

3. 給液ホース81cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ6番のカップラに組み付ける [図 125](#)。

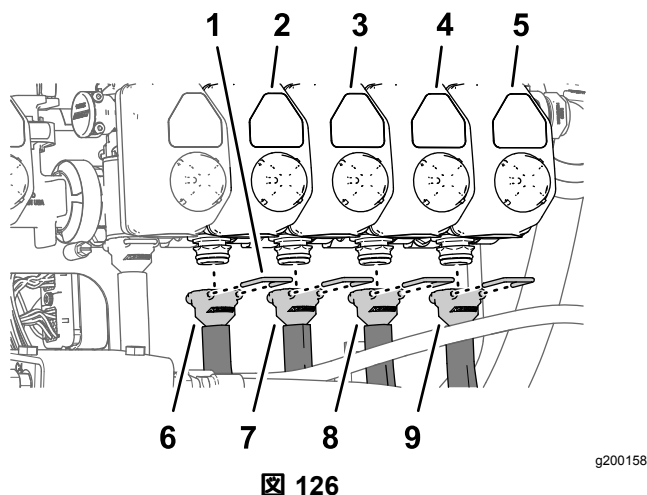
注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

4. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 125](#)。

各ホースをノズルバルブ710 番に取り付ける。

1. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ7番のカップラに組み付ける図 126。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。



- | | |
|---------------|---------------|
| 1. リテーナ | 6. 給液ホース188cm |
| 2. ノズルバルブ 7番 | 7. 給液ホース188cm |
| 3. ノズルバルブ 8番 | 8. 給液ホース234cm |
| 4. ノズルバルブ 9番 | 9. 給液ホース279cm |
| 5. ノズルバルブ 10番 | |

2. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 126。
3. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ8番のカップラに組み付ける図 126。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

4. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 126。

5. 給液ホース234cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ9番のカップラに組み付ける図 126。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

6. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 126。

7. 給液ホース279cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ10番のカップラに組み付ける図 126。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

8. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 126。

給液ホースを散布ノズルへ配設する

1. 散布ノズル、、、番用のホースを、センターブームの左端にあるR クランプに通す図 127と図 128。

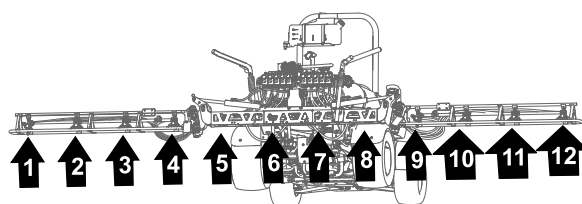


図 127

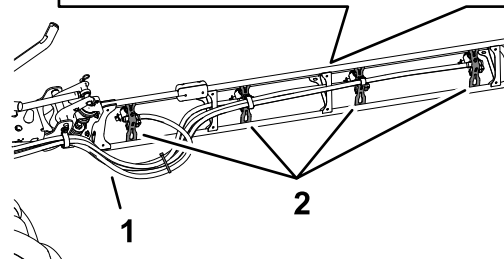
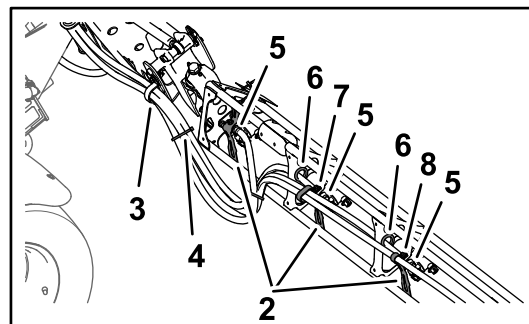


図 128

- | | |
|------------|--------------------------|
| 1. ホース | 5. 片側バーブ付きホースシャック1/2 インチ |
| 2. ノズルサポート | 6. グロメット |
| 3. R クランプ | 7. ダブル R クランプ |
| 4. ケーブルタイ | 8. シングル R クランプ |

2. 散布ノズル7、8、9、10番用のホースを、センターブームの右端にあるR クランプに通す図 127と図 128。

3. 図 127と図 128のように、給液ホース279cmとバーブ付きホースシャック3/4 インチをブームに沿って散布ノズル10番へ配設する。

4. 図 127と図 128のように、給液ホース234cmとバーブ付きホースシャック3/2 インチをブームに沿って散布ノズル49番へ配設する。

5. 図 127と図 128のように、給液ホース188cmとバーブ付きホースシャック3/4 インチをブームに沿って散布ノズル38番へ配設する。

注 各ホースを、チューブフレームブラケットの下側後部のグロメットに通す。

6. 図 127と図 128のように、給液ホース188cmとバーブ付きホースシャंक3/4 インチをブームに沿って散布ノズル47番へ配設する。

注 各ホースを、チューブフレームブラケットの下側後部のグロメットに通す。

7. 散布ノズル用のホース4本をケーブルタイで 図 128のようにまとめる。

- ノズル位置1番と4番で、ノズルマウントにノズルを組み付ける 図 130のAステップ2 左右のブームからスプレーノズルを外す (ページ 50)で外したフランジロックナット5/16 インチを使用する。
- ノズル位置2番と3番で、ノズルマウントにノズルを組み付ける 図 130のAとBステップ2 左右のブームからスプレーノズルを外す (ページ 50)で外したフランジロックナット5/16 インチを使用する。

左右のブームの散布ノズルを取り付ける

1. ノズルのサドルに付いているトランスファチューブ 図 129を、片側バーブ付きホースシャंक1/2 インチの側面の穴に合わせる。

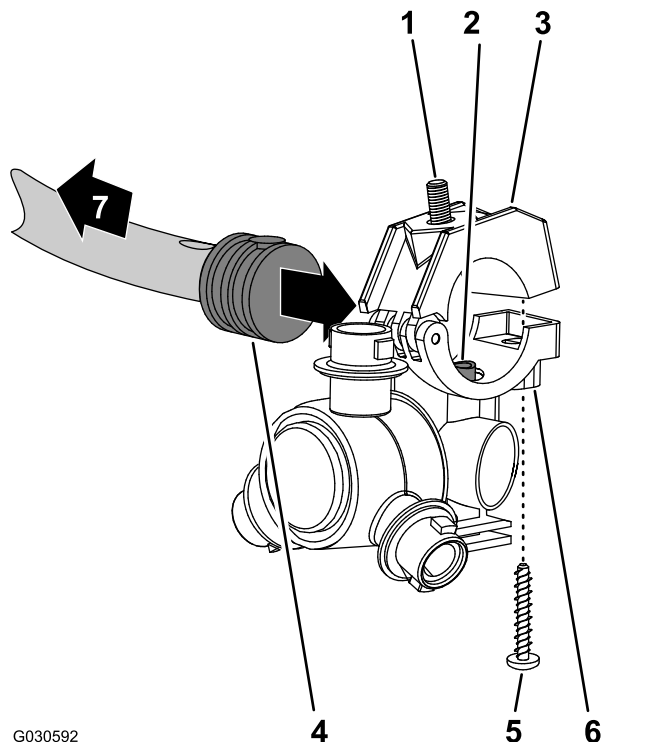


図 129

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. 六角ヘッドボルト5/16 x 3/4 | 5. ステンレスねじ#12 x 1-1/4 インチ |
| 2. トランスファチューブ | 6. スプレーノズルのボディ |
| 3. クランプの上半分 | 7. ブームへ |
| 4. 片側バーブ付きホースシャंक1/2 インチ | |

2. バーブ付きホースシャंकにホースクランプの上半分をセットし、クランプとノズルボディ 図 129を、ステンレスねじ#12 x 1-1/4 インチで固定し、1418N·m0.250.3kg.m = 2025in-lbにトルク締めする。

注 クランプの上半分のくぼみに六角ヘッドボルト5/16 x 3/4 インチがきちんとはまっていることを確認してください。

3. 以下の要領で、左右のブームにスプレーノズルを取り付ける

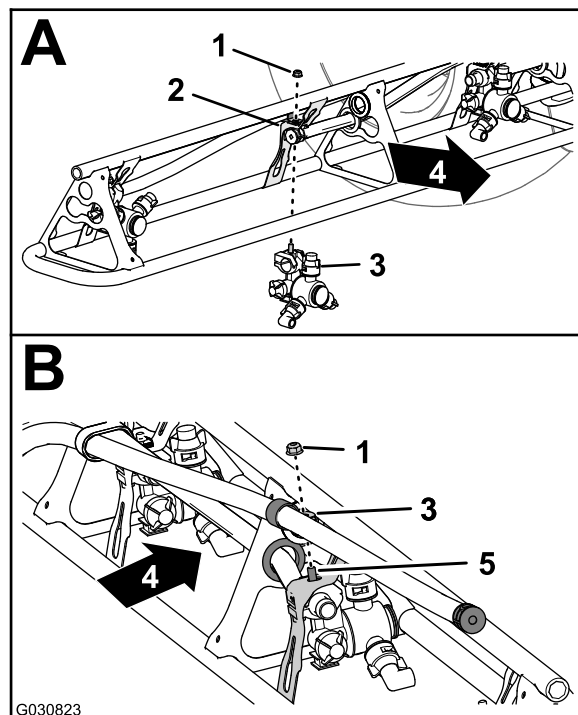


図 130

- | | |
|-----------------------|--------------------------------|
| 1. フランジロックナット5/16 インチ | 4. 機体後方 |
| 2. ノズルマウント | 5. 六角ヘッドボルトステンレス5/16 x 3/4 インチ |
| 3. スプレーノズル | |

4. フランジロックナットを、19.78 25.42N·m 2.02.6kg.m = 175225in-lbにトルク締めする。
5. このブームの他のノズルについても、14の手順を行う。
6. 機体の反対側のブームにも、ステップ 15 の作業を行う。

キットのワイヤハーネスを車体後部に接続する

必要なパーツはありません。

ワイヤハーネスを水圧トランスデューサと ASC10 に接続する

1. キットのワイヤハーネスの 61cm の枝線の PRESSURE TRANSDUCER GREEN WEDGE というラベル付きの3ソケットコネクタを、水圧トランスデューサの3ピンコネクタに接続する 図 131。

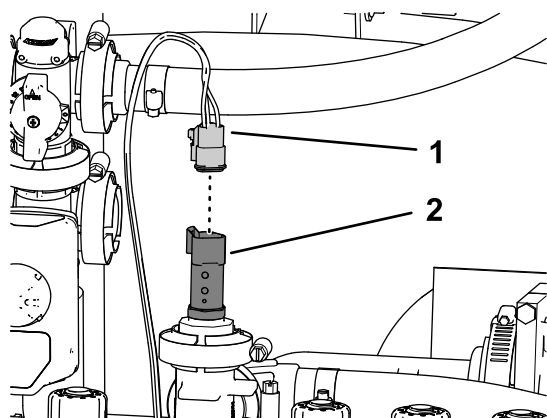


図 131

1. 3 ソケットコネクタキットのハーネスの 61cm 枝線
PRESSURE TRANSDUCER GREEN WEDGE
2. 3ピンコネクタ水圧トランスデューサ

2. キットのワイヤハーネスの 40 ソケットコネクタを、ASC10 散布コントローラの 40 ピンコネクタに接続する 図 132。

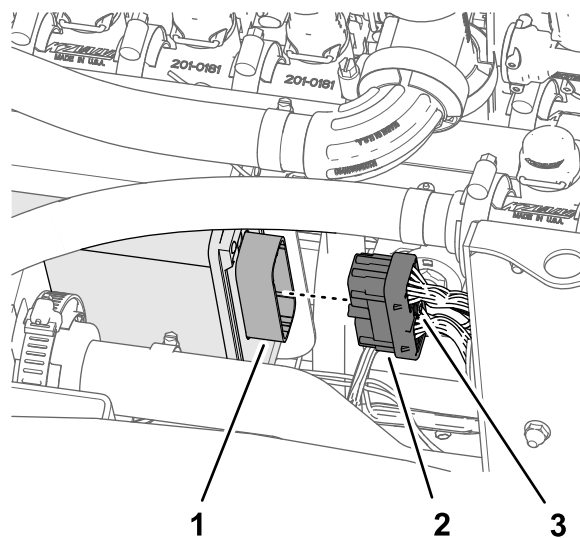


図 132

1. 40 ピンコネクタASC10 散 3. 蝶ねじ
布コントローラ
2. 40 ソケットコネクタワイヤ
ハーネスの 102cm 枝線

3. 40 ソケットコネクタについているねじを、ASC10 コントローラに取り付ける 図 132。
4. TO ASC 10というラベルの付いた 4 ソケットコネクタを、ASC10 散布コントローラの 4 ピンコネクタに接続する 図 133。

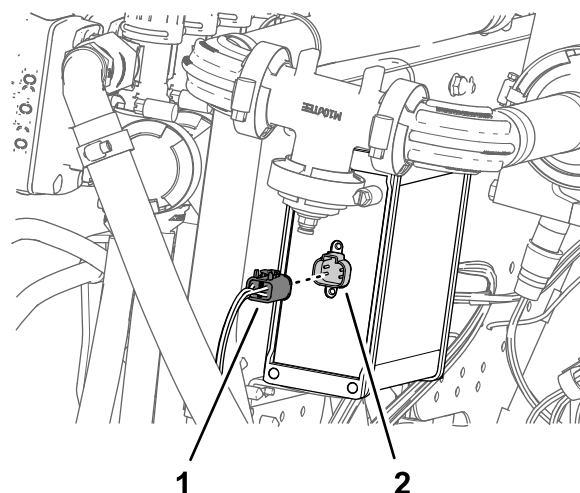


図 133

1. 4 ソケットコネクタTO ASC 10
2. 4 ピンコネクタASC10 散布
コントローラ

25

ダッシュボードの水圧計用の 水圧検知チューブを接続する

必要なパーツはありません。

ダッシュボードの水圧計用の水圧検 知チューブを接続する

オプションのハndsプレーキットや電動ホース
リールキットを搭載していない車両

1. ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブ
樹脂チューブの口を、チューブカップラのロック
ングカラーに合わせる 図 134。

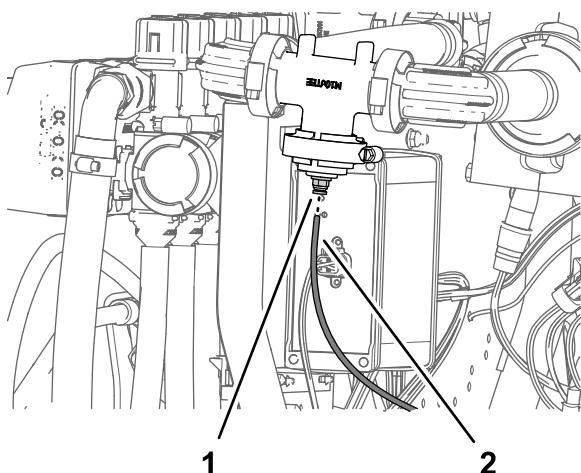


図 134

g200631

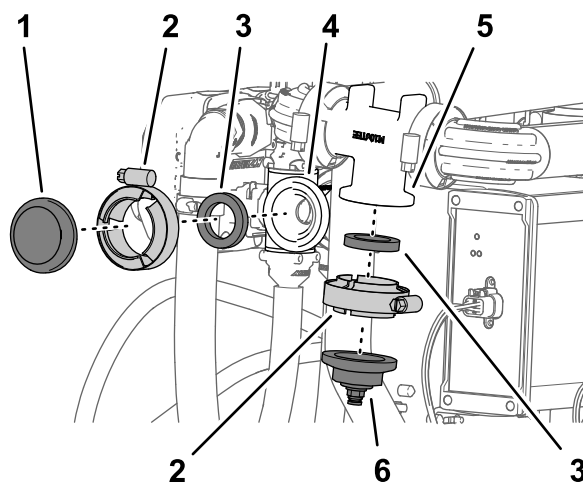
1. ロッキングカラーチューブ
2. 水圧検知チューブダッシュ
ボードの水圧計用

2. 検知チューブをロッキングカラーに挿入して一番
奥まで押し込む 図 134。

水圧検知チューブを取り付ける

オプションのハndsプレーキットまたは電動ホー
スリールキットを搭載している車両

1. ノズルバルブ 10 番のフランジにプレーンキャッ
プを固定しているフランジクランプとガスケットを
取り外す 図 135。

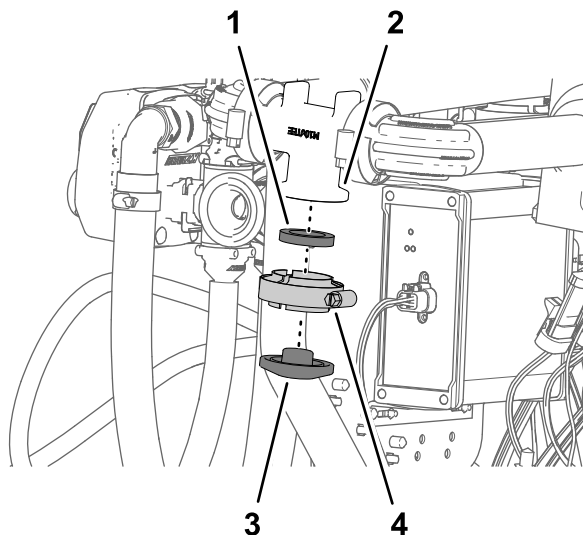


g200599

図 135

1. キャッププレーン
2. フランジクランプ
3. ガスケット
4. フランジノズルバルブ 10 番
5. フランジフローメータマニ
ホルド
6. キャップとチューブフィッティ
ング

2. フローメータマニホルドのフランジにキャップを
固定しているフランジクランプとガスケットを取り
外す 図 135。



g200596

図 136

1. ガスケット
2. キャッププレーン
3. フランジフローメータのマニ
ホルド
4. フランジクランプ

3. プレーンクランプをフローメータマニホルドのフラ
ンジに組み付けるステップ 2 で外したフランジクラ
ンプとガスケットを使用する。クランプは手締め
する 図 136。
4. オプションのスプレースティックキットまたは電
動ホースリールキット用のシャットオフバルブの
90°フィッティングを、ノズルバルブ 10 番のフラ
ンジに組み付けるステップ 1 で外したフランジクラ

ンプとガスケットを使用する。クランプは手締めする 図 137。

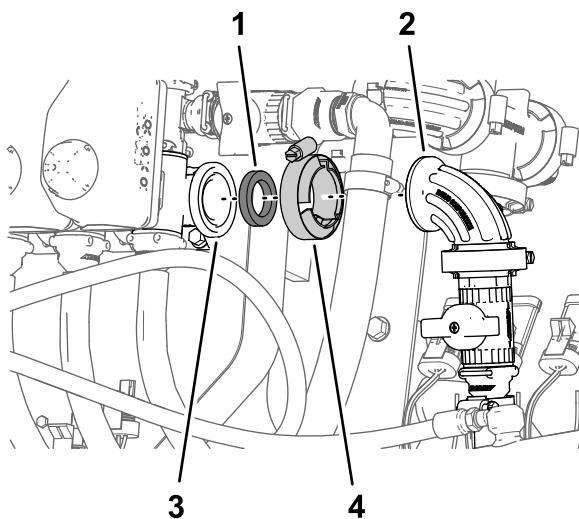


図 137

g201700

1. ガスケット
2. 90° フィッティングシャットオフバルブ
3. フランジノズルバルブ 10番
4. フランジクランプ

5. ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブ樹脂チューブの口を、スプレースティックキットまたは電動ホースリールキット用のシャットオフバルブの 90° フィッティングのチューブカップラ用ロッキングカラーに合わせる 図 138。

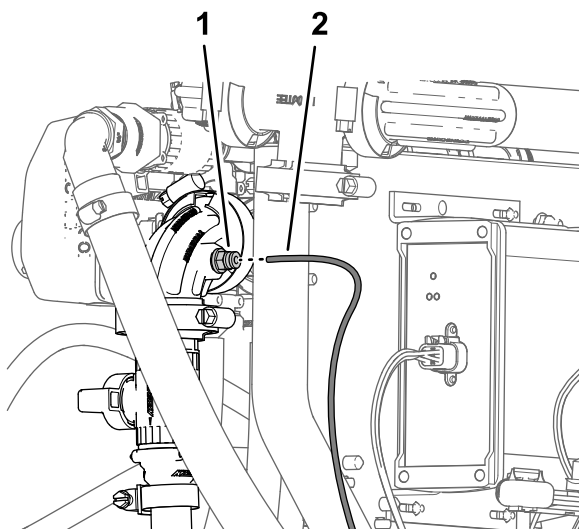


図 138

g201698

1. チューブカップラ90° フィッティングシャットオフバルブ
2. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用

6. 検知チューブをロッキングカラーに挿入して一番奥まで押し込む 図 138。

26

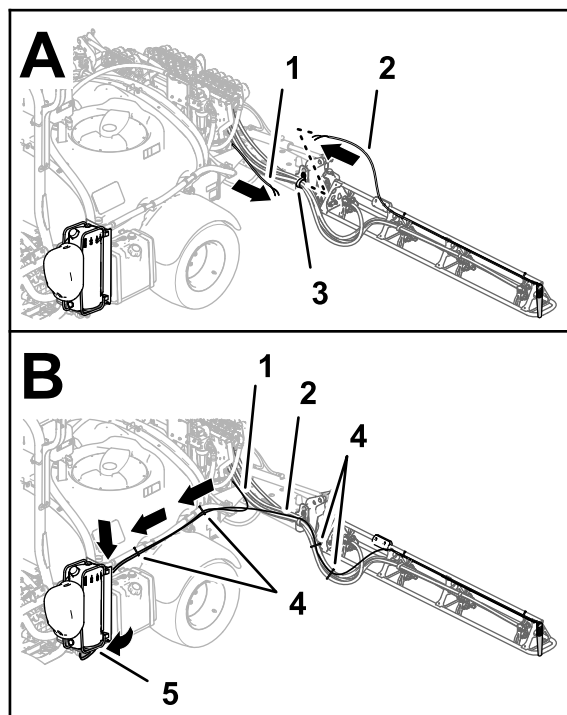
オプションのフォームマーカークットの接続を行う

この作業に必要なパーツ

6	ケーブルタイ
---	--------

フォームマーカのノズルのチューブの配設行う

1. 左右のboom用の泡ノズル用チューブを、車両中心に向かって配設し、各boomの支点近くにある R クランプに通す 図 140。

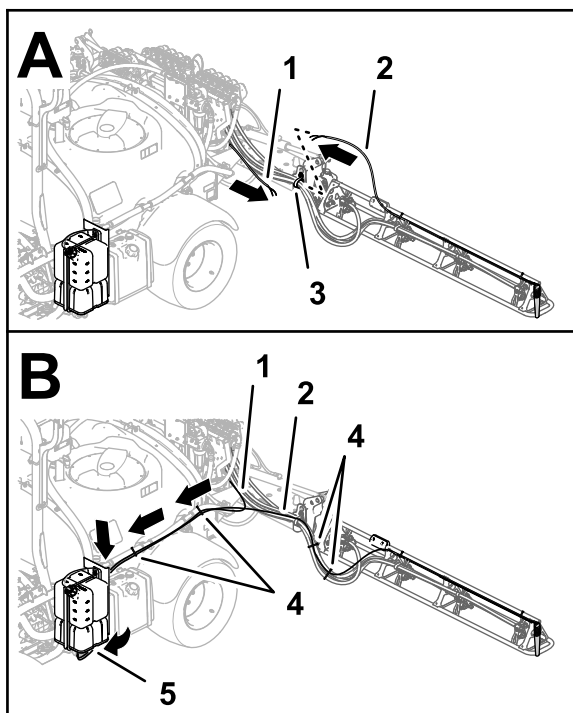


g202021

図 139

フォームマーカークット2016年度以前

1. チューブフォームマーカのノズル用右boom用
2. チューブフォームマーカのノズル用左boom用
3. R クランプ
4. ケーブルタイ
5. 接続パネルフォームマーカのコンプレッサ



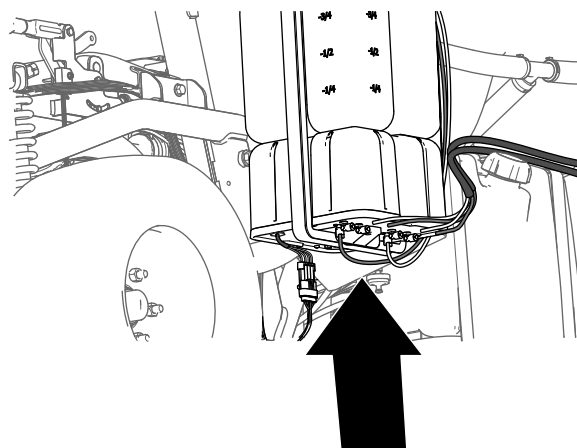
g201934

図 140

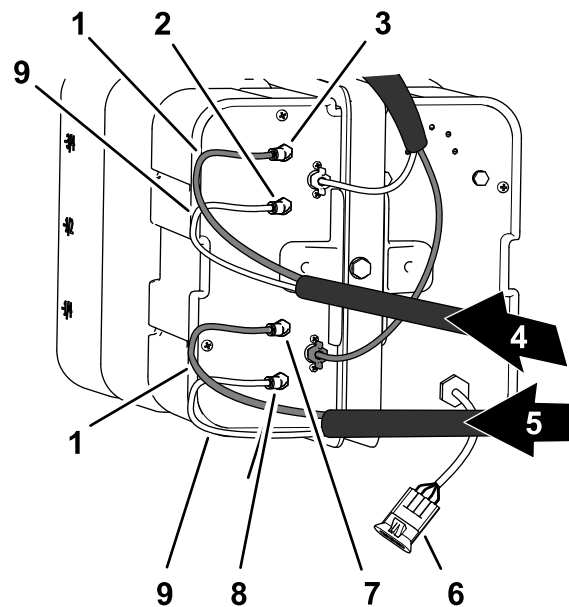
フォームマーカークット2017年度以降

1. チューブフォームマーカのノズル用右ブーム用
2. チューブフォームマーカのノズル用左ブーム用
3. R クランプ
4. ケーブルタイ
5. 接続パネルフォームマーカのコンプレッサ

2. 散布液剤タンクの左側に沿ってチューブを前方に延ばす 図 140。
3. ケーブルタイを使って、左右のブーム用のフォームマーカのノズルをスプレーヤの液剤ホースに 図 140 のように固定する。
4. ケーブルタイ2本を使って、左右のフォームマーカのノズルを攪拌用のチューブに 図 140 のように固定する。



g197746



g196495

図 141

1. 青いチューブ
2. 原液用フィッティング左ブーム
3. 空気用フィッティング左ブーム
4. 泡用チューブ左ブーム
5. 泡用チューブ右ブーム
6. 電気コネクタ
7. 原液用フィッティング右ブーム
8. ケーブルタイ
9. 原液用フィッティング右ブーム
10. 透明チューブ

コンプレッサに原液チューブと空気チューブを取り付ける

フォームマーカークット2017年度以降

1. 図 141 のように、右側ブーム用泡チューブを配設する。

2. コンプレッサのサイドプレートのエア用フィッティングに透明チューブを入れる 図 141 と 図 142。

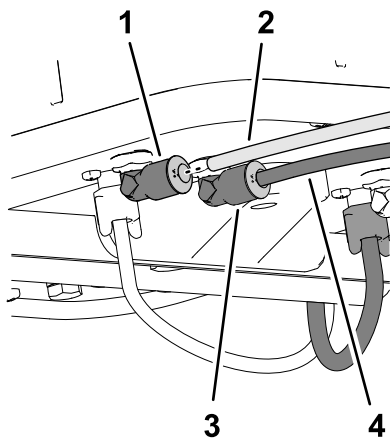


図 142

g201938

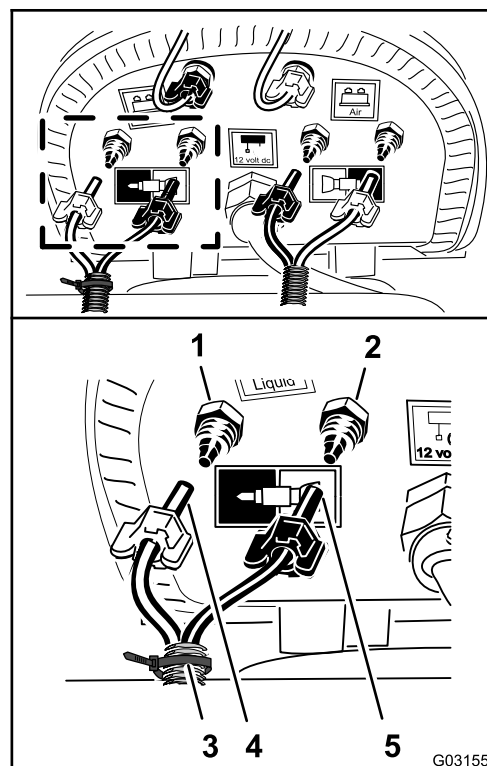
- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 空気用フィッティング | 3. 原液用フィッティング |
| 2. 透明チューブ | 4. 青色チューブ |

3. サイドコンプレッサプレートで、原液用フィッティングに青いチューブを入れる 図 141 と 図 142。
4. 図 141 のように、左側ブーム用泡チューブを配設する。
5. コンプレッサのサイドプレートのエア用フィッティングに透明チューブを入れる 図 141 と 図 142。
6. サイドコンプレッサプレートで、原液用フィッティングに青いチューブを入れる 図 141 と 図 142。

コンプレッサに原液チューブと空気チューブを取り付ける

フォームマーカークット2016年度以前

1. ステップ 9 フォームマーカのノズル用の新しいチューブアセンブリの準備を行う (ページ 12) でケーブルタイを使ってマーキングしたチューブのうち、右側ブーム用の青色チューブを右側ブーム用給水部の圧縮フィッティングに取り付ける 図 143。



G031555

g031555

図 143

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 圧縮フィッティング水用右ブーム、青チューブ | 4. 圧縮ナット空気用右ブーム、青チューブ |
| 2. 圧縮フィッティング空気用右ブーム、透明チューブ | 5. 圧縮ナット水用右ブーム、透明チューブ |
| 3. ケーブルタイ | |

2. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする 図 143。
3. 右側ブーム用の透明チューブを右側ブーム用エア供給部の圧縮フィッティングに取り付ける 図 143。
4. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする 図 143。
5. マークの付いていないケーブルタイの付いていないチューブ束で、左側ブーム用の青色チューブを左側ブーム用給水部の圧縮フィッティングに取り付ける 図 144。

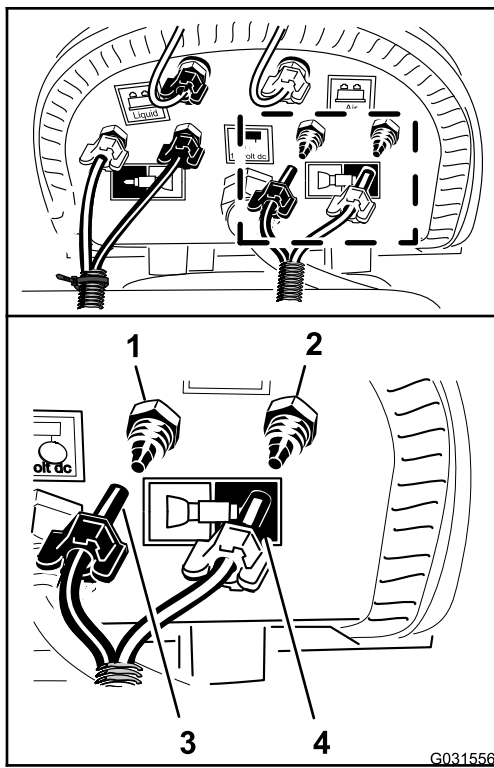


図 144

1. 圧縮フィッティング水用左
ブーム、青チューブ
2. 圧縮フィッティング空気用
左ブーム、透明チューブ
3. 圧縮ナット左ブーム、青
チューブ
4. 圧縮ナット左ブーム、透明
チューブ

6. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする 図 144。
7. 左側ブーム用の透明チューブを左側ブーム用エア供給部の圧縮フィッティングに取り付ける 図 144。
8. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする 図 144。
9. ケーブルタイ2本を使って、フォームマーカのチューブを液剤ホースに固定する 図 140。

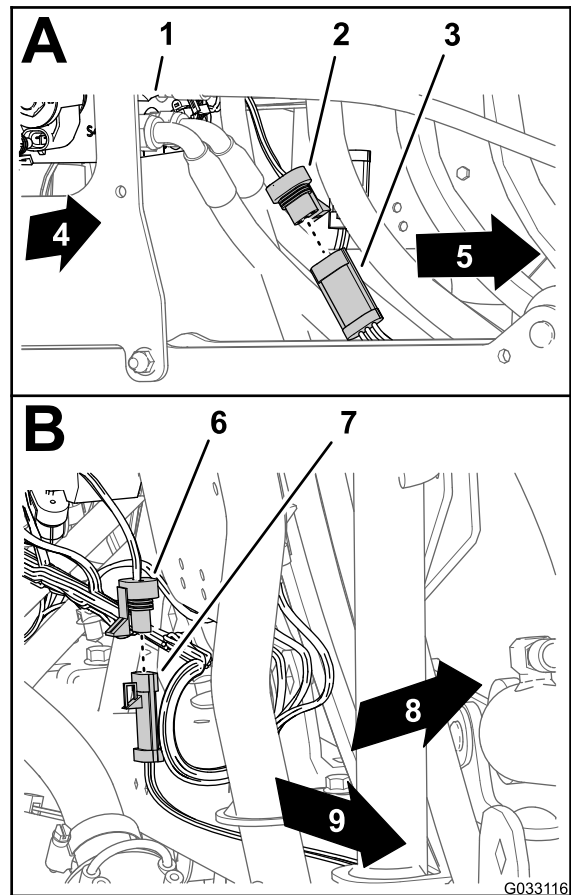


図 145

1. 昇降シリンダのマニホールド
2. 3ソケットコネクタソニック
ブームのワイヤハーネス右
センサー
3. 3ピンコネクタ右側ウルトラ
ソニックセンサー: ケーブル
4. 機体右側
5. 3ソケットコネクタソニック
ブームのワイヤハーネス左
センサー
6. 3ピンコネクタ左側ウルトラ
ソニックセンサー: ケーブル
7. 機体左側
8. 機体後方
9. 機体左側

2. 左側ウルトラソニックセンサー用のケーブルの3ピンコネクタに、ソニックブームのワイヤハーネスの3ソケットコネクタを接続する 図 145のB。

27

オプションのウルトラソニック ブームキットを接続する

必要なパーツはありません。

手順

1. 右側ウルトラソニックセンサー用のケーブルの3ピンコネクタに、ソニックブームのワイヤハーネスの3ソケットコネクタを接続する 図 145のA。

28

オプションのブームカバーキットの取り付けを行う

この作業に必要なパーツ

1	カバーエクステンションアセンブリ12ノズル用 Toro P/N 120-0621
22	ポップリベット Toro P/N 114439
4	サポートブラケットセンターブーム用カバー Toro P/N 13-3703-03
4	クリップナット Toro P/N 94-2413
16	フランジヘッドボルト 3/8 x 1-1/4 インチ Toro P/N 110-5050
16	フランジロックナット 3/8 インチ Toro P/N 104-8301
2	カバーストラップ Toro P/N 120-0629
4	フランジヘッドボルト 5/16 x 1-1/4 インチ Toro P/N 323-36

センターブームカバー11ノズルにカバーエクステンションを取り付ける

1. 補強プレートリベット1列とゴム製カバーを11ノズル用センターブームのカバーに固定している11本のポップリベット [図 146](#) ステップ 26 カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す (ページ 15) で外しておいたカバーについているリベットを、直径 5mm のドリルビットを使って取り外す。

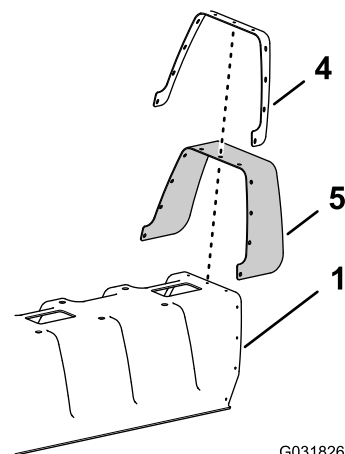
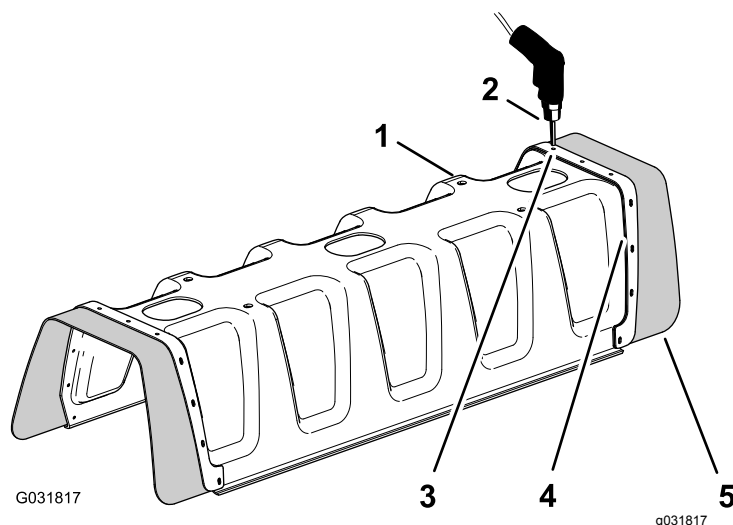


図 146

1. 11 ノズルブーム用カバー
2. ドリルと 直径 5mm ビット
3. リベット 3/16 x 1/2
4. 補強板 1 列穴
5. ゴムカバー

2. 11 ノズルブーム用カバーから、補強版、ワッシャ 3/16 インチ 11 枚、ゴム製カバーを取り外す [図 146](#)。

注 外した補強版、ワッシャ、ゴム製カバーは、ステップ 5 と 6 で使用します。

3. カバーエクステンションに取り付けられている補強プレート 2 列穴の穴に、11 ノズルブーム用カバーの穴を合わせる [図 147](#)。

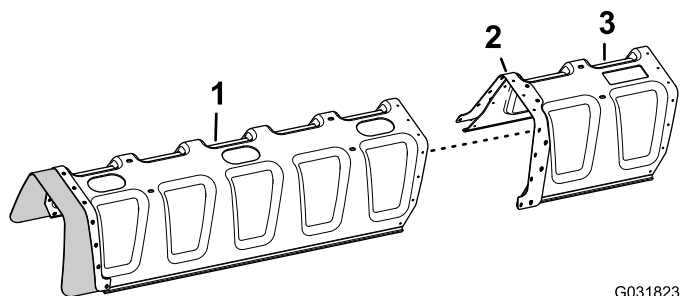


図 147

1. 11 ノズルboom用カバー
2. 補強板2列穴
3. カバーエクステンション

4. ポップリベット11本Toro P/N 114439を使って、カバーエクステンションを11 ノズルboom用カバーに固定する図 148。

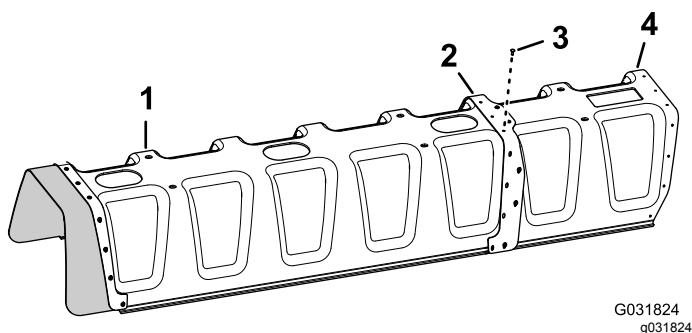


図 148

1. 11 ノズルboom用カバー
2. 補強板2列穴
3. ポップリベットToro P/N 114439
4. カバーエクステンション

5. ステップ2で取り外したゴム製カバーと補強版1列穴の穴を、カバーエクステンションの穴に合わせる図 149。

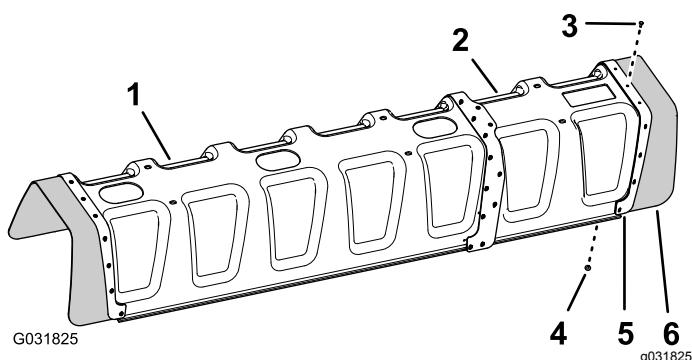


図 149

1. 11 ノズルboom用カバー
2. カバーエクステンション
3. ポップリベットToro P/N 114439
4. ワッシャ3/16 インチ
5. 補強板1列穴
6. ゴムカバー

6. 補強版とゴムカバーを、カバーエクステンションに固定するポップリベットToro P/N 11443911本

と、ステップ5で外したワッシャ3/16 インチ11枚を使用する。

注 ワッシャ3/16 インチは、カバーエクステンションの内面に当たるように取り付けてください。

センターboom用カバーのサポートブラケットを取り付ける

1. 図 150 のように、センターカバーToro P/N 131-3703-03用のサポートブラケット2個に、クリップナットToro P/N 94-24134個を取り付ける。

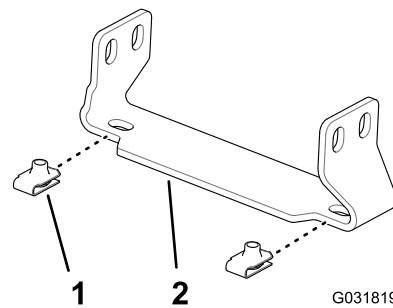
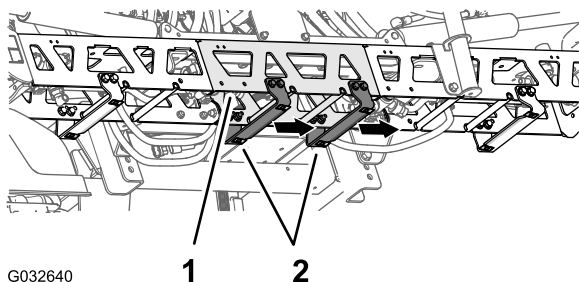


図 150

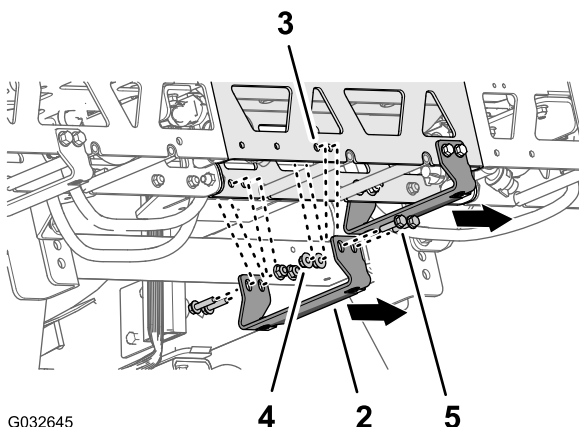
1. クリップナットToro P/N 94-2413
2. サポートブラケットセンターboom用カバーToro P/N 13-3703-03

2. センターboomエクステンションにある2組の穴トラスフレームの垂直面に25mm 間隔で開いている穴を探し出す図 151。



G032640

g032640



G032645

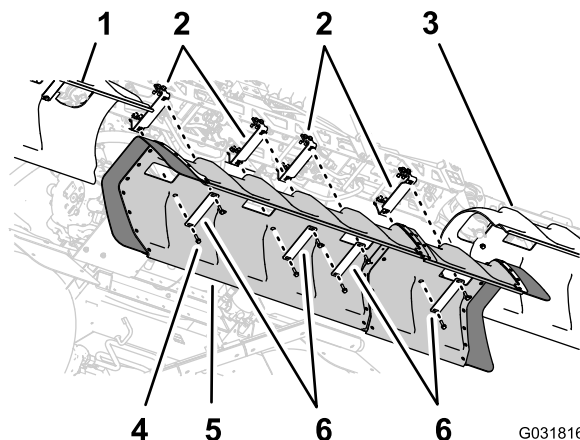
g032645

図 151

1. エクステンションセンターブーム
2. サポートブラケットToro P/N 131-3703-03 (広いフランジが右側)
3. トラスフレームの穴センターブームのエクステンション)
4. フランジロックナット3/8 インチToro P/N 104-8301
5. フランジヘッドボルト3/8 x 1-1/4 インチToro P/N 110-5050
3. サポートブラケットToro P/N 131-3703-03の穴を、センターブームエクステンションの穴ステップ2で探し出した穴に合わせるブラケットの広いフランジが左側になるように合わせることを図151を参照。
4. サポートブラケットをトラスフレームに固定する図151フランジヘッドボルト3/8 x 1-1/4 インチ, Toro P/N 110-50504本、フランジロックナット3/8 インチ, Toro P/N 104-83014個を使用する。
5. 残りの2組の穴についても、ステップ24を行い、さらに、もう一方のサポートブラケット、フランジヘッドボルト、フランジロックナットについても同様に作業を行う。
6. ボルトとナットを3745N・m 9.3 11.5kg.m = 2733ft-lb にトルク締めする。

センターブーム用カバーを取り付ける

1. センターブームカバーの穴を、サポートブラケットにある取り付け用の穴に合わせる図152。



G031816

g031816

図 152

1. 左側ブームカバー
2. サポートブラケット
3. 右側ブームカバー
4. フランジヘッドボルト 5/16 x 1-1/4 インチ
5. 中央ブームカバー
6. カバーストラップ
2. ステップ16 カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す (ページ15)で取り外した2本のカバーストラップの穴を、ゴム製カバーと補強版1列穴の穴を、カバーエクステンションの穴に合わせる図152。
3. カバーストラップとカバーを、サポートブラケットに取り付けるステップ16 カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す (ページ15)で取り外したフランジヘッドボルト5/16 x 1-1/4 インチ4本を使用する。
4. 2本のカバーストラップToro P/N 120-0629の穴を、カバーにある残り4つの穴とサポートブラケットにある残り4つの穴に合わせる図152。
5. カバーストラップとカバーを、サポートブラケットに取り付ける図152フランジヘッドボルト5/16 x 1-1/4 インチ, Toro P/N 323-364本を使用する。
6. ボルト本を 19782542N・cm3.13.8kg.m = 175225in-lbにトルク締めする。

29

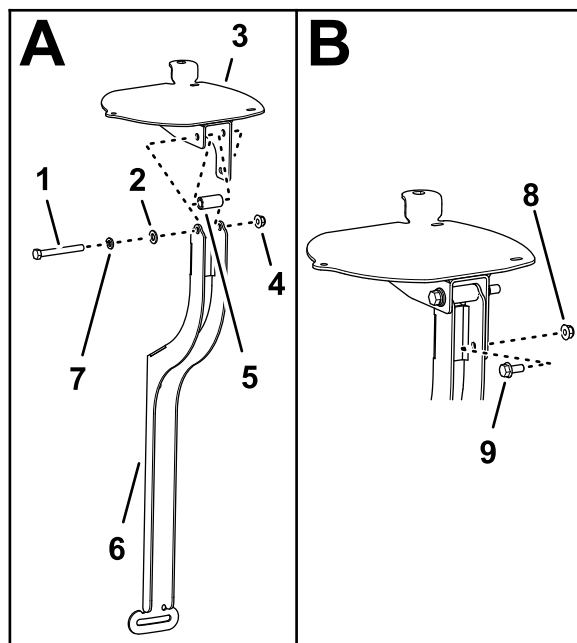
ナビゲーション受信機を取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	受けプレート
1	スペーサ 3/8 x 1 インチ
1	受信機用マウント
1	ボルト 3/8 x 3-1/4 インチ
1	ロックワッシャ 3/8 インチ
1	ワッシャ 3/8 x 13/16in
1	フランジロックナット 3/8 インチ
1	フランジヘッドボルト 5/16 x 3/4 インチ
1	フランジロックナット 5/16 インチ
2	フランジヘッドボルト (3/8 x 1-1/2 インチ)
2	スペーサ 3/8 x 7/16 インチ
1	ナビゲーション受信機 X25 ジオリンク高精度散布システムキット、ベース、WAASモデル 41630
3	六角ヘッドボルト 5 x 16mm
3	ワッシャ 5mm
1	パルクヘッドアダプタオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット
1	携帯電話アンテナオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット
1	同軸ケーブルオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット

受信機用マウントを組み立てる

1. ナビゲーション受信機プレート、スペーサ 3/8 x 1 インチ、受信機マウントの穴を揃える [図 153](#)。



g200645

図 153

1. ボルト 3/8 x 3-1/4 インチ
 2. ワッシャ 3/8 x 13/16in
 3. ナビゲーション受信機プレート
 4. フランジロックナット 3/8 インチ
 5. スペーサ 3/8 x 1 インチ
 6. 受信機用マウント
 7. ロックワッシャ 3/8 インチ
 8. フランジロックナット 5/16 インチ
 9. フランジヘッドボルト 5/16 x 3/4 インチ
2. [図 153](#)のように、受信機プレートとスペーサをマウントに取り付けるボルト 3/8 x 3-1/4 インチ、ロックワッシャ 3/8 インチワッシャ 3/8 x 13/16 インチ、フランジナット 3/8 インチを使用する。
 3. 受信機マウントの小さい方の穴と受信機プレートのスロットに、フランジヘッドボルト 5/16 x 3/4 インチを通し、フランジロックナットを取り付ける [図 153](#)。
 4. 受信機プレートを少し抵抗があるが回せる程度にボルトとナットを締め付ける。

受信機マウントを車両に取り付ける

1. 受信機マウントとスペーサ 3/8 x 7/16 インチを ROPS に取り付けるフランジヘッドボルト 3/8 x 1-1/2 インチで [図 154](#) のように取り付ける。

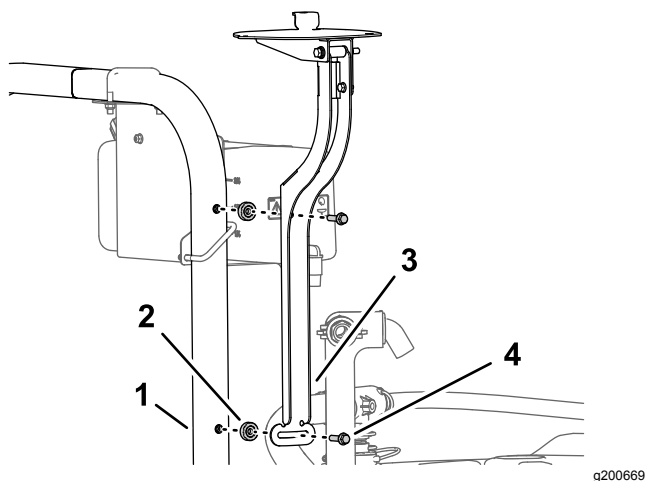


図 154

- | | |
|------------------------|---------------------------------|
| 1. ROPS | 3. 受信機用マウント |
| 2. スペーサ 3/8 x 7/16 インチ | 4. フランジヘッドボルト (3/8 x 1-1/2 インチ) |

2. 受信機プレートを少し抵抗があるが回せる程度にボルトを締め付ける。
3. 受信機プレートを左右水平にする [図 155](#)。

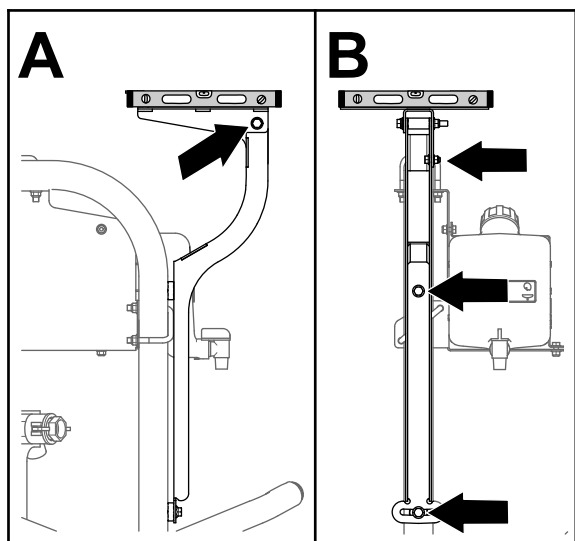


図 155

4. フランジヘッドボルト 5/16 x 3/4 インチとフランジロックナット 5/16 インチを 19.7825.42N·m 2.02.6kg.m = 175225in-lb にトルク締めする。
5. 受信機プレートを前後水平にする [図 155](#)。
6. ボルト 3/8 x 3-1/4 インチとフランジロックナット 3/8 インチを 3745N·m 3.74.6kg.m = 2733ft-lb にトルク締めする。

ナビゲーション受信機を受信機プレートに組み付ける

1. 受信機底部の3本のねじ部を、マウントの3つの穴に合わせる [図 156](#)。

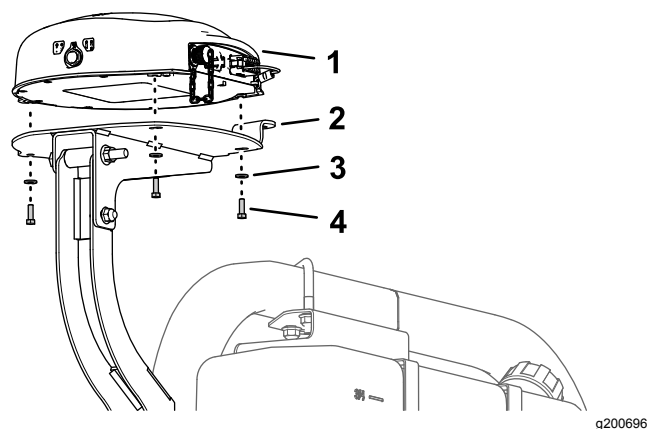


図 156

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. ナビゲーション受信機 | 3. ワッシャ5mm |
| 2. 受けプレート | 4. 六角ヘッドボルト 5 x 16mm |

2. 受信機をマウント荷台に固定する [図 156](#) 六角ヘッドボルト 5 x 16mm 3本と、ワッシャ 5 x 16mm 3枚を使用する。
3. ボルト3本を 576 712N·cm 0.60.7kg.m = 5163in-lb にトルク締めする。

ナビゲーション受信機に RTK アンテナを取り付ける

注 CDMA RTK または GSM RTK 修正モデムを搭載している車両では、RTKを取り付けます。

1. 同軸カップラのねじ部分を下に向けて RTK アンテナ用フランジの開口部に通す [図 157](#)。

注 同軸ケーブルコネクタのねじの平たい部分をフランジの開口部の平たい部分に合わせて入れてください。

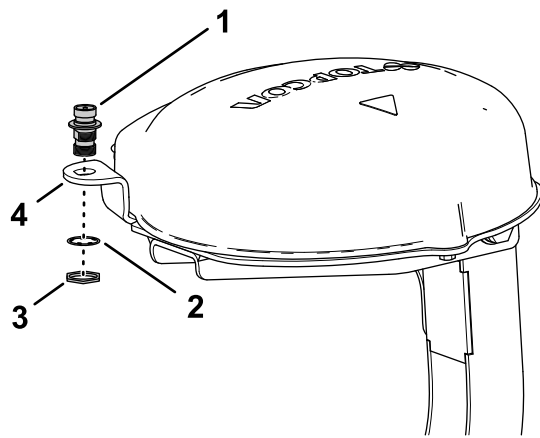


図 157

g200697

1. 同軸カップラ
2. ロックワッシャ
3. ジャムナット
4. RTK アンテナのフランジ受信機プレート

2. ロックワッシャとジャムナットで同軸カップラを受信機プレートのフランジに組み付け、ジャムナットを手締めする 図 157。
3. 同軸カップラの上側フィッティングに RTK アンテナを組み付け、アンテナに付いているナットを手締めする 図 158。

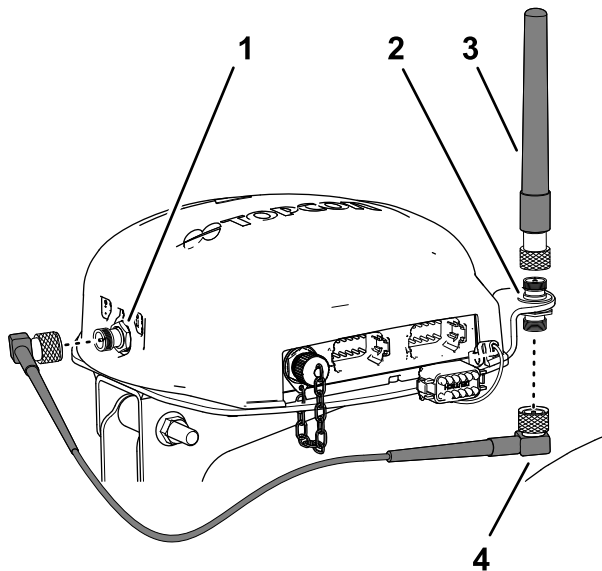


図 158

g200709

1. 同軸コネクタCDMA または GSM 携帯電話用モデム
2. 同軸カップラ
3. RTK アンテナ

4. 同軸カップラの下側フィッティングにアンテナ線を仮留めする 図 158。
5. ケーブルを、ナビゲーション受信機の後ろを通して、CDMA または GSM 携帯電話用モデムの同軸コネクタまで導く 図 158。
6. アンテナ線を、同軸コネクタCDMA または GSM 携帯電話用モデムに接続する 図 158。

7. アンテナ線のナットを手締めする。

30

スプレーヤのモニタを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	モニタマウント
3	フランジヘッドボルト 6 x 12 mm
2	ボルト5/16 インチ
8	フランジロックナット5/16 インチ
1	ボールマウント
4	フランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ
1	モニタX25 ジオリンク高精度散布システムキット、ベース、WAASモデル 41630
1	モニタアームX25 ジオリンク高精度散布システムキット、ベース、WAASモデル 41630

ハンドルを取り外す

1. ハンドル軸上のハンドルの位置にテープでマーキングする 図 159。

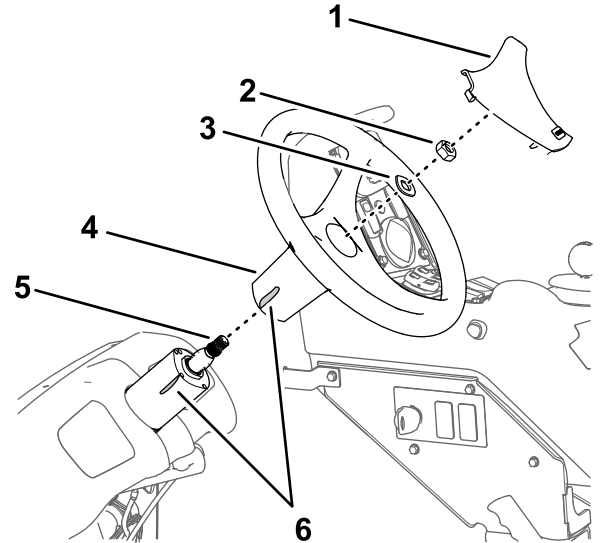


図 159

g201190

1. ハンドルのカバー
2. ナット5/8 インチ
3. ワッシャ5/8 インチ
4. ハンドル
5. シャフトステアリングバルブ
6. テープ

2. ハンドルのカバーを外す 図 159。
3. ハンドルをステアリングバルブに固定しているナット5/8 インチとワッシャ5/8 インチを外してハンドルを取り外す 図 159。

モニタマウントを取り付ける

1. 図 160に示すようにモニタマウントを配置する。

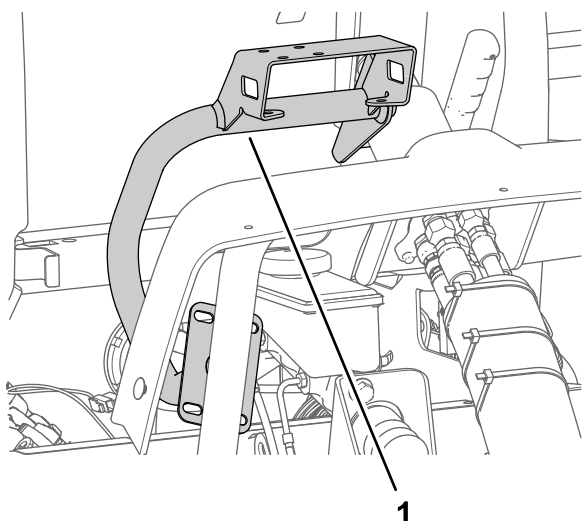


図 160

g201211

1. モニタマウント

2. モニタマウントをステアリングバルブのハウジングに取り付ける図 161 フランジヘッドボルト 6 x 12mm 3本を使用する。

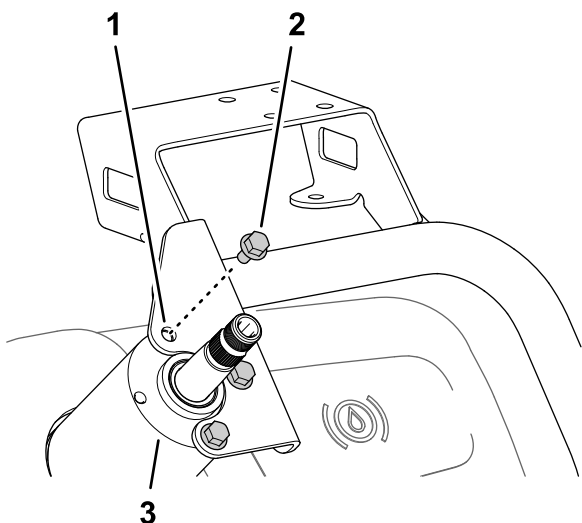


図 161

g201179

1. モニタマウント
3. ハウジングステアリングバルブ

2. フランジヘッドボルト 6 x 12 mm

3. モニタマウントのプレートを車両のシャーシのサポートチューブに取り付ける図 162 Uボルト 2本とフランジロックナット 5/16 インチ 2個を使用する。

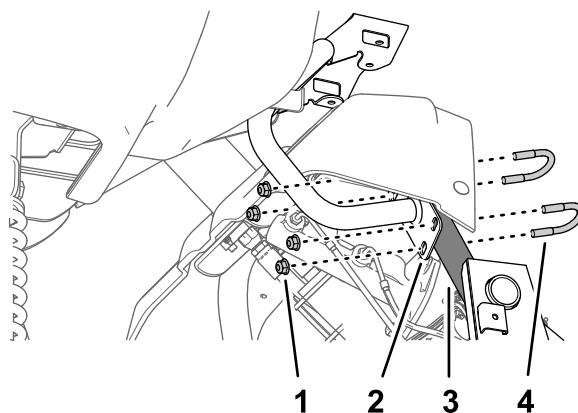


図 162

g201180

1. フランジロックナット 5/16 インチ
2. プレートモニタマウント)
3. サポートチューブ車両のシャーシ
4. ボルト 5/16 インチ

4. ステアリングバルブの所のフランジヘッドボルト 6 x 12mm 3本を 9.72 11.98 N·m (1.01.2 kg.m = 86 106 in-lb にトルク締め、サポートチューブの所のフランジロックナットを 19.78 25.42 N·m 2.02.6 kg.m = 175 225 in-lb にトルク締めする。

ハンドルを取り付ける

1. ハンドルに付けておいたテープマークを、ステアリングバルブのハウジングについているテールマークに合わせる図 163。

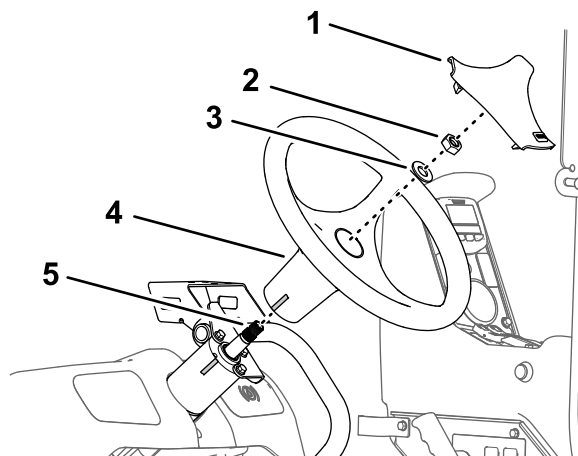


図 163

g201184

1. ハンドルのカバー
2. ナット 5/8 インチ
3. ワッシャー 5/8 インチ
4. ハンドル
5. シャフトステアリングバルブ

2. ハンドルを、ステアリングバルブのシャフトに取り付ける図 163 ステップ 3 ハンドルを取り外す (ページ 69) で取り外したワッシャー 5/8 インチとナット 5/8 インチを使用する。
3. ナットを 206 254 N·m 9.3 11.5 kg.m = 152 188 ft-lb にトルク締めする。

4. ステップ 2 ハンドルを取り外す (ページ 69) で外したカバーを、ハンドルに取り付ける 図 169。

4. オペレータが着席した状態でモニタを見ることができるようモニタの角度を調整し、モニターアームのノブを手締めする 図 165。

散布モニタをマウントに取り付ける

1. ボールマウントをモニタマウント用ブラケットに組み付ける 図 164 フランジヘッドボルト 5/16 x 3/4 インチ 4本とフランジロックナット 5/16 インチ4個を使用する。

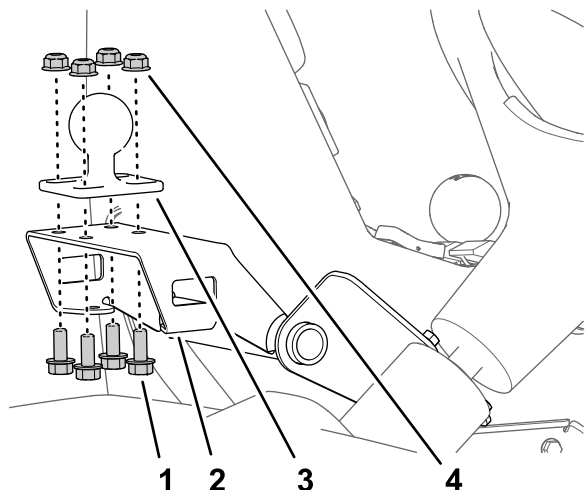


図 164

g201181

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. ブラケットモニタマウント) | 3. ボールマウント |
| 2. フランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ | 4. フランジロックナット5/16 インチ |

2. ボルトとナットを19.7825.42N・m2.02.6kg.m = 175225in-lbにトルク締めする。
3. モニタのボールフィッティングと車体のボールマウントを、モニターアームにセットする 図 165。

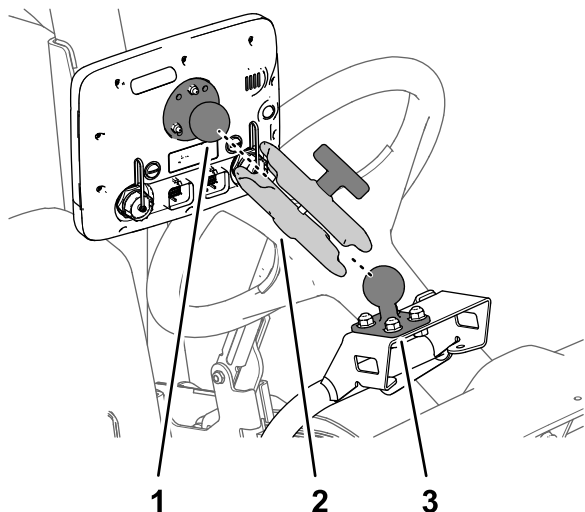


図 165

g201183

- | | |
|------------------|------------|
| 1. ボールフィッティングモニタ | 3. ボールマウント |
| 2. モニターアーム | |

31

スプレーポンプクラッチの配線を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 車両用ワイヤハーネスのうち、SPRAY PUMP COIL というラベルのついた 2 ソケットコネクタを、オルタネータの 2 ピンコネクタから外す 図 166。

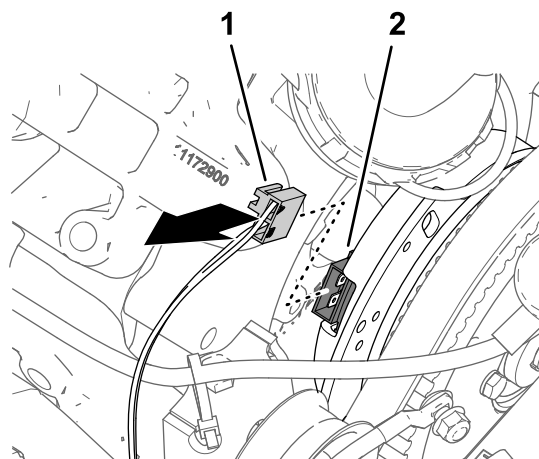


図 166

g198155

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 2 ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス | 2. 2 ピンコネクタオルタネータ |
|-------------------------|-------------------|

2. キットのハーネスの枝線についている 2 ピンコネクタ84cm の長さでPUMP CLUTCHというラベルがついているものを車両のワイヤハーネスのSPRAY PUMP COILというラベルがついている 2 ソケットコネクタに接続する 図 167。

32

散布用の電装機器を取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	バッテリー用ブラケット
1	ボルト5/16 x 1-3/4 インチ
1	ワッシャ5/16 インチ
1	バッテリー (540A)
1	バッテリー・リテナー
1	フランジロックナット5/16 インチ
1	オルタネータ用ブラケット
1	駆動プーリ279mm
4	ボルト1/4 x 2-1/4 インチ
4	ロックワッシャ1/4 インチ
1	オルタネータ60A
1	フランジヘッドボルト 8 x 25 mm
1	フランジヘッドボルト (3/8 x 1-1/2 インチ)
1	V ベルト

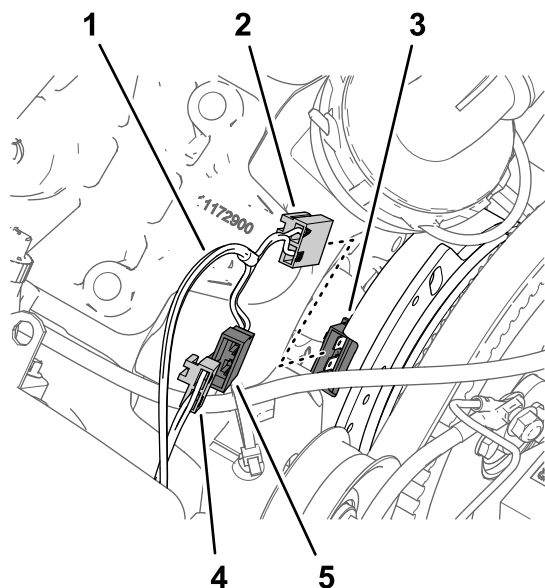


図 167

g198144

1. キットのワイヤハーネスの枝線84cm
2. 2ソケットコネクタキットのワイヤハーネスPUMP CLUTCH
3. 2ピンコネクタオルタネータ
4. 2ソケットコネクタ車両のワイヤハーネスSPRAY PUMP COIL
5. 2ピンコネクタキットのワイヤハーネスPUMP CLUTCH

3. キットのワイヤハーネスのうち、PUMP CLUTCHというラベルのついた2ソケットコネクタを、オルタネータの2ピンコネクタに接続する図 167。
4. ワイヤハーネスの枝線84cmを、エンジンと散布用ポンプに向けて配線する。オルタネータベルトから十分に離して配線すること図 168。

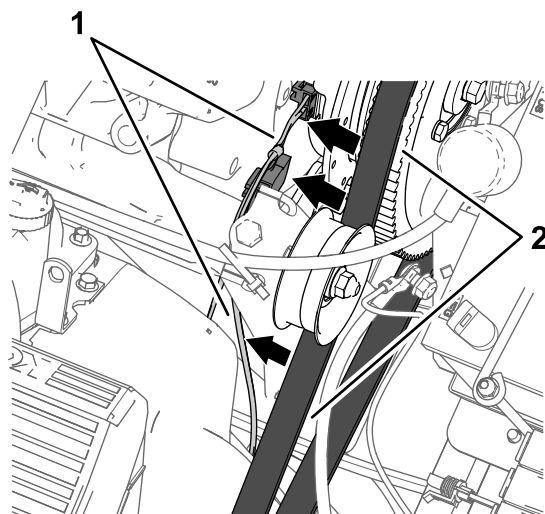


図 168

g198156

1. ワイヤハーネスの枝線84cm
2. オルタネータベルト

バッテリー300Aとバッテリーブラケットを取り外す

1. バッテリーを車体のバッテリーブラケットに固定しているJボルトから、フランジロックナットと押さえ棒を取り外す図 169。

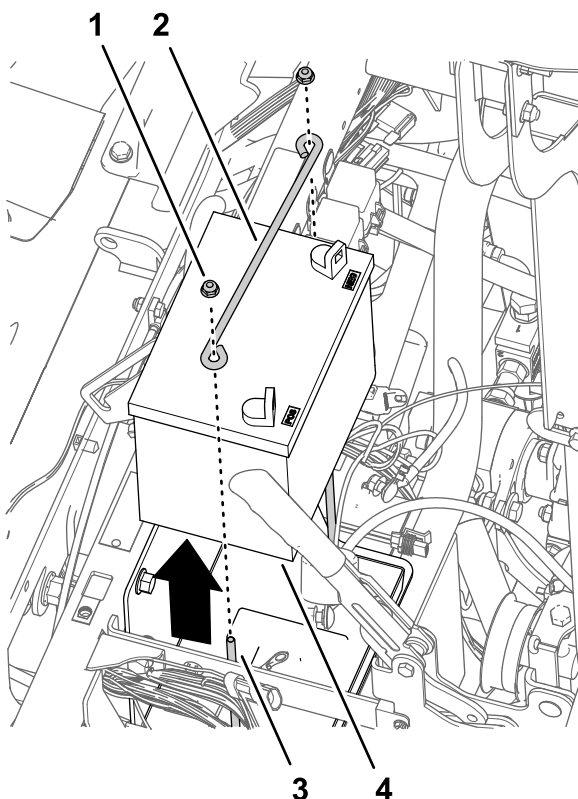


図 169

g201188

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. フランジロックナット1/4 インチ | 3. Jボルト |
| 2. 押さえ棒 | 4. バッテリー (300A) |

2. 機体からバッテリーを外す 図 169。

注 外したフランジナット、押さえ棒、バッテリー300Aは廃棄して構いません。

3. ヒューズブロックをバッテリーブラケットに固定しているボルト10-24 x 3/4 インチとナット 10-24 インチを取り外す 図 170。

注 外したボルト10-24 x 3/4 インチとナット 10-24 インチは **バッテリーブラケットとバッテリー540Aを取り付ける (ページ 74)** で使用します。

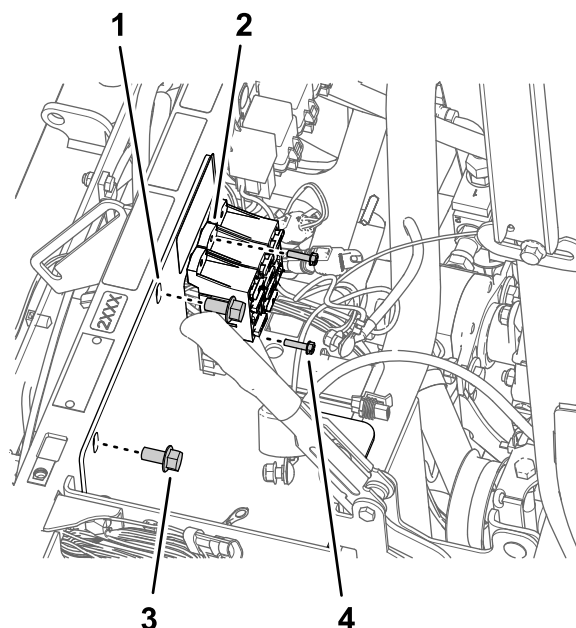


図 170

g201185

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 1. 押さえ棒 | 3. フランジヘッドボルト3/8 x 3/4 インチ |
| 2. ヒューズブロック | 4. ボルト10-24 x 3/4 インチ |

4. バッテリーブラケットを車体のショックサポートチューブに固定しているフランジヘッドボルト3/8 x 3/4 インチ2本を取り外す 図 170。

注 フランジヘッドボルト3/8 x 3/4 インチは **バッテリーブラケットとバッテリー540Aを取り付ける (ページ 74)** で使用します。

5. バッテリーブラケットから、Jボルト2本とバッテリートレイを取り出す 図 171。

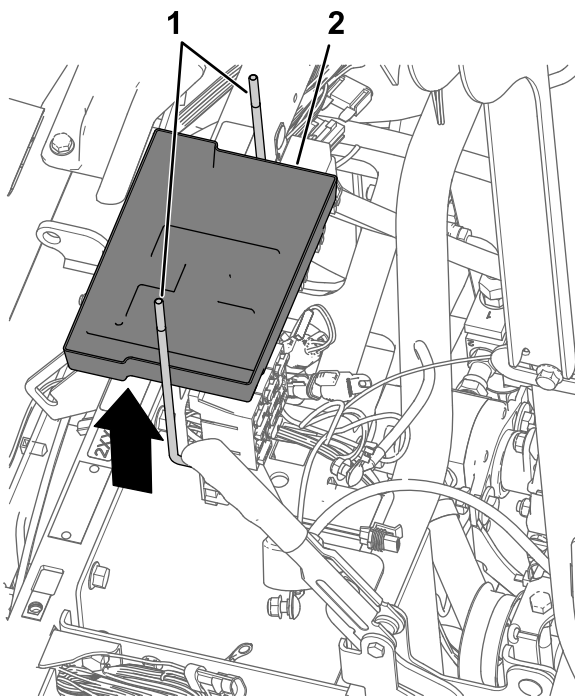


図 171

g201187

1. Jボルト
2. バッテリートレイ

6. 車体からバッテリーブラケットを外す 図 172。

注 Jボルト、バッテリートレイ、バッテリーブラケットは廃棄して構いません。

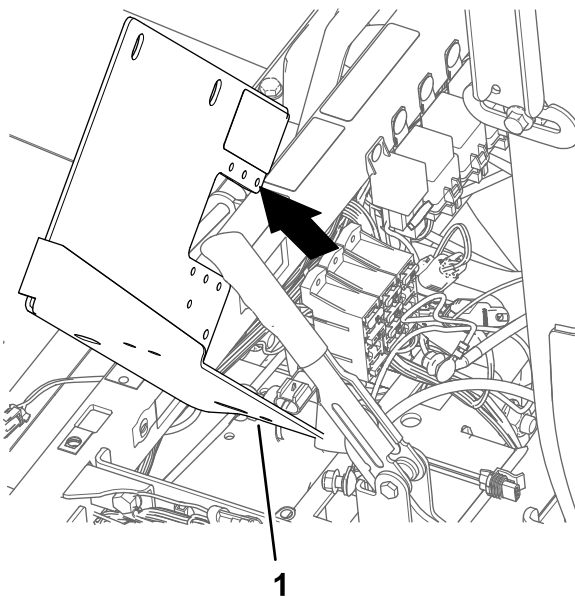


図 172

g201186

1. バッテリー用ブラケット

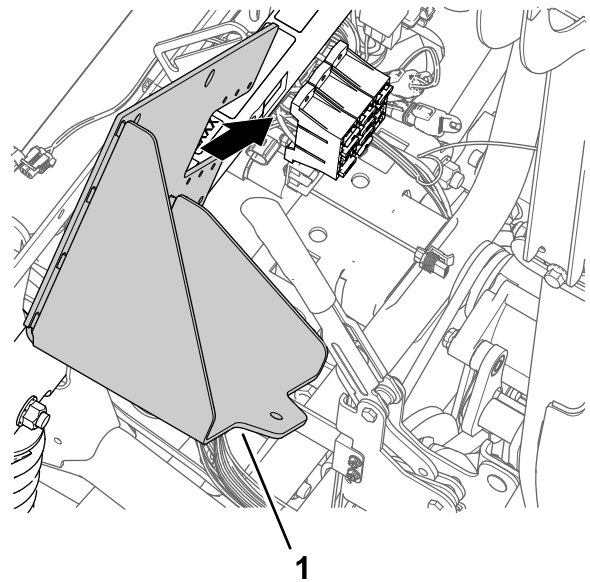


図 173

g201177

1. バッテリー用ブラケット

2. バッテリーブラケットをショックサポートチューブに組み付ける 図 174 ステップ 4 バッテリー300Aとバッテリーブラケットを取り外す (ページ 72) で外したフランジヘッドボルト3/8 x 3/4 インチ2本を使用する。

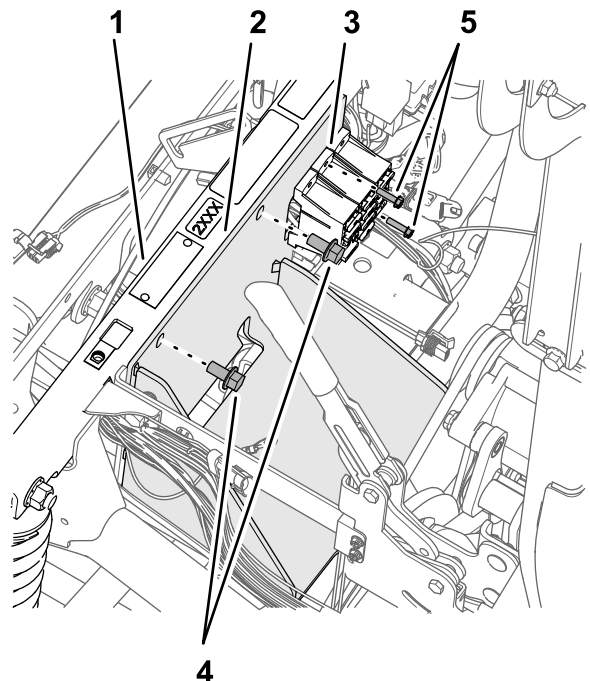


図 174

g201178

1. ショックサポートチューブ
2. バッテリー用ブラケット
3. ヒューズブロック
4. ボルト10-24 x 3/4 インチ
5. フランジヘッドボルト3/8 x 3/4 インチ

3. フランジヘッドボルトを 3745N・m (4.66.2kg.m = 2733ft-lb) にトルク締めする。

バッテリーブラケットとバッテリー540Aを取り付ける

1. 新しいバッテリーブラケットを、車両のショックサポートチューブに合わせる 図 173。

4. ヒューズブロックをバッテリーブラケットに取り付ける
図 174 ステップ 3 バッテリー300Aとバッテリーブ
ラケットを取り外す (ページ 72) で取り外したボルト
10-24 x 3/4 インチとナット10-24を使用する。
5. バッテリーをバッテリーブラケットに固定するボルト
5/16 x 1-3/4 インチワッシャ5/16 インチ、バッテ
リーリテーナ、フランジロックナット5/16 インチを
使用して 図 175 のように取り付ける。

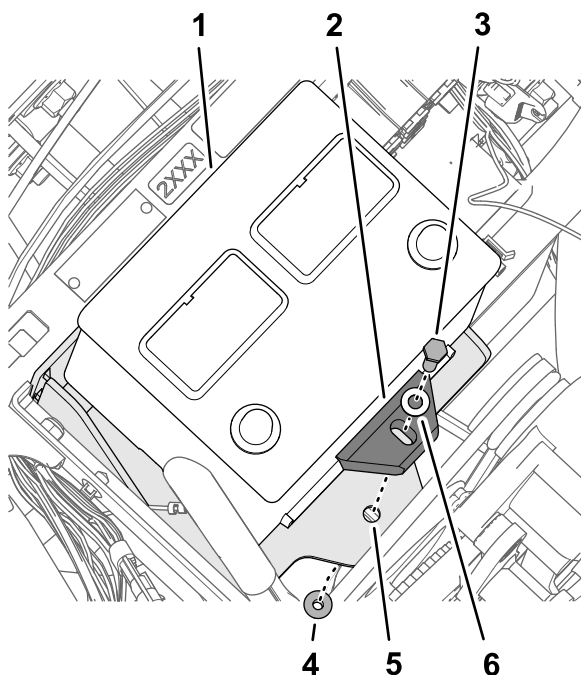


図 175

g201182

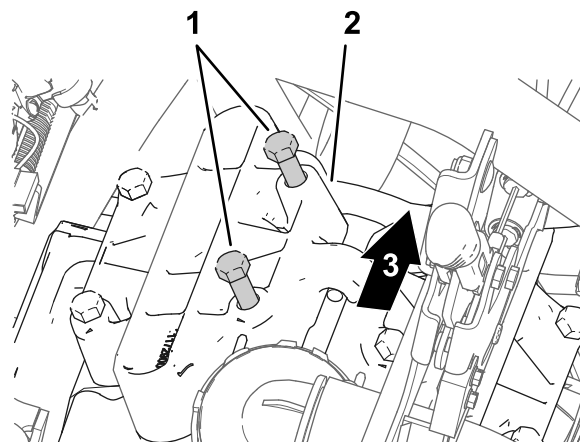
- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. バッテリー (540A) | 4. フランジロックナット5/16 インチ |
| 2. バッテリーリテーナ | 5. バッテリー用ブラケット |
| 3. ボルト5/16 x 1-3/4 インチ | 6. ワッシャ5/16 インチ |

6. ボルトとナットを19.7825.42N・m2.02.6kg.m = 175225in-lbにトルク締めする。

オルタネータ用ブラケットを取り付ける

1. ポンプヘッドの 11 時の位置のところで、ボルト 2 本を 図 176 のようにゆるめて、ボルトの頭とポンプとの間に 710mm の隙間を作る。

注 ボルトをポンプから外す必要はありません。

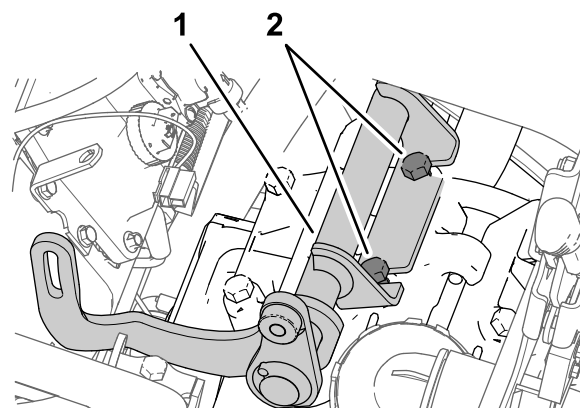


g201308

図 176

- | | |
|-----------------|---------|
| 1. ボルトポンプヘッド | 3. 機体後方 |
| 2. ポンプヘッド11時の位置 | |

2. ステップ1でゆるめたボルトとポンプヘッドとの間に、オルタネータブラケットを配置する 図 177。



g201303

図 177

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. オルタネータ用ブラケット | 2. ボルトポンプヘッド |
|-----------------|--------------|
3. ボルトを6175N・m6.27.6kg.m = 45~55ft-lbにトルク締めする。

駆動プーリを取り付ける

1. アイドラプーリのシャフトのナットをゆるめる 図 178。

注 ベルトに張力がかかっていないことを確認してください。

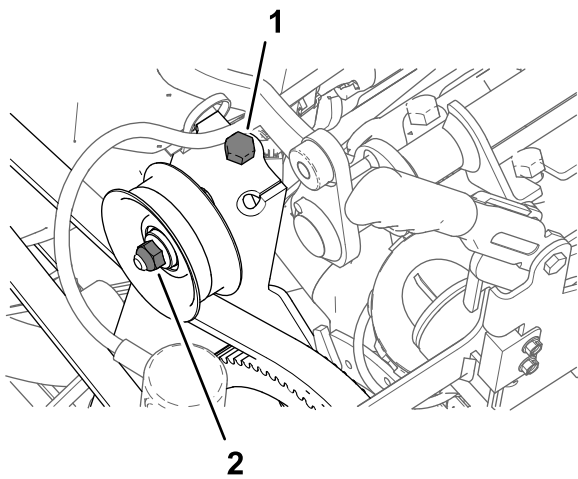


図 178

g201304

1. ベルトテンションボルト車両
2. ナットアイドラプーリのシャフト

2. ベルトテンションボルトをゆるめてポンプベルトの張りを完全になくす 図 178。
3. プーリを散布用ポンプに固定しているボルト1/4 x 1 インチ4本とロックワッシャ1/4 インチ4枚を取り外す 図 179。

重要 プーリは外さないでください。

注 外したボルトとロックワッシャは廃棄して構いません。

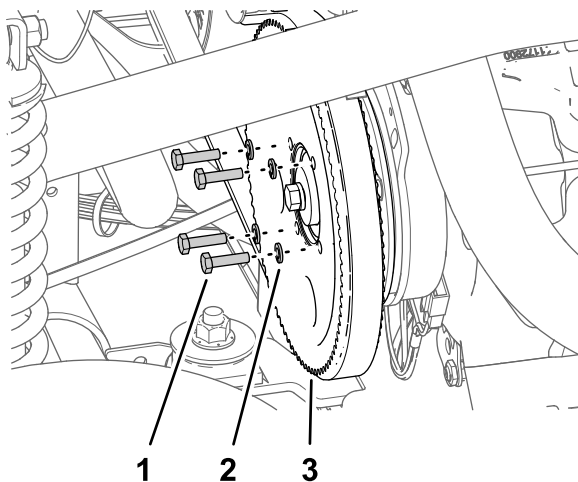


図 179

g201306

1. ボルト1/4 x 1 インチ
2. ロックワッシャ1/4 インチ
3. プーリ液剤ポンプ

4. オルタネータブラケットを用プーリキットの穴を、ポンプ用プーリの穴に合わせる 図 180。

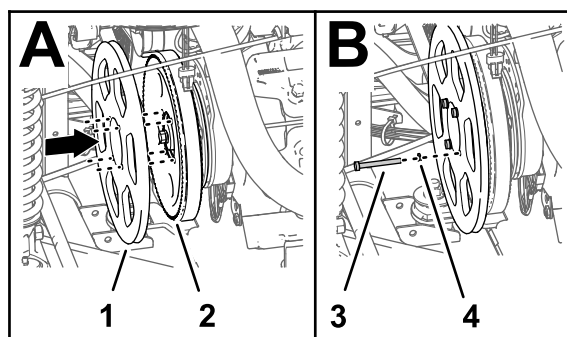


図 180

g201305

1. 駆動プーリ279mm
2. プーリ液剤ポンプ
3. ボルト1/4 x 2-1/4 インチ
4. ロックワッシャ1/4 インチ

5. オルタネータブラケットを用プーリをポンプ用プーリに組み付けるボルト 1/4 x 2-1/4 インチ4本とロックワッシャ1/4 インチ4個を使用する。
6. ボルトを 10171243N・m1.01.4 kg.m = 90110 in-lbにトルク締めする。
7. ベルトテンションボルトを回してベルトに張りを出すエンジンスプロケットとポンプスプロケットとの間を 4.5kg の力で押したときに 9.5mm のたわみが出るように調整する。

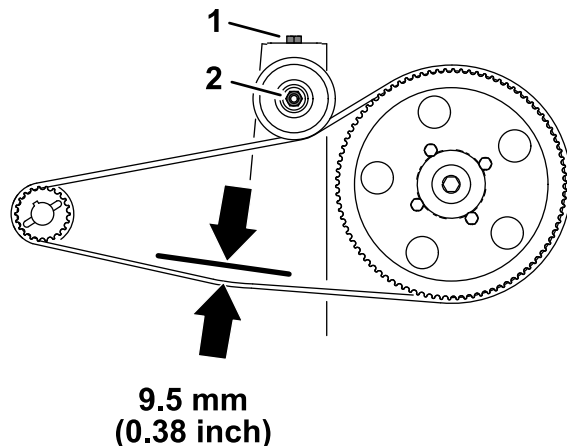


図 181

g201360

1. ベルトテンションボルト車両
2. ナットアイドラプーリのシャフト

8. アイドラプーリのシャフトのナットを 3744N・m 5.36.6kg.m=2733ft-lbにトルク締めする。

オルタネータを取り付ける

1. オルタネータ60Aを、オルタネータブラケットのねじ山付きボスに取り付ける 図 182 フランジヘッドボルト3/8 x 1-1/2 インチを使用する。

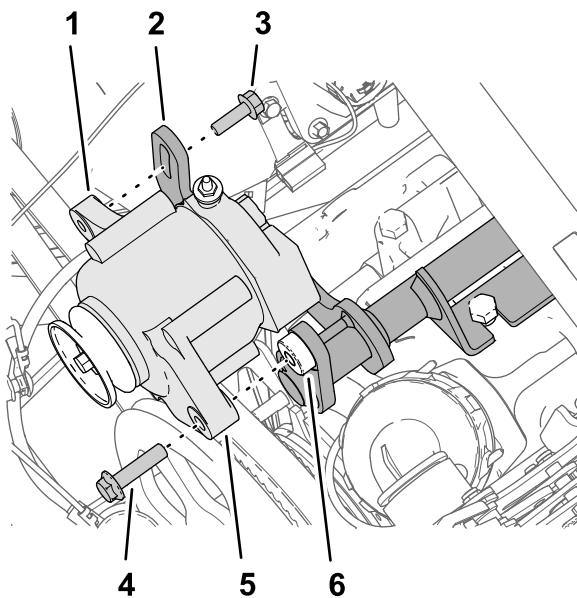


図 182

g201413

1. ねじ山付きフランジ8mm60A オルタネータ
2. スロット付きフランジオルタネータ用ブラケット
3. フランジヘッドボルト 8 x 25 mm
4. フランジヘッドボルト (3/8 x 1-1/2 インチ)
5. フランジ直径10mm の穴60A オルタネータ
6. ねじ山付きボス3/8-16オルタネータ用ブラケット

2. オルタネータのねじ山付きフランジを、オルタネータブラケットスロット付きフランジに取り付ける 図 182 フランジヘッドボルト 8 x 25mm を使用する。
3. 駆動 プーリとオルタネータのプーリにベルトを掛ける 図 183。

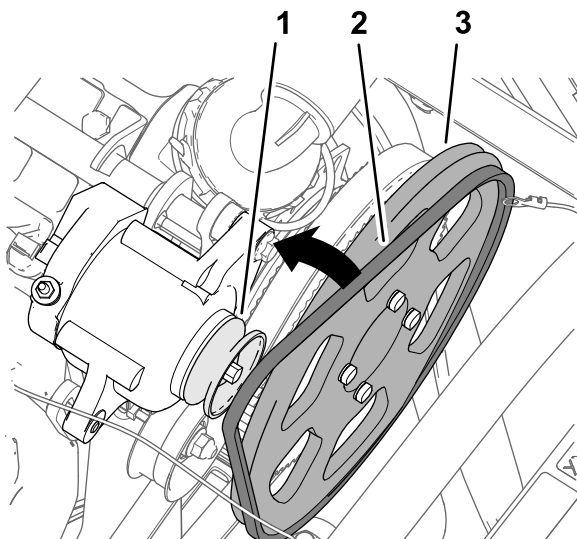


図 183

g201412

1. プーリ60A オルタネータ
2. V ベルト
3. 駆動プーリ279mm

4. オルタネータ 図 184 をずらしてベルトに張りを出す オルタネータのプーリと駆動プーリ279mm との

間を 4.5kg の力で押したときに 9.5mm のたわみが出るように調整する。

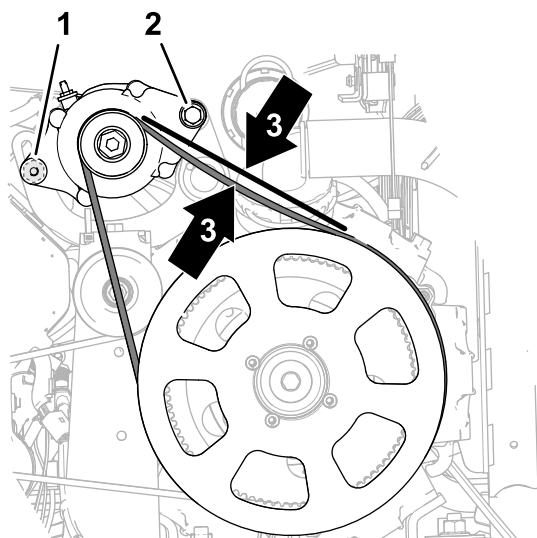


図 184

g201701

1. フランジヘッドボルト 8 x 25 mm
2. フランジヘッドボルト (3/8 x 1-1/2 インチ)
3. ベルトのたわみ 9.5mm

5. フランジヘッドボルト 8 x 25mm を 23 29N・m 2.42.9kg.m = 1721ft-lb にトルク締めする。
6. フランジヘッドボルト 3/8 x 1-1/2 インチを 3745N・m 3.74.6kg.m = 2733ft-lb にトルク締めする。

33

キットのワイヤハーネスをシートベースに接続する

この作業に必要なパーツ

1	リレー
1	プッシュインファスナー
1	ヒューズ (15 A)
1	ヒューズ (50 A)

オルタネータ50Aを接続する

1. キットのワイヤハーネスのうち、57cm のピンク線の端についている 2 ソケットコネクタ 図 185 を、オルタネータ50Aの 2 ピンコネクタに接続する。

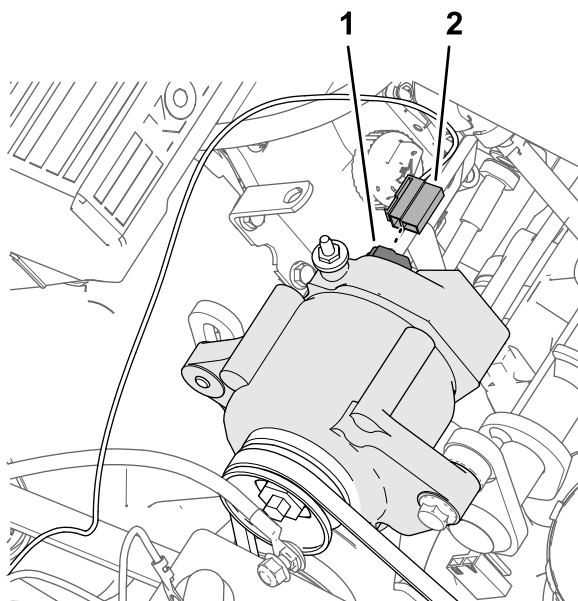


図 185

g202176

1. 2ピンコネクタ50A オルタネータ
2. 2ソケットコネクタ検知ワイヤ、57cm

2. ピンクの検知線を、オルタネータベルトから十分に離して、ケーブルタイで固定する。
3. オルタネータの端子 図 186 からナットを外す。

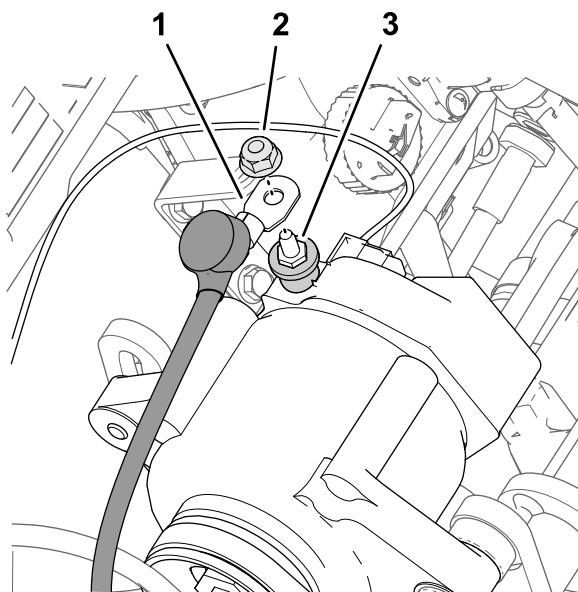


図 186

g202181

1. オルタネータのワイヤ赤、6ゲージ
2. ナット
3. ターミナル50A オルタネータ

4. オルタネータのワイヤ赤、6ゲージを、オルタネータ50 Aの端子に、ナットで接続する 図 186。
5. オルタネータの赤線を、バッテリー端子に導くプーリやオルタネータから十分に離して配設すること。
6. ナットを4757 N・m9.311.5 kg・m=3442 ft-lbにトルク締めする。

7. オルタネータの端子 図 186 に絶縁カバーを取り付ける。

ASC 10 動作リレーを接続する

1. リレーの 5 ピンコネクタを、5 ソケットコネクタ 図 187 キットのワイヤハーネスのうちASC 10 ENABLE RELAYというラベルのついているものに接続する。

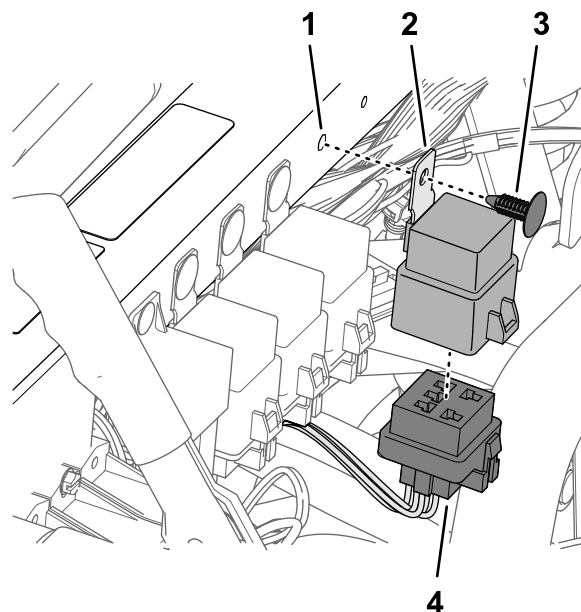


図 187

g202182

1. 穴ショックサポートチューブ
2. リレー
3. 押し込みファスナー
4. 5ソケットコネクタASC 10 ENABLE RELAY

2. リレーの取り付けタブについている穴を、ショックサポートチューブの穴に合わせ、押し込みファスナーを使ってリレーをチューブに固定する 図 187。

ヒューズブロックを接続する

1. マルチメータを、導通試験用にセットする。
2. 車両のヒューズブロック 3 で、ヒューズソケット 2 のコンタクト 4 右列に 図 188 のようにマルチメータの検針を差し込む。

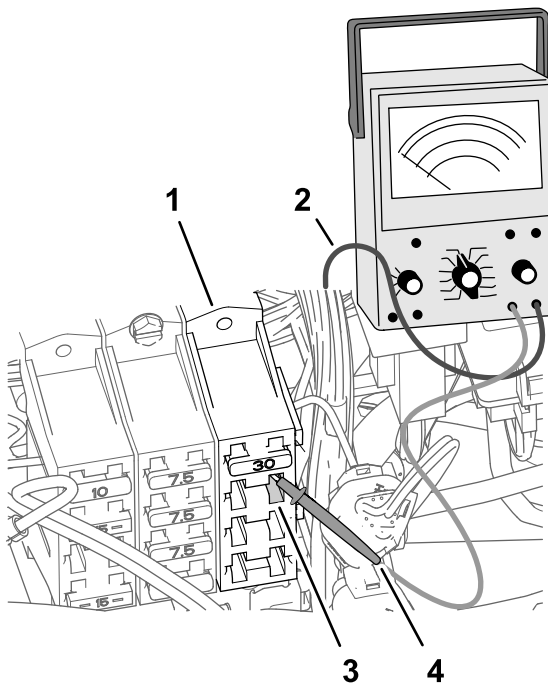


図 188

g202178

1. ヒューズブロック 3車両
 2. マルチメータのリード線
 3. ヒューズソケット 2 のコンタクト 4 右列
 4. マルチメータの検針
-
3. ヒューズブロックの表側で、マルチメータのもう一本の検針を使って、ソケット 2 のコンタクト 4 に導通している赤い 10 ゲージワイヤのブレードコネクタを探し出す。

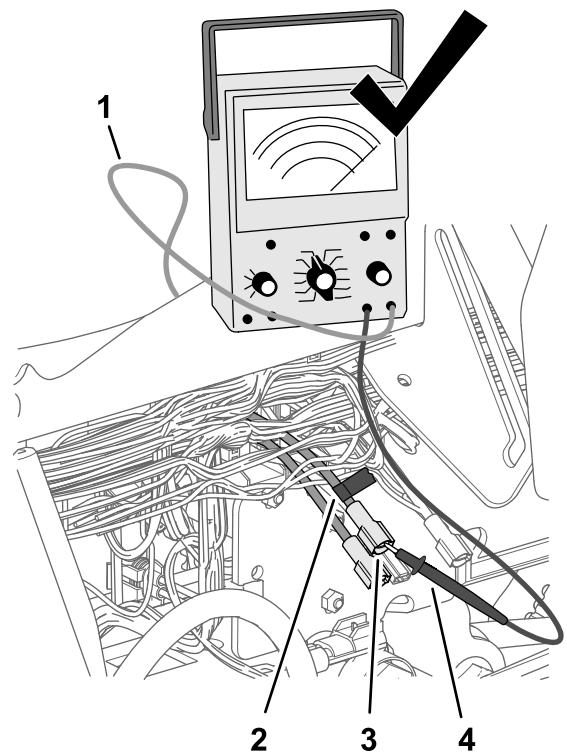


図 189

g202179

1. マルチメータのリード線
 2. テープ
 3. ブレードコネクタ赤い 10 ゲージワイヤ
 4. マルチメータの検針
-
4. ステップ 3 図 189 で探し出したコネクタとその導線に、テープでマーキングする。
 5. ステップ 4 でマーキングしたブレードコネクタを、キットのワイヤハーネスの 51mm ピンク線のソケットコネクタに接続する 図 190。

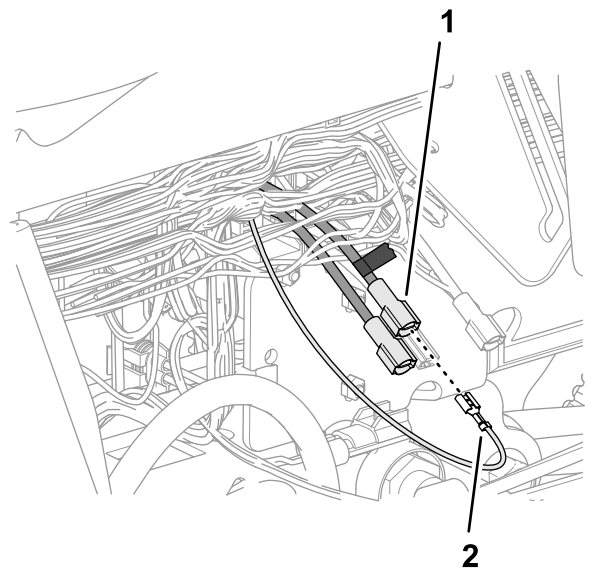
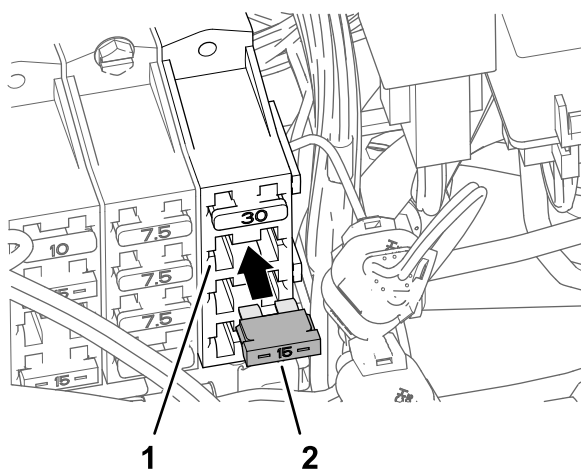


図 190

g202177

1. マーキングしたブレードコネクタ赤い 10 ゲージワイヤ
2. ソケットコネクタピンクのワイヤ、51mm

6. ヒューズブロック 3 で、ヒューズソケット 2 に、ヒューズ 15A を挿入して一番奥まで押し込む 図 191。

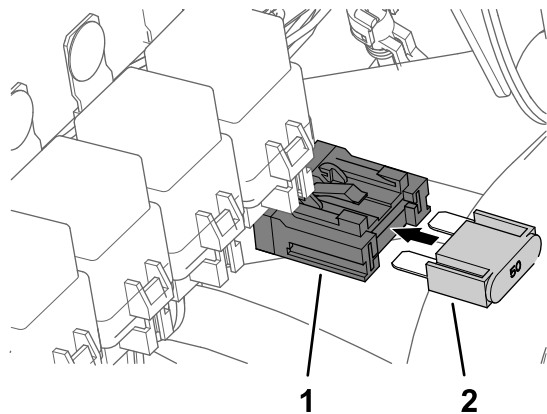


g202180

図 191

1. ヒューズソケット 2 ヒューズ
ブロック 3 2. ヒューズ (15 A)

7. インラインヒューズブロックに、ヒューズ 50A を挿入して一番奥まで押し込む 図 192。



g202183

図 192

1. インラインヒューズブロック 2. ヒューズ (50 A)

34

ナビゲーション関係のワイヤハーネスを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	データ用ハーネスナビゲーションシステムジオリンク高精度散布システムキットモデル 41630
1	バッテリー用ハーネスナビゲーションシステムジオリンク高精度散布システムキットモデル 41630
8	ケーブルタイ
1	クイックコネクタクランプ赤いハンドル
1	クイックコネクタクランプ黒いハンドル

ナビデータ用ハーネスと電装用ハーネスを相互に接続する

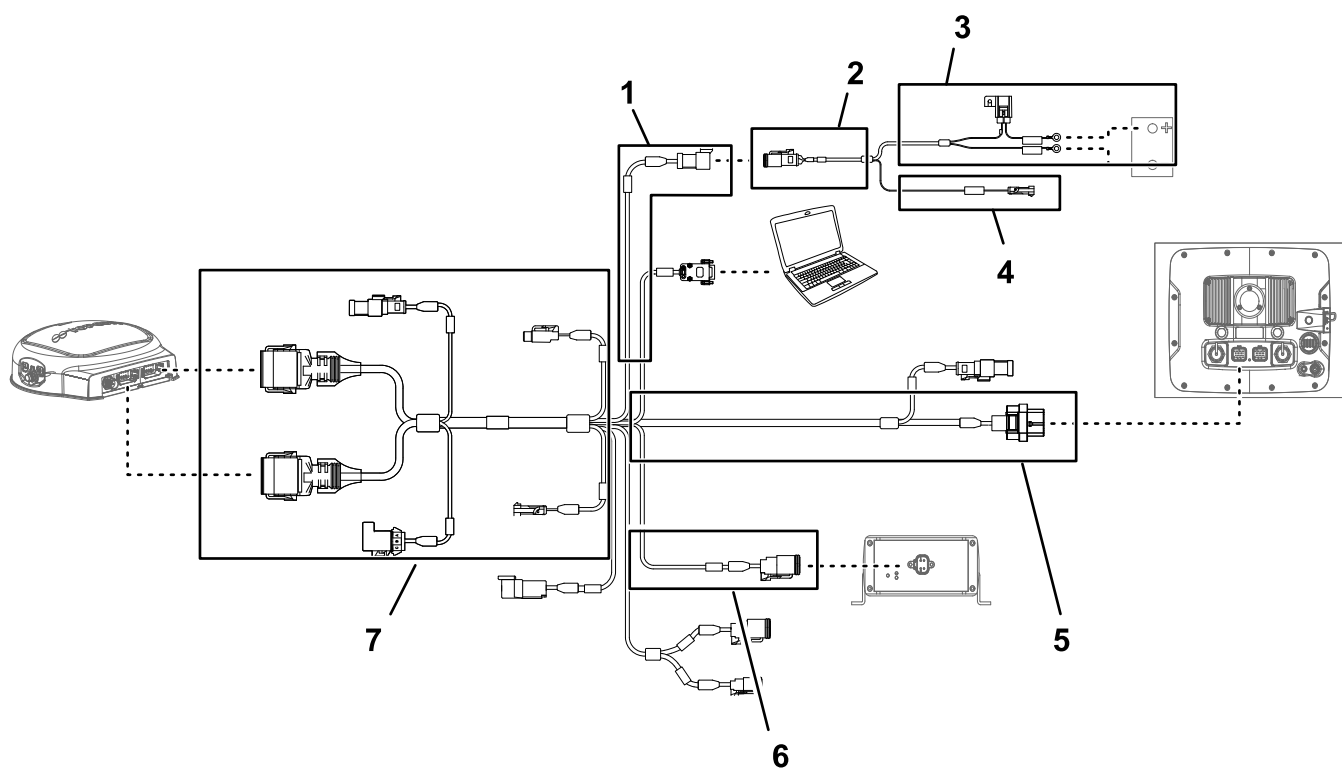


図 193

g203663

1. データ用ハーネスの 100cm の枝線電源
2. 100cm のバッテリーハーネス枝線
3. 220cm のバッテリーハーネス枝線
4. 100cm のバッテリーハーネス枝線スイッチ付き電源
5. データ用ハーネスの 390cm の枝線ナビゲーション受信機
6. データ用ハーネスの 13cm の枝線キットのハーネスのインタフェース用
7. データ用ハーネスの 220cm の枝線スプレーヤモニタ

重要 データ用ハーネスには使用しないコネクタも含まれています。使用しないコネクタにはキャップやプラグを確実に嵌めておいてください。

ナビ用電装ハーネスの3ソケットコネクタ電源インタフェースを、データ用ハーネスの3ピンコネクタ電源インタフェースに接続する [図 193](#)。

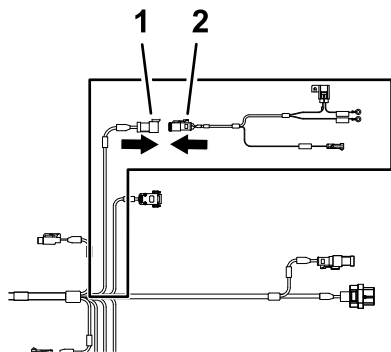


図 194

g202247

1. 3ピンコネクタデータ用ハーネス SYSTEM POWER SEPARATION
2. 3ソケットコネクタバッテリー用ハーネス電源インタフェース

データ用ケーブルをナビゲーション受信機に接続する

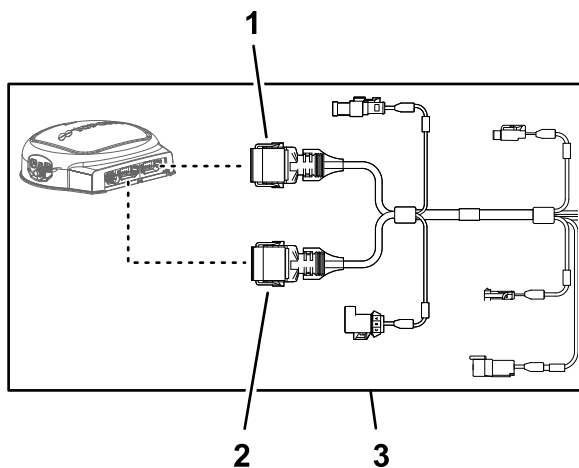


図 195

g203668

1. 12ソケットコネクタ 灰色 データ用ハーネス ナビゲーション受信機
2. 12ソケットコネクタ 黒色 データ用ハーネスナビゲーション受信機
3. データ用ハーネスの 390cm の枝線ナビゲーション受信機

1. データハーネスの 390cm の枝線を、ROPS の左側の縦柱の裏側に沿って配設する。

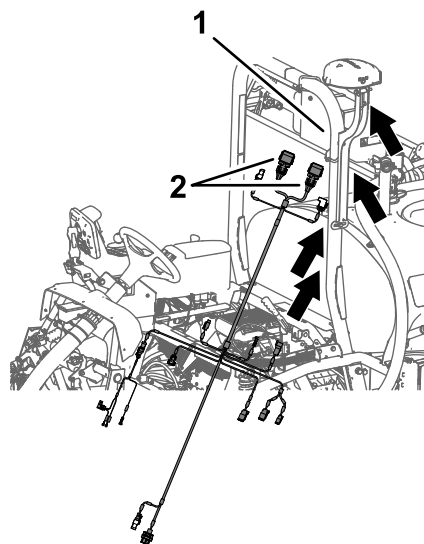


図 196

g202268

1. ROPS の左側の縦柱
2. 12ソケットコネクタデータ用ハーネスの 390cm 枝線

2. データ用ハーネスの 390cm の枝線を、ROPS 右側に沿って配設し、12 ソケットコネクタ 灰色 と 12 ソケットコネクタ 黒色 をナビゲーション受信機まで導く [図 197](#)。

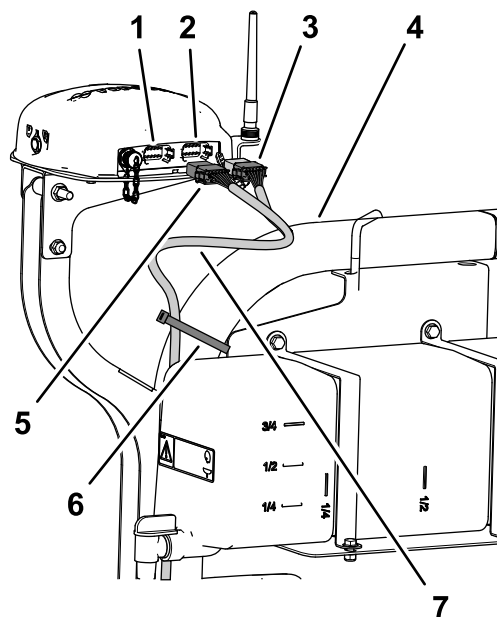


図 197

g202280

1. 12ピンコネクタ 左側灰色ナビゲーション受信機
2. 12ピンコネクタ 右側黒色ナビゲーション受信機
3. 12ソケットコネクタ 黒色 データ用ハーネス
4. ROPS バー
5. 12ソケットコネクタ 灰/黒 データ用ハーネス
6. ケーブルタイ
7. 390cm の枝線データ用ハーネス

3. 灰色と黒色の 12 ソケットコネクタの長い方の側にある2本のキーを、ナビゲーション受信機の左側

灰色 12 ピンコネクタの底部の水平面にある2本のスロットに合わせて接続する図 198。

注 ワイヤハーネスのコネクタに付いている整列キーは、特殊な形状をしており、ナビゲーション受信機のピンコネクタ以外には形状が一致しませんから、注意してください。

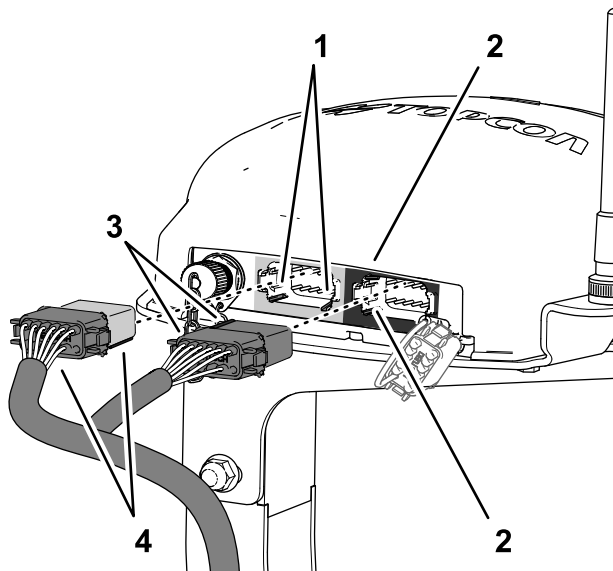


図 198

g202413

- | | |
|--|---|
| 1. キースロット底部水平壁左
灰色 12 ピンコネクタ、ナビ
ゲーション受信機 | 3. 整列キー短い黒色 12 ソ
ケットコネクタ、データ用
ハーネス |
| 2. キースロット左側垂直壁右
黒色 12 ピンコネクタ、ナビ
ゲーション受信機 | 4. 整列キー長い灰/黒 12 ソ
ケットコネクタ、データ用
ハーネス |

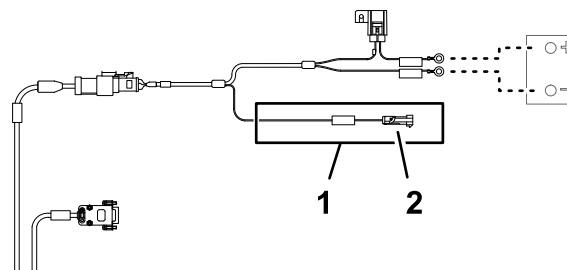
- データ用ハーネスの灰色と黒色の12 ソケットコネクタを、ナビゲーション受信機の左側灰色12ピンコネクタに接続する。カチッと音がしてロックするまで押し込むこと図 198。
- データ用ハーネスの黒色の 12 ソケットコネクタの短い方の側にある2本の整列キーを、ナビゲーション受信機の右側黒色 12 ピンコネクタにある2本のスロットに合わせて接続する図 198。

注 ワイヤハーネスのコネクタに付いている整列キーは、特殊な形状をしており、ナビゲーション受信機のピンコネクタ以外には形状が一致しませんから、注意してください。

- データ用ハーネスの灰色と黒色の12 ソケットコネクタを、ナビゲーション受信機の左側灰色12ピンコネクタに接続する。カチッと音がしてロックするまで確実に押し込むこと図 198。
- 図 197 のように、ケーブルタイ2本を使って、データ用ハーネスの 390cm 枝線を右側 ROPS チューブに固定する。

注 12 ソケットとケーブルタイとの間のケーブルに少したるみを持たせてください。

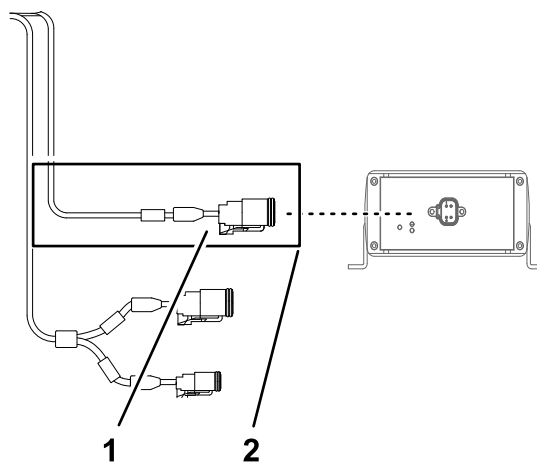
車体の右側にナビゲーション用ハーネスを配設ける



g203670

図 199

- 1 ピンコネクタ相互接続枝線***重要*** この線は、スイッチ付き 12V 電源にのみ接続する
- 100cm のバッテリーハーネス枝線スイッチ付き電源



g203666

図 200

- 4 ピンコネクタ CAN 2/ASC10 BUS
- データ用ハーネスの 13cm の枝線キットのハーネスのインタフェース用

- このデータハーネスとバッテリーハーネスを、ROPS の左側の柱に沿っておろし、座席サポートのクロス部材へ配設する図 201。

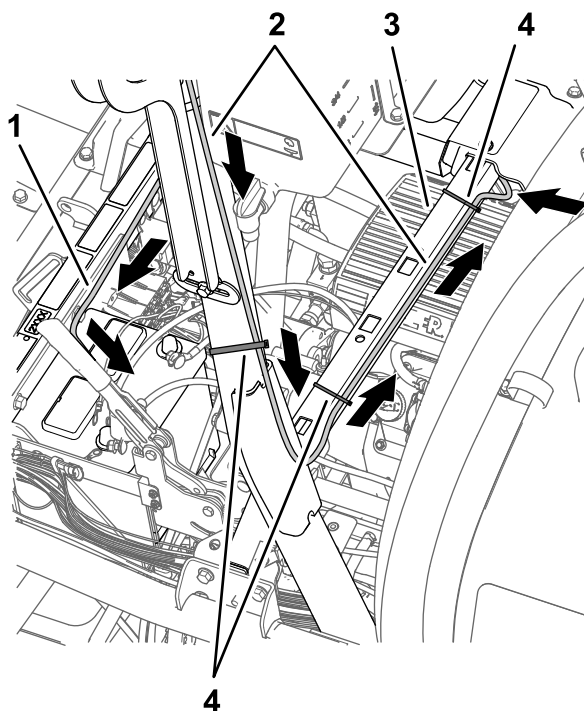


図 201

1. バッテリーハーネスの 220cm の枝線100cm の相互接続枝線スイッチ付き電線と一緒に配設しないこと
 2. データ用ハーネスの 390cm の枝線ナビゲーション受信機
 3. クロス部材座席サポート
 4. ケーブルタイ
-
2. 図 201 に示すように、ナビゲーション受信機用の 390 cm のデータハーネスを、ROPS に固定する。
 3. バッテリーハーネスのうち、***IMPORTANT*** ONLY CONNECT THIS WIRE TO SWITCHED 12V POWER SOURCEというラベルの付いた 1 ソケットコネクタを、キットのワイヤハーネスの 66cm 枝線図 202 SW'D PWR FOR GEN 2 TOPCONというラベルの 1 ソケットコネクタに接続する。

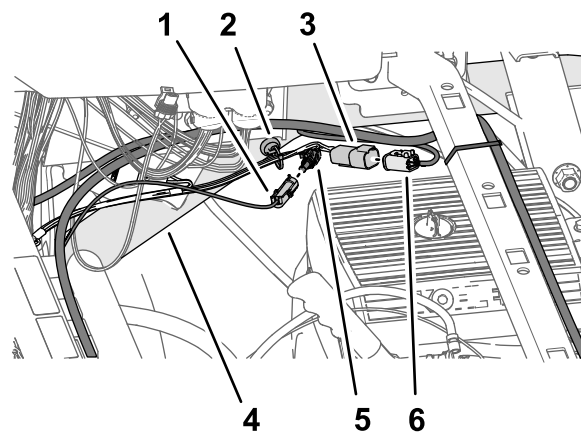


図 202

1. 1 ピンコネクタバッテリーハーネスの枝線
IMPORTANT ONLY CONNECT THIS WIRE TO SWITCHED 12V POWER SOURCE
 2. 磁石式のハーネスアンカー
 3. 4 ピンコネクタキットのハーネスの 61cm 枝線ASC 10 PWR & CAN FROM X30
 4. 右上フレームチューブ
 5. 1 ソケットコネクタハーネスの 66cm 枝線SW'D PWR FOR GEN 2 TOPCON
 6. 4 ソケットコネクタデータハーネスの枝線CAN 2/ASC10 BUS
-
4. キットのワイヤハーネスの 66cm の枝線についている 4 ピンコネクタASC 10 PWR & CAN FROM X30 というラベルがついているものを、データハーネスの、CAN 2/ASC10 BUSというラベルがついている 4 ソケットコネクタに接続する図 202。
 5. データハーネスとバッテリーハーネスを、座席サポートのクロス部材を横切って配線し、データハーネスの 390cm の枝線をクロス部材にケーブルタイ2本で固定する図 201 と 図 203。

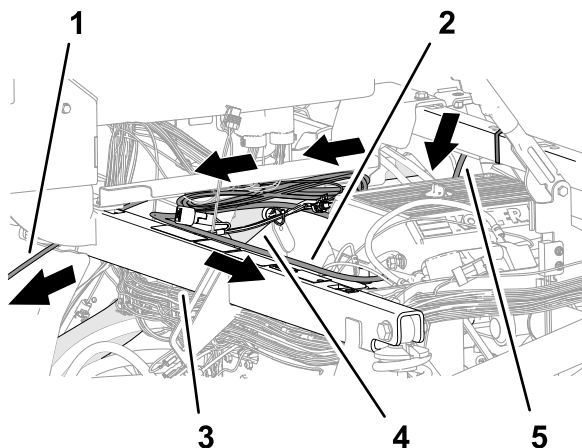


図 203

g202520

1. データ用ハーネスの 220cm の枝線スプレーヤモニタ
2. 220cm のバッテリーハーネス枝線
3. ショックサポートチューブ
4. 右上フレームチューブ
5. データ用ハーネスの 390cm の枝線ナビゲーション受信機

6. バッテリーハーネスの 220cm の枝線を、右上フレームチューブに沿って配設する図 203。
7. バッテリーハーネスの 220cm の枝線を、ソケットサポートチューブを横切ってバッテリーに向けて配設する図 203。

注 相互接続用の 100cm の枝線スイッチ付き電源は、そのままの位置において置いてください。

8. データ用ハーネスの 220cm の枝線 26ソケットのついている枝線を、コントローラコンソールの下を通して配設し、ダッシュパネルに向かって前方へ導く図 203。

データ用ケーブルをスプレーヤのモニタに接続する

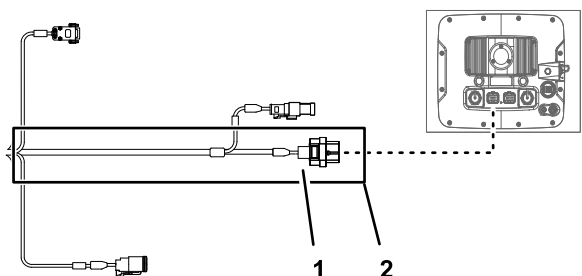


図 204

g203669

1. 26ソケットコネクタデータ用ハーネススプレーヤモニタ
2. データ用ハーネスの 220cm の枝線スプレーヤモニタ

1. データ用ハーネスの 220 cm の枝線 26ソケットのついている枝線を、ダッシュパネルに導く図 205。

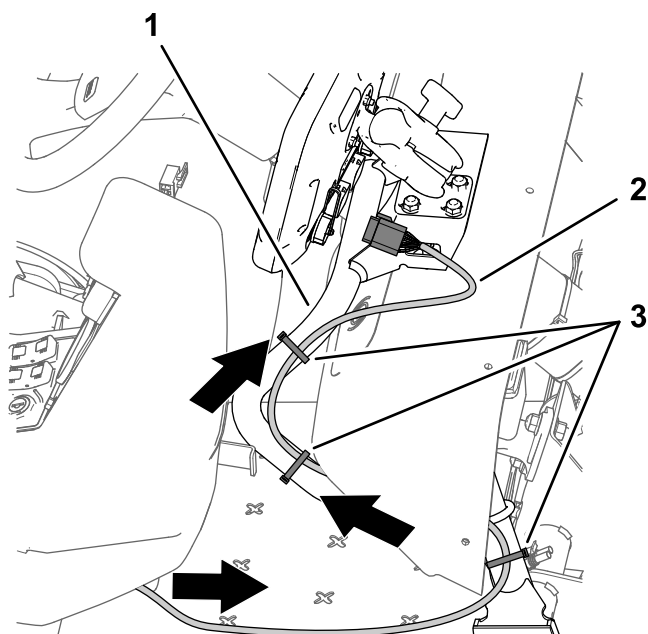


図 205

g202451

1. サポートチューブモニタ
2. 220cm の枝線データ用ハーネス
3. ケーブルタイ

2. データ用ハーネスの 220cm の枝線を、モニタ用のサポートチューブに沿って配設する図 205。
3. データ用ハーネスの 26 ソケットコネクタを、スプレーヤのモニタディスプレイの 26 ピンコネクタに接続する。コネクタ同士をしっかりと押し込んで確実にロックさせること図 206。

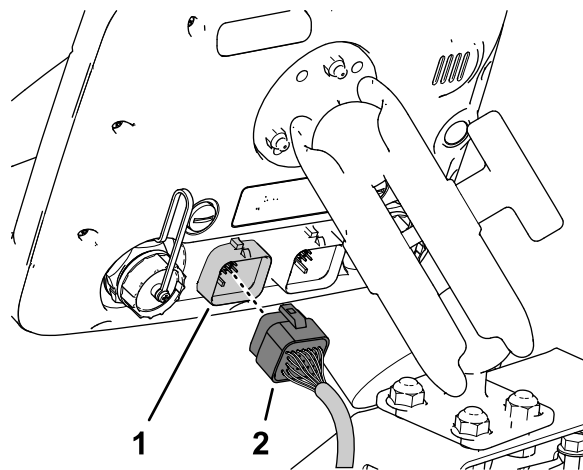


図 206

g202452

1. 26 ピンコネクタ散布モニタ
2. 26ソケットコネクタデータ用ハーネススプレーヤモニタ

4. データ用ハーネスの 220cm の枝線に十分なたるみがあること、モニタの位置調整ができるだけの余裕があることを確認し、図 205 のようにハーネスをサポートチューブにケーブルタイで固定する。

クイックディスコネクトクランプをバッテリーに取り付ける

1. 赤色と黒色のハンドル式クイックコネクトクランプから、六角ナットとワッシャを外す [図 207](#)。

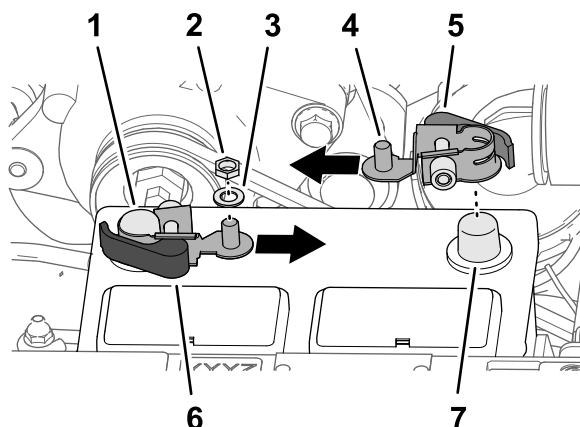


図 207

g202692

1. マイナス端子
2. 六角ナット 1/4 インチクイックコネクトクランプ
3. ワッシャ 1/4 インチクイックコネクトクランプ
4. ねじ山付きのポスト
5. 赤色ラッチハンドルクイックコネクトクランプ
6. 黒色ラッチハンドルクイックコネクトクランプ
7. プラス端子

2. 黒色ハンドル付きクイックコネクトクランプのラッチハンドルを開ける [図 208](#)。

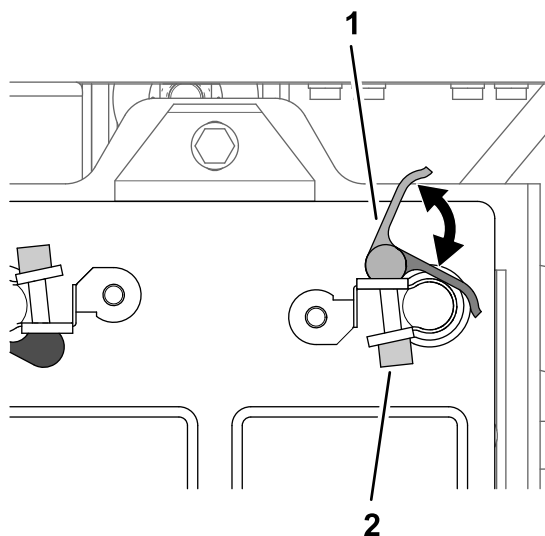


図 208

g202703

1. ハンドルクイックコネクトクランプ
2. 網模様付きナット

3. クイックコネクトクランプを、バッテリーのマイナス端子に接続する [図 207](#) のように、クランプのねじ山付きポストをバッテリーの内側に向ける
4. クイックコネクトクランプのラッチハンドルを閉じる [図 208](#)。

注 クイックコネクトクランプの強さを調整する必要がある場合には、ハンドルを開き、網目模様付きナットを回して締め付け力を増減してください。

5. 赤色ハンドル付きクイックコネクトクランプにも、ステップ [24](#) の作業を行う。

バッテリーを接続する

⚠ 警告

配線から出た火花で水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

バッテリーケーブルの接続ルートが不適切であるとケーブルがショートを起こして火花が発生する。

- ・ ケーブルを取り外す時は、必ずマイナス黒ケーブルから取り外し、次にプラス赤ケーブルを外す。
- ・ ケーブルを取り付ける時は、必ずプラス赤ケーブルから取り付け、それからマイナス黒ケーブルを取り付ける。

バッテリーの端子に金属製品や車体の金属部分が触れるとショートを起こして火花が発生する。

- ・ バッテリーの取り外しや取り付けを行うときには、端子と金属部を接触させないように注意する。
- ・ バッテリーの端子と金属を接触させない。
- ・ バッテリー押さえは必ず取り付ける。

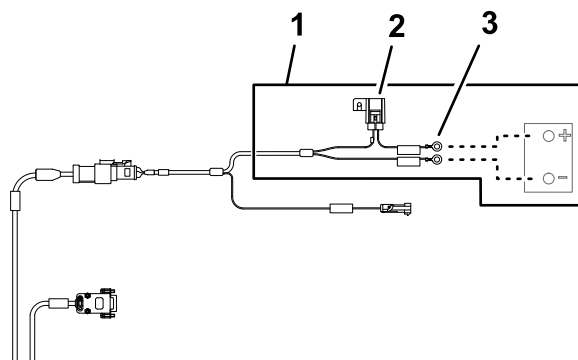


図 209

g203667

1. 220cm のバッテリーハーネ
2. 10A ヒューズバッテリー
3. リング端子バッテリース枝線

1. バッテリーのプラスケーブルに、[図 210](#) のように絶縁カバーを取り付ける。

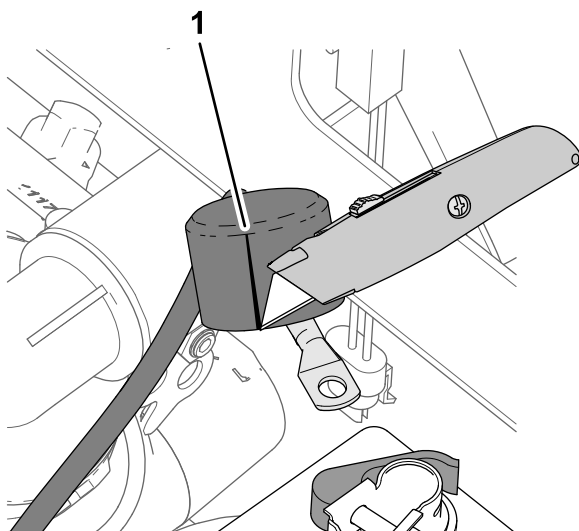


図 210

1. スリット絶縁カバーバッテリーからスタータへ向かうケーブル

2. 以下のワイヤおよびケーブル端子を、バッテリーのプラス端子のねじ山付きポストに、以下の順序で取り付ける図 211

注 エンジンスタータに向かうバッテリーケーブルの端子プラスがねじ山付きポストの一番上の端子になるようにしてください。

- A. リング端子車両用ワイヤハーネスのうち BATTERY (+) というラベルの付いた 22 cm の枝線
- B. リング端子バッテリー用ハーネスの 220cm の枝線 ***IMPORTANT*** CONNECT THIS WIRE TO POSITIVE ON BATTERY というラベル
- C. リング端子キットのワイヤハーネスの 60cm の枝線 TO BATTERY POSITIVE というラベル
- D. バッテリーケーブルの端子プラスオルタネータ50Aへ
- E. バッテリーケーブルの端子プラスエンジンスタータへ

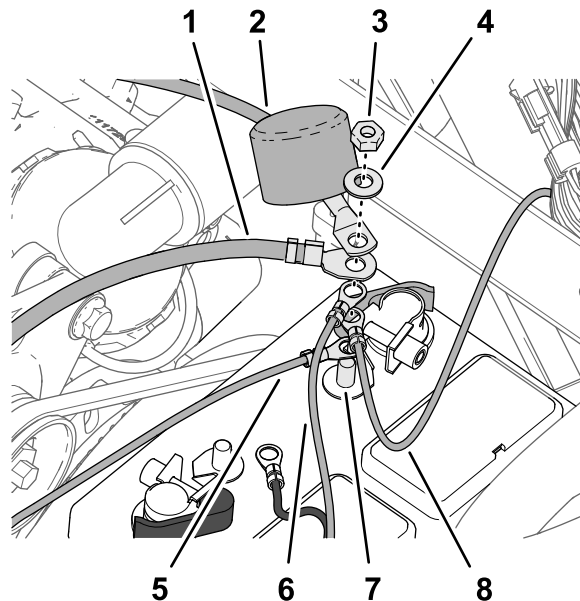


図 211

1. バッテリーケーブルの端子プラスオルタネータ50Aへ
 2. バッテリーケーブルの端子プラスエンジンスタータへ
 3. 六角ナット1/4 インチクイックコネクトクランプ
 4. ワッシャ1/4 インチクイックコネクトクランプ
 5. リング端子キットのワイヤハーネスの 60cm の枝線 TO BATTERY POSITIVE
 6. リング端子バッテリー用ハーネスの 220cm の枝線 ***IMPORTANT*** CONNECT THIS WIRE TO POSITIVE ON BATTERY
 7. ねじ山付きポストバッテリーのプラス端子
 8. リング端子車両用ワイヤハーネスの 22cm の枝線 BATTERY (+)
3. ねじ山付きポストにワッシャ1/4 インチと六角ナット 1/4 インチを組み付け、ナットを、10.1712.34N・m 1.01.3kg.m = 90110in-lb にトルク締めする。
 4. バッテリーのスタータ向けプラスケーブルの絶縁カバーをねじ山付きポストに取り付ける図 211。
 5. 以下のワイヤおよびケーブル端子を、バッテリーのマイナス端子のねじ山付きポストに、以下の順序で取り付ける図 212

注 エンジンとシャーシのアースに向かうバッテリーケーブルの端子マイナスがねじ山付きポストの一番上の端子になるようにしてください。

- A. リング端子バッテリー用ハーネスの 220 cm の枝線 ***IMPORTANT*** CONNECT THIS WIRE TO - VE TERMINAL OF BATTERY WHICH IS CONNECTED TO TRACTOR FRAME というラベル
- B. リング端子キットのワイヤハーネスの 60cm の枝線 マイナス線
- C. バッテリーケーブルの端子マイナスエンジンとシャーシのアースへ

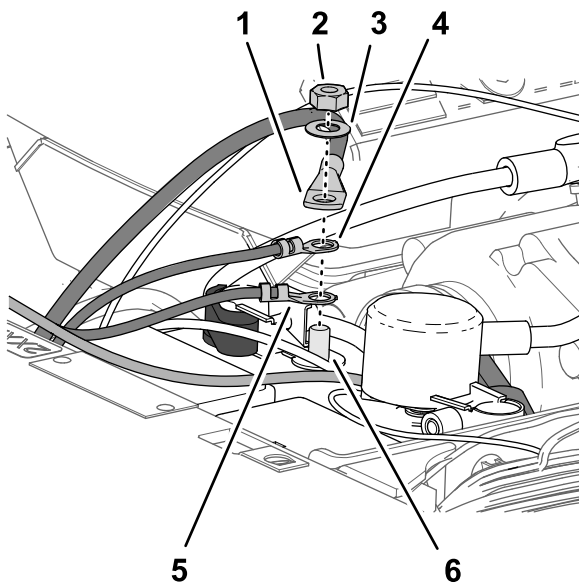


図 212

g202745

1. バッテリーケーブルの端子
マイナスエンジンとシャー
シのアースへ
2. 六角ナット1/4 インチクイ
クコネクタクランプ
3. ワッシャ1/4 インチクイ
クコネクタクランプ
4. リング端子キットのワイヤ
ハーネスの 60cm の枝線
マイナス線
5. リング端子バッテリー
用ハーネスの 220cm
の枝線 ***IMPORTANT***
CONNECT THIS WIRE TO -
VE TERMINAL OF BATTERY
WHICH IS CONNECTED TO
TRACTOR FRAME
6. ねじ山付きポストバッテリー
のマイナス端子

ハーネスを固定する

1. データ用ハーネスの余っている部分を、右上フ
レームチューブの上に集める図 213。

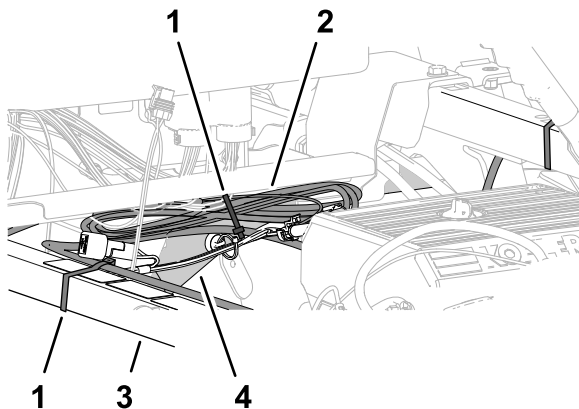


図 213

g202768

1. ケーブルタイ
 2. データ用ハーネスの束
 3. ショックサポートチューブ
 4. 右上フレームチューブ
2. データハーネスとショックサポートチューブをそろえ
て、ケーブルタイでチューブに固定する図 213。

3. データハーネスの束を右上フレームチューブにそ
ろえて、ケーブルタイでフレームチューブに固定
する図 213。
4. データハーネス、バッテリーハーネス、キットのワ
イヤハーネス、バッテリーケーブルが、プーリや
ベルトに近すぎないように十分配慮してください。

ワイヤハーネスをケーブルタイで固定する。ハー
ネスがベルトやプーリなどの近くを通らないよ
うにする。

35

フードと左右の前フェンダを取り付ける

この作業に必要なパーツ

13	押し込みファスナー
----	-----------

フードを取り付ける

1. フードの穴を、機体のダッシュパネルの穴および
フレームについている穴に合わせる図 214。

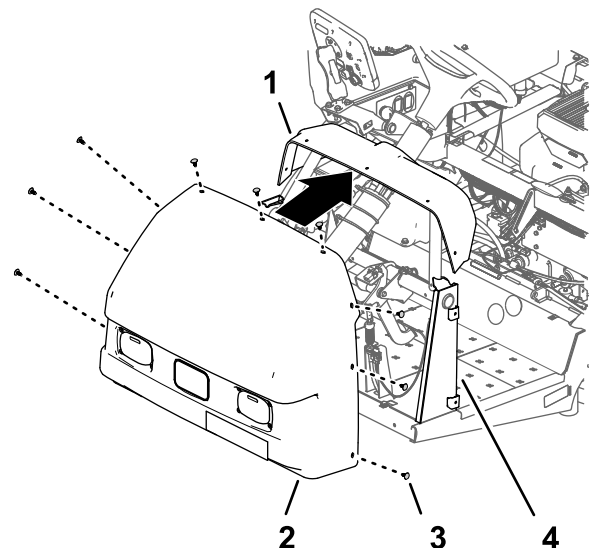


図 214

g202004

1. ダッシュパネル
2. フード
3. 押し込みファスナー
4. ダッシュサポート

2. 押し込みファスナー9個を使って、フードをダッ
シュパネルとフレームに固定する図 214。
3. 車両用ワイヤハーネスの 2 個のコネクタ2 ソケ
ットコネクタを、左右のヘッドライトの 2 ピンコネ
クタに接続する図 215。

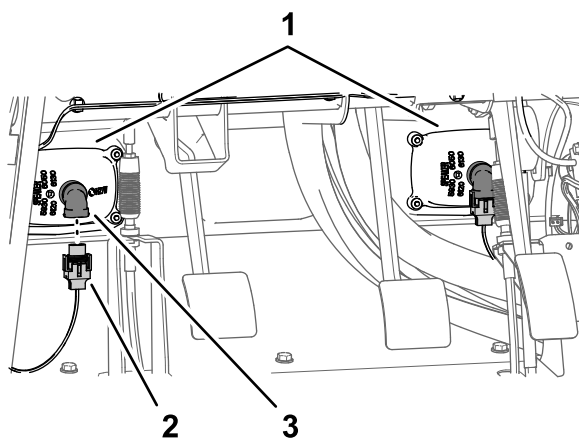


図 215

g197153

1. ヘッドライト
2. 2ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス
3. 2ピンコネクタヘッドライト

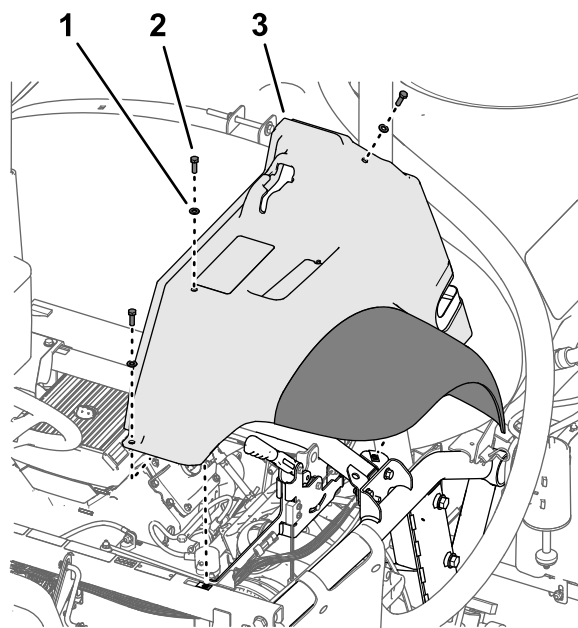


図 217

g197152

1. ワッシャ5/16 インチ
2. ボルト5/16 x 1インチ
3. 左前フェンダ

左右の前フェンダを取り付ける

1. 内側フェンダシュラウドを、左上および左下のフレームチューブに合わせる図 215。

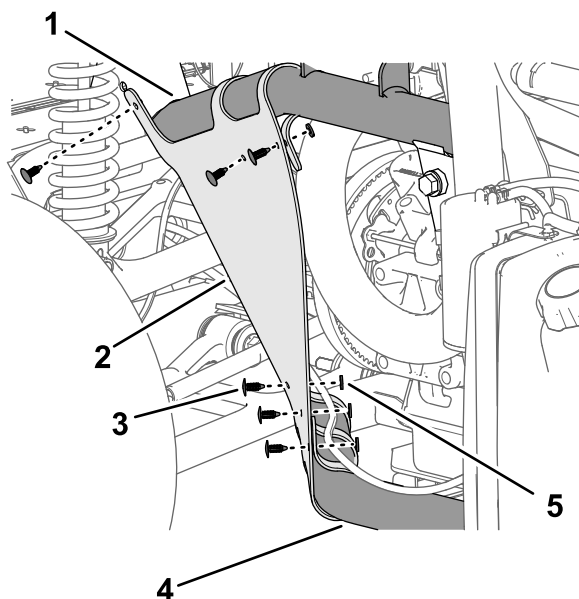


図 216

g202023

1. 左上フレームチューブ
2. 内側フェンダ用シュラウド
3. 押し込みファスナー
4. 左下フレームチューブ
5. ワッシャ9/2 x 1/16in

2. 押し込みファスナー6個を使って、内側フェンダ用シュラウドをフレームチューブに固定する図 216。
3. 図 216に示すように、フェンダの穴を、車体フレームの穴に合わせる。

4. フェンダをフレームに仮止めする図 217ステップ 2 左右の前フェンダを取り外す (ページ 8)で取り外したボルト5/16 x 1 インチ3本とワッシャ5/16 インチ3枚を使用する。
5. 押し込みファスナー2個を使って、フェンダをフレームチャンネルに固定する図 218。

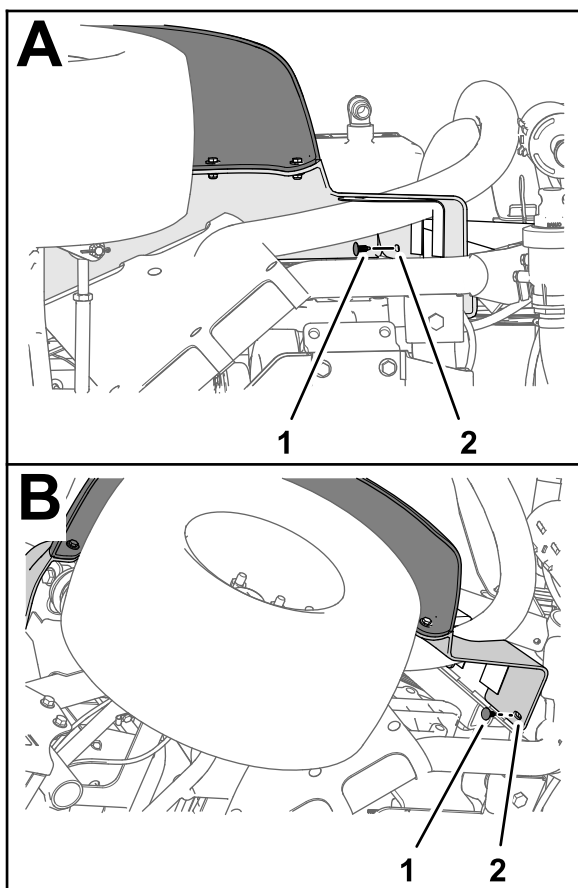


図 218

g197151

1. 押し込みファスナー
2. 左前フェンダ

6. ボルト 5/16 x 1 インチを 19.78 25.42N・m
2.02.6kg.m = 175225in-lb にトルク締めする。
7. 機体の反対側のフェンダと内側フェンダ用シュラウドについても 1 から 6 の作業を行う。

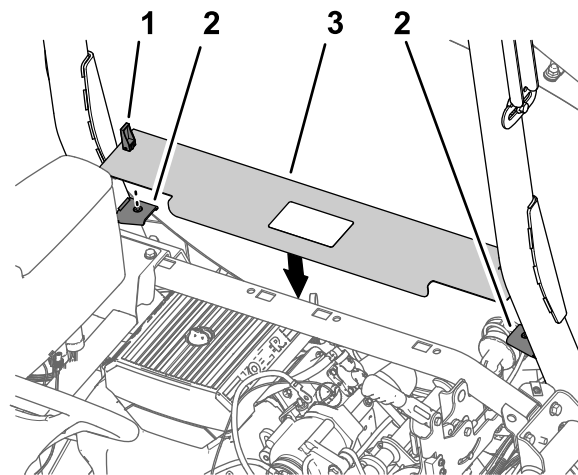
36

エンジンへのアクセスパネルと運転席を取り付ける

必要なパーツはありません。

エンジンアクセスパネルを取り付ける

1. エンジンアクセスパネルのラッチを、ROPSバーのパネルサポートブラケットのブッシュに合わせる 図 219。



g202414

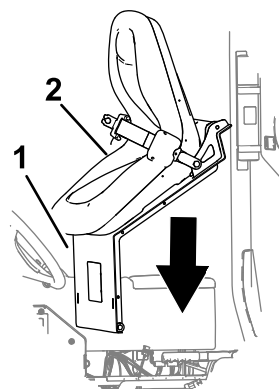
図 219

1. ラッチ
2. パネルのサポートブラケット
3. エンジンアクセスパネル

2. パネルをブラケットに取り付ける 図 219。
3. ハンドルラッチを下に回してパネルをブラケットに固定する 図 219。

運転席を取り付ける

1. 座席と座席プレートを車体シャーシに合わせる 図 220。

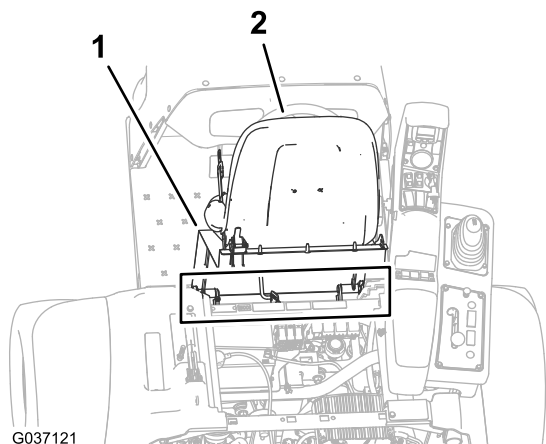


g202000

図 220

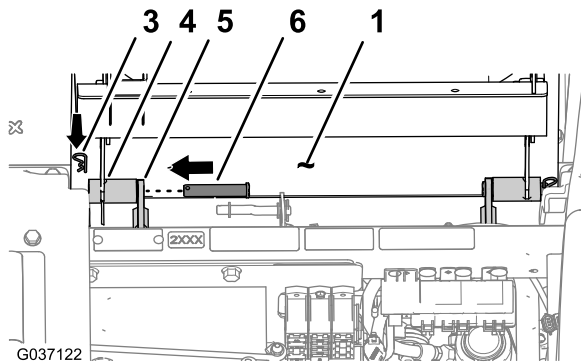
1. 座席プレート
2. 運転席

2. シートパンのピボットフィッティングにある穴を、シャーシブラケットの穴に合わせる 図 221。



G037121

g037121

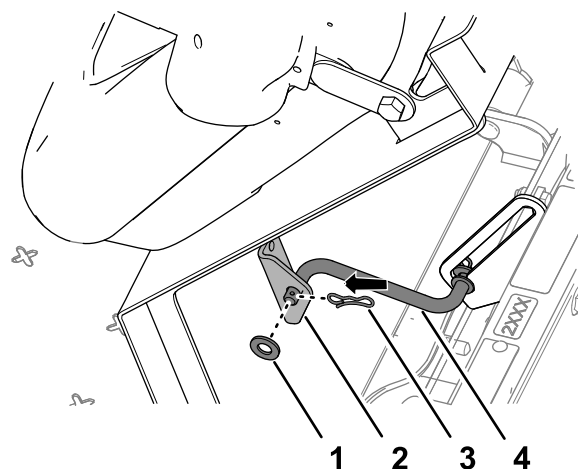


G037122

g202002

図 221

1. 座席プレート
 2. 運転席
 3. ヘアピン
 4. ピボットフィッティング座席パン
 5. シャーシブラケット
 6. ピボットピン
-
3. シートパンをシャーシブラケットに取り付けるピボットピン2本を使用する図 221。
 4. ピボットピンをヘアピン2本で固定する図 221。
 5. 座席のブラケットに支え棒を取り付け、ワッシャとヘアピンで固定する図 222。

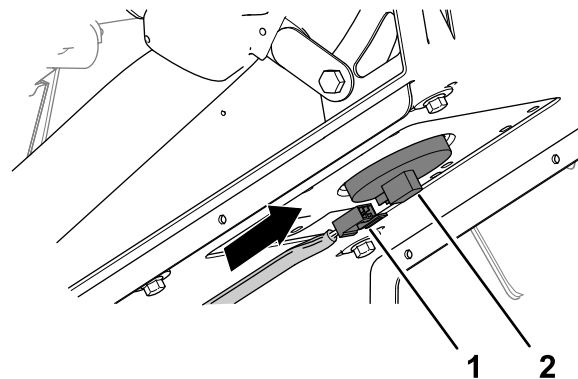


g202001

図 222

1. ワッシャ
2. ブラケット座席用
3. ヘアピン
4. 支え棒

6. 車両用ハーネスの2ソケットコネクタを、座席スイッチ用のコネクタに接続する。ゆるみなく完全にはめ込むこと図 223。



g202003

図 223

1. 2ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス
2. 座席スイッチ用コネクタ

7. 運転席を前にすこし倒して、座席についている支え棒をはずし、座席を正規位置におろす。ラッチが掛かったのを確認する。

37

マシンの設定プログラミングを行う

必要なパーツはありません。

手順

1. スタータスイッチにキーを差し込んで ON 位置に回す。

インフォセンターに初期画面が現れ、各種の表示が短時間おこなわれる [図 224](#)。

注 エンジン始動させないでください。

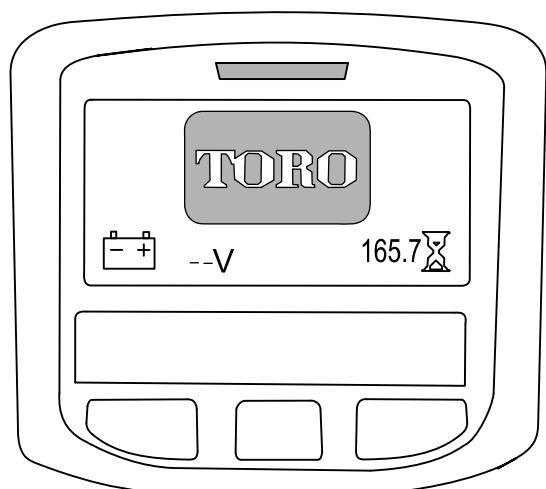


図 224

g202877

2. インフォセンターのホーム画面で、中央ボタンを押して、ナビゲーション画面に入る [図 225](#)。

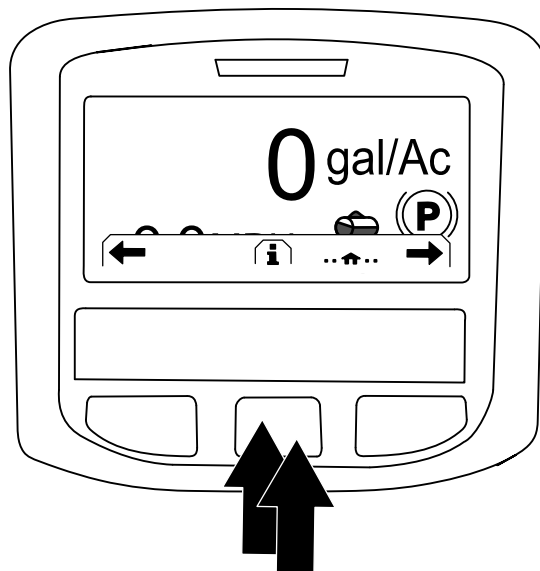


図 225

g202868

3. 中央ボタンをもう一度押してメインメニューを表示させる [図 225](#)。
4. メインメニューMAIN MENU画面で、中央ボタンを押して設定SETTING画面へ移動し、右ボタンで選択する [図 226](#)。

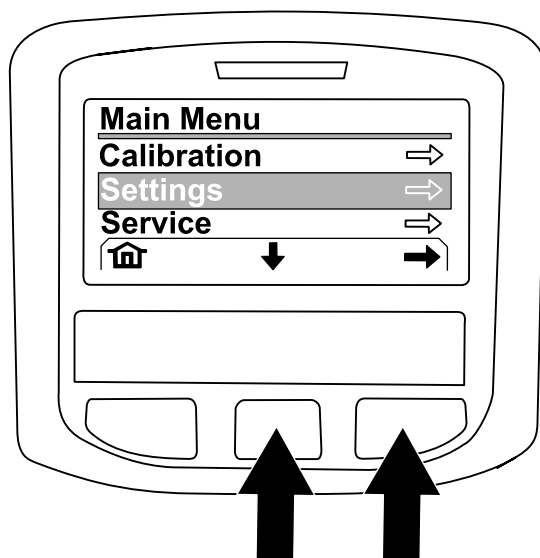


図 226

g202874

5. 設定メニューSETTING画面で、中央ボタンを押して保護設定PROTECTED SETTINGS画面へ移動し、右ボタンで選択する。

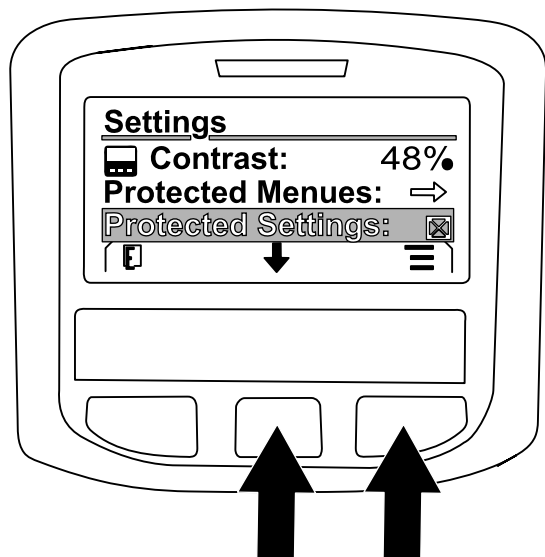


図 227

g202869

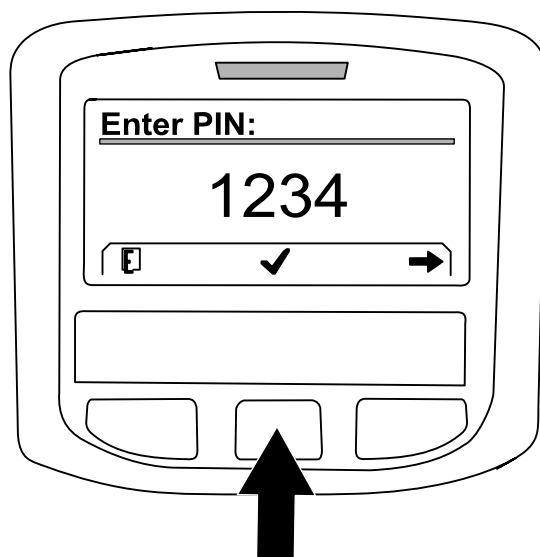


図 229

g202871

6. PIN暗証番号を以下の手順で入力する

- A. 必要に応じて中央ボタンを何度か押して PIN コード画面の左端のケタに数字を入れる 図 228。

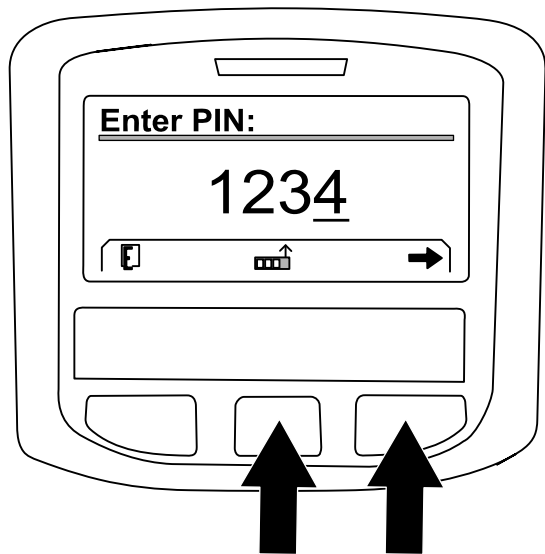


図 228

g202870

7. 中央ボタンを押してジオリンクGEOLINKオプションへ移動し、右ボタンで選択する 図 230。

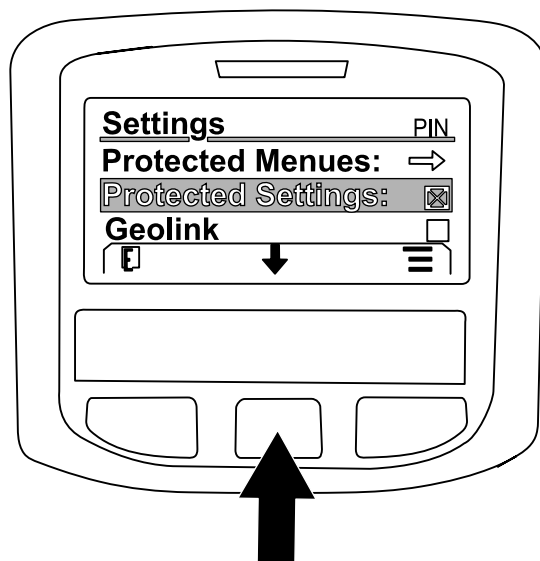


図 230

g202875

- B. 右ボタンを押して PIN コード画面の左から2番目のケタに移る 図 228。
- C. AとBを繰り返して、残りの3ケタ全部に PIN の数字を入れる。
- D. 全部の数字を入れ終わったら、右ボタン 図 228 を押し、さらに中央ボタンを押して PIN コード画面に入る 図 229。
- インジケータが短時間点灯する。

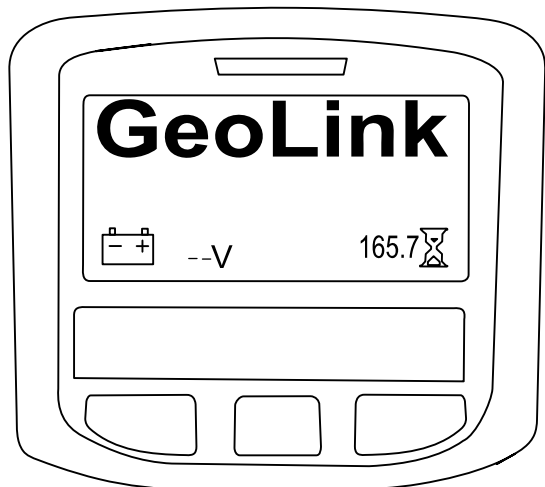
インフォセンターにジオリンク確認画面が表示される (図 231)。



g202872

図 231

8. キーを OFF 位置にし、もう一度ONにする。
9. GEOLINK 初期画面が、キースイッチをONにすると最初に表示される。



g202878

図 232

欧州におけるプライバシー保護に関するお知らせ

トロが収集する情報について

トロ・ワランティール・カンパニー・トロは、あなたのプライバシーを尊重します。この製品について保証要求が出された場合や、製品のリコールが行われた場合にあなたに連絡することができるように、トロと直接、またはトロの代理店を通じて、あなたの個人情報の一部をトロに提供していただくようお願いいたします。

トロの製品保証システムは、米国内に設置されたサーバーに情報を保存するため、個人情報の保護についてあなたの国とまったく同じ内容の法律が適用されるとは限りません。

あなたがご自分の個人情報を提供なさることにより、あなたは、その情報がこの「お知らせ」に記載された内容に従って処理されることに同意したことになります。

トロによる情報の利用

トロでは、製品保証のための処理ならびに製品にリコールが発生した場合など、あなたに連絡をすることが必要になった場合のために、あなたの個人情報を利用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。弊社があなたの個人情報を他社に販売することはありません。ただし、法の定めによって政府や規制当局からこれらの情報の開示を求められた場合には、かかる法規制に従い、また弊社ならびに他のユーザー様を保護する目的のために情報開示を行う権利を留保します。

あなたの個人情報の保管について

トロでは、情報収集の当初の目的を遂行するのに必要な期間にわたって、また法に照らして必要な期間法律によって保存期間が決められている場合などにわたって情報の保管を行います。

弊社はあなたの個人情報の流出を防ぎます

トロは、あなたの個人情報の保護のために妥当な措置を講ずることをお約束します。また、情報が常に最新の状態に維持されるよう必要な手段を講じます。

あなたの個人情報を訂正したい場合などのアクセス方法

ご自身の個人情報を確認・訂正されたい場合には、legal@toro.com へ電子メールをお送りください。

オーストラリアにおける消費者保護法について

オーストラリアのお客様には、梱包内部に資料を同梱しているほか、弊社代理店にても法律に関する資料をご用意しております。



Toro 製品保証

年間品質保証

保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro フランティアー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証は、エアレータ以外のすべての機器に適用されますエアレータ製品については別途保証があります。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われる場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラーに対して、お客様から連絡をして頂く必要があります。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
Toro Warranty Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 または 800-952-2740
E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

「製品」のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクセサリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。オペレーターズマニュアルに記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、その他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブなどが含まれます。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない燃料、冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラーへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。

- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。
- 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するか判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。注リチウムイオンバッテリーについてリチウムイオンバッテリーには、その部品の性質上、使用開始後3-5年についてのみ保証が適用される部品があり、その保証は期間割保証補償額減方式となります。さらに詳しい情報については、オペレーターズマニュアルをご覧ください。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生する間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

エンジン関係の保証について

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧ください。